

足の不調と疾患／ 下肢静脈瘤に関する意識調査2021

【調査結果資料】

目次

	調査概要	P2-
	調査結果ポイント	P4-
	1. 患者規模と受診状況（対象症状経験率・受診状況・受診した医療機関）	
	2. 治療実態（治療方法と満足度・グルー療法関連・下肢静脈瘤診断率）	
	3. 下肢静脈瘤の浸透状況（疾患認知・疾患理解）	
	4. 症状に対する意識と行動（症状の認識・普段の生活への影響意識・受診のきっかけ）	
	5. 啓発サイトの認知と評価	
	6. まとめ	
	詳細データ	P28-

調査概要

調査目的

2021年7月時点における、下肢静脈瘤が疑われる患者（対象症状経験者）の規模、対象症状経験者の症状に対する意識と行動、下肢静脈瘤の浸透度の3点について把握すること

調査手法

インターネット調査

調査対象・サンプル数

【事前調査】

■ 調査対象条件

全国に住む 30代以上の男女

■ 回収方法

日本の人口構成比（性年代）に合わせるように
目標サンプルを設定し回収

■ 回収有効サンプル数

計 60,000人 【内訳】

性別	年齢	回収サンプル数
男性	30代	5,181
	40代	6,087
	50代	5,055
	60才以上	12,238
女性	30代	5,068
	40代	5,993
	50代	5,088
	60才以上	15,290

【本調査】

■ 調査対象条件

事前調査で、下肢静脈瘤が疑われる足の不調症状*いずれかを感じたことがある、
と回答した30代以上の男女 *「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」

■ 回収方法

事前調査の対象条件合致者の性年代構成比に合わせて目標サンプルを設定し回収

■ 回収有効サンプル数

計 2,475人 【内訳】

性別	年齢	回収有効 サンプル数
男性	30代	79
	40代	96
	50代	95
	60才以上	371
女性	30代	188
	40代	301
	50代	322
	60才以上	1,023

調査実施期間

2021年6月24日～7月4日

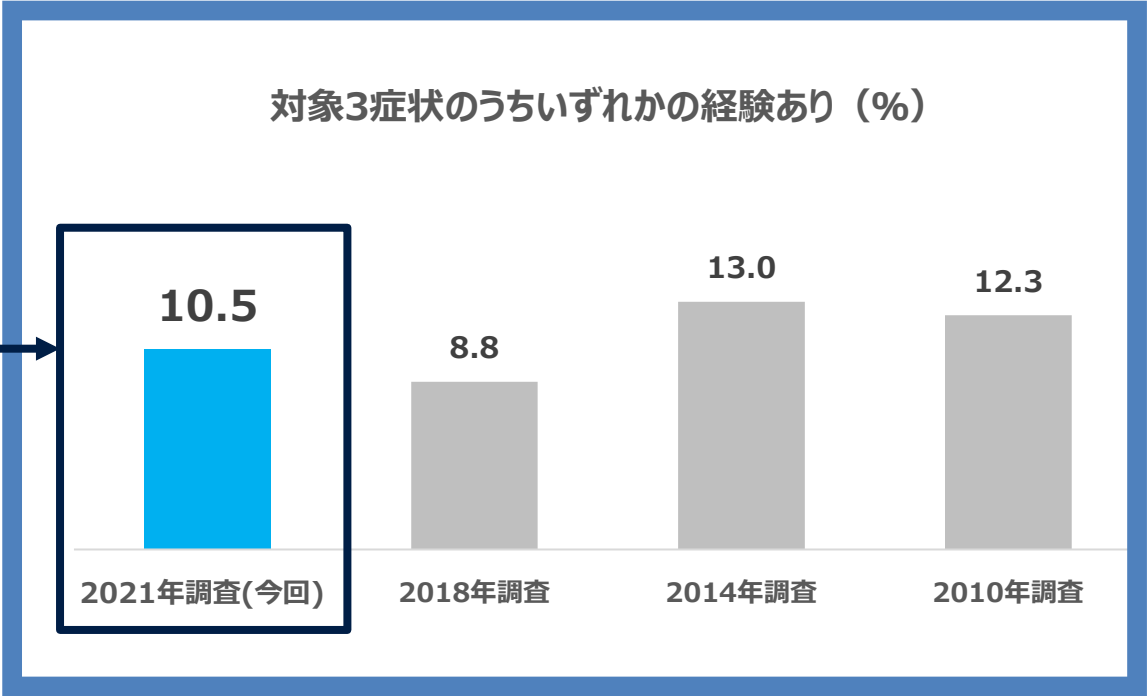
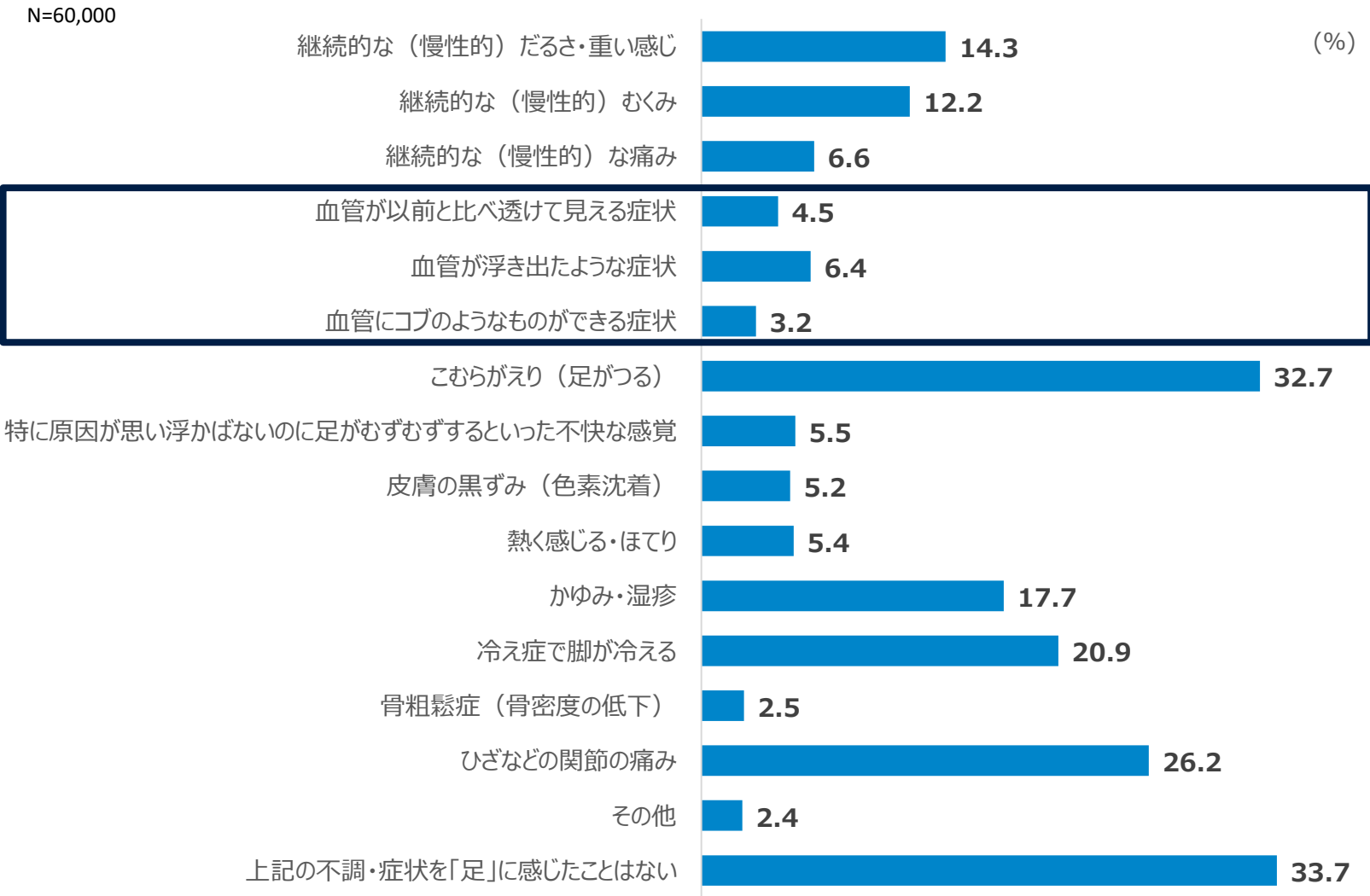
調査結果ポイント

1. 患者規模と受診状況（対象症状経験率・受診状況・受診した医療機関）

■ 下肢静脈瘤が疑われる人の規模

30代以上の男女における、対象3症状のうちいずれかの経験者は10.5%

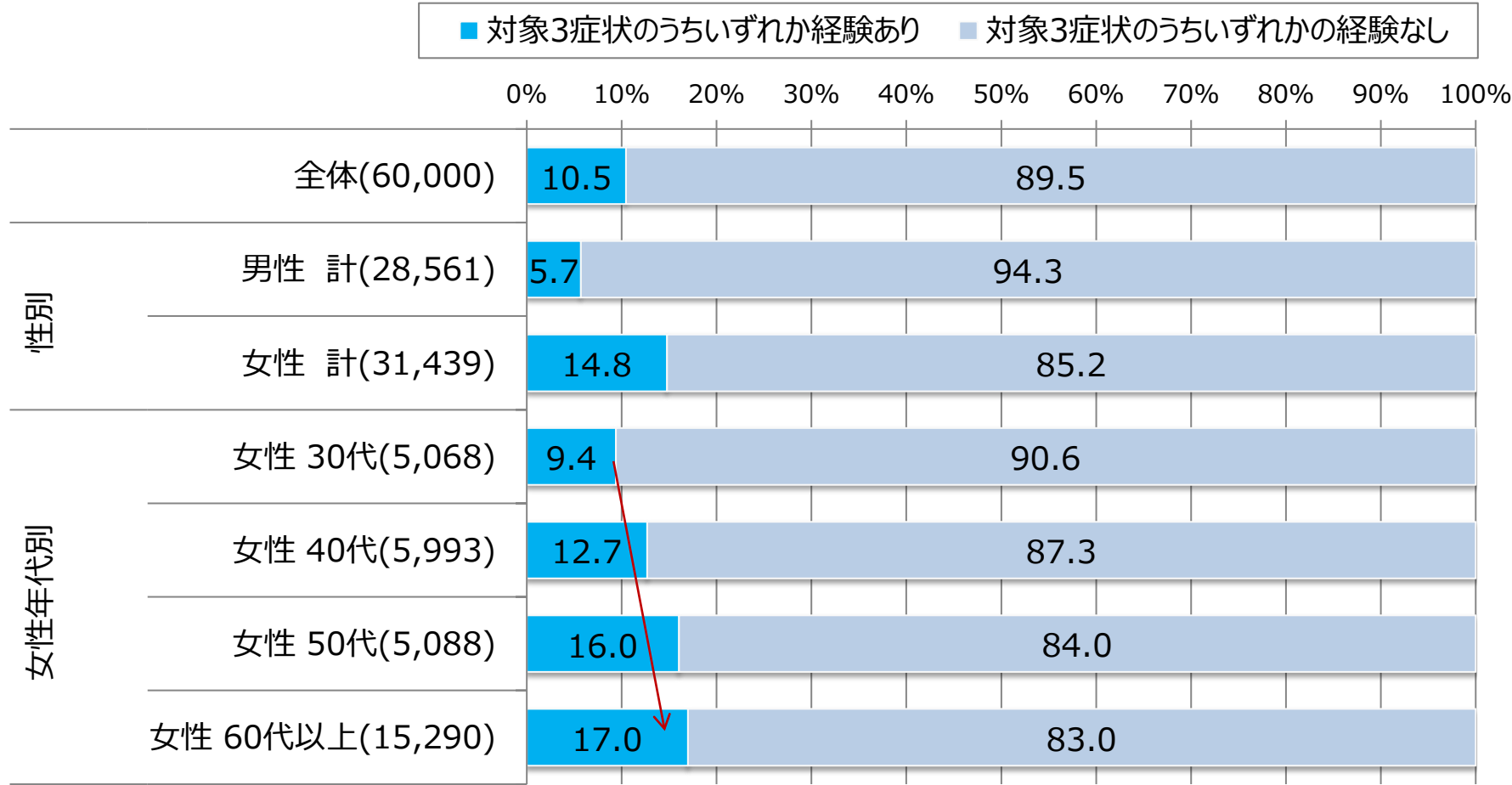
SQ1 足の不調・症状の経験率



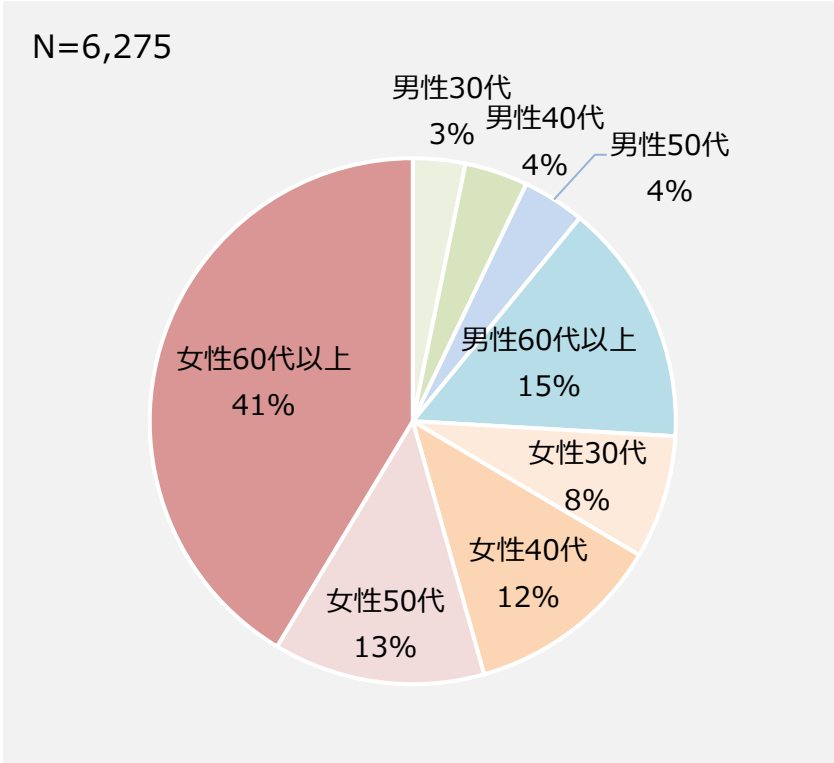
■ 下肢静脈瘤が疑われる人の比率（属性別）

性別では、女性の方が多く、症状経験率が14.8%
女性年代別では高齢層になるほど経験率があがる

SQ1 属性別 対象3症状のうちいずれかの経験率



対象3症状のうちいずれかの経験者の性年代構成比



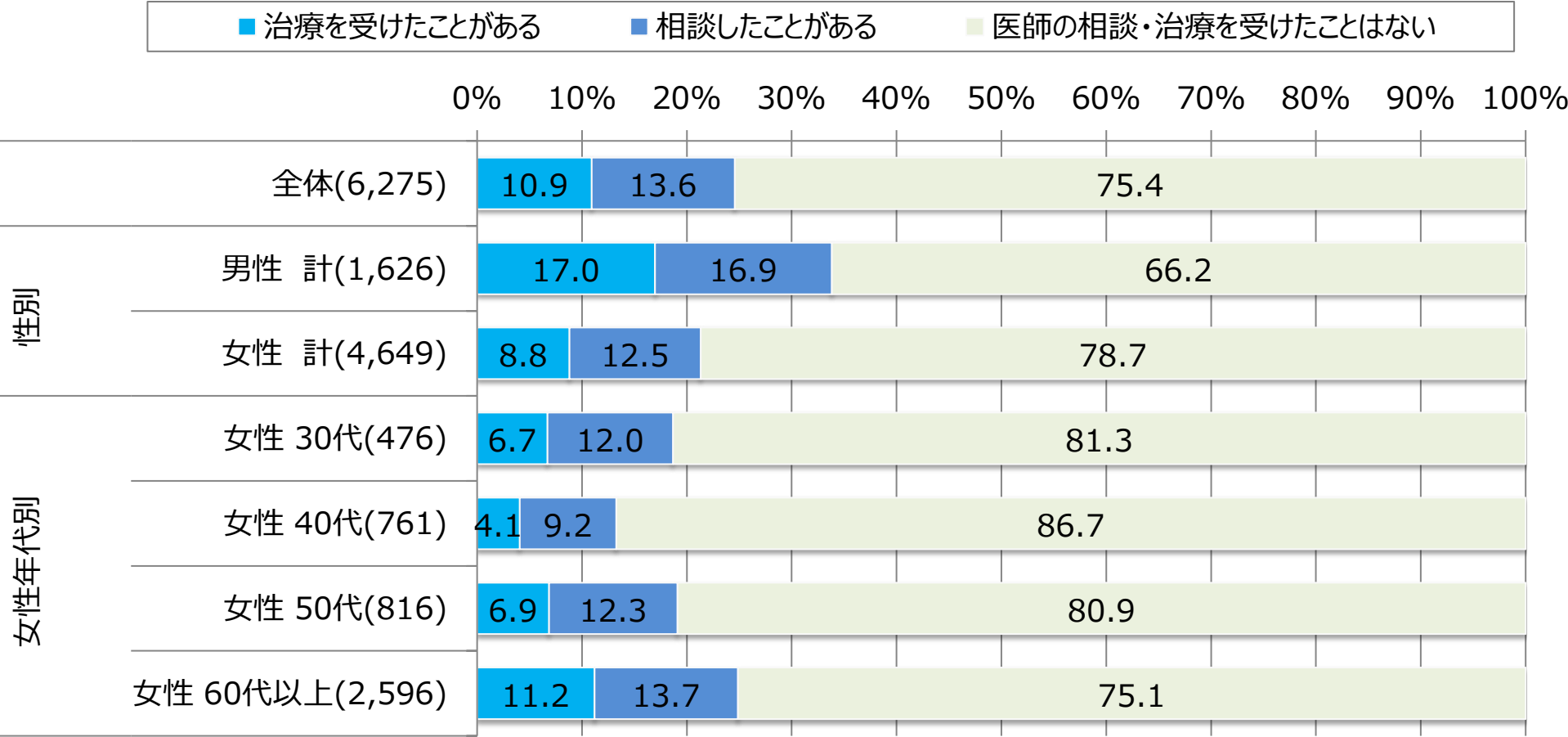
■ 下肢静脈瘤が疑われる症状（3症状合算）の受診状況

相談・治療経験者の割合は24.6%で、前回（2018年）と同レベル

わずかに女性30代のスコアが高まり、一方で女性60代以上が低くなった

SQ2 対象3症状（合算）の治療・相談状況

集計対象：症状経験者



TOP2BOX
(相談・治療経験あり)

24.6
33.8
21.3
18.7
13.3
19.1
24.9

参考2018年
TOP2BOX

24.9
32.2
22.6
13.8
14.1
20.5
27.9

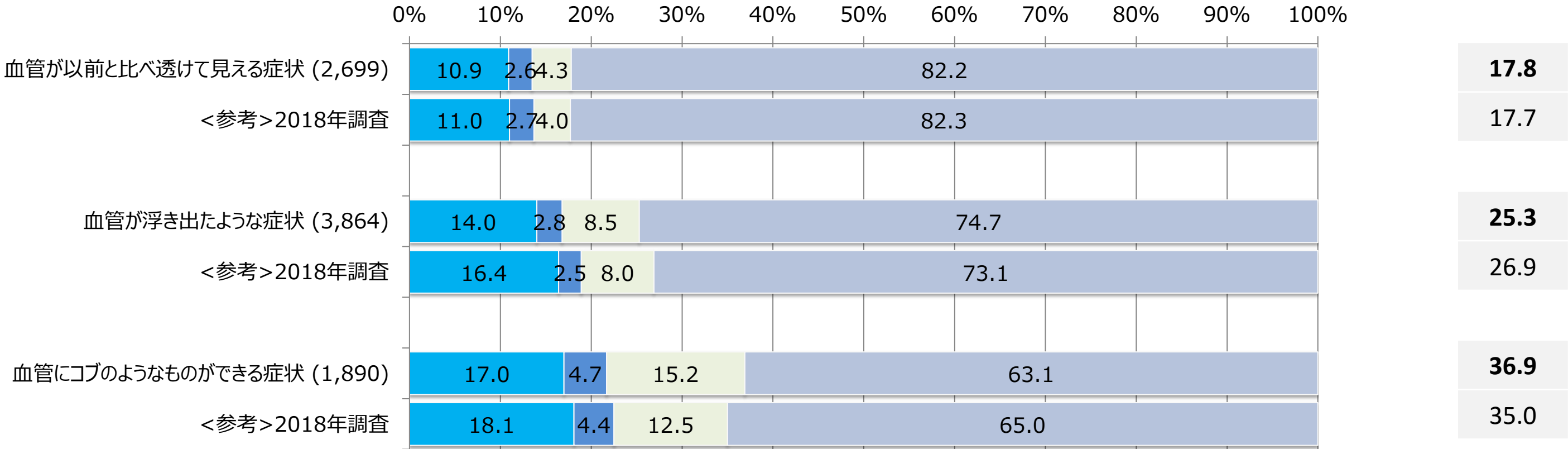
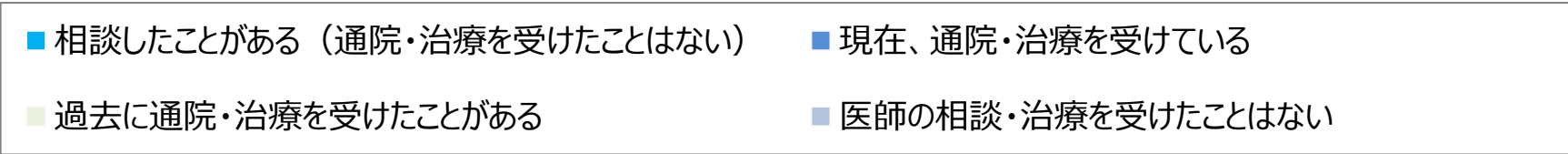
■ 下肢静脈瘤が疑われる各症状別の受診状況

相談・治療経験者の割合は、いずれの症状も前回（2018年）と同レベル

3 症状のうち、「血管にコブのようなものができる症状」の相談・治療経験は36.9%で最も高い

SQ2 対象3症状別の治療・相談状況

集計対象：各症状経験者



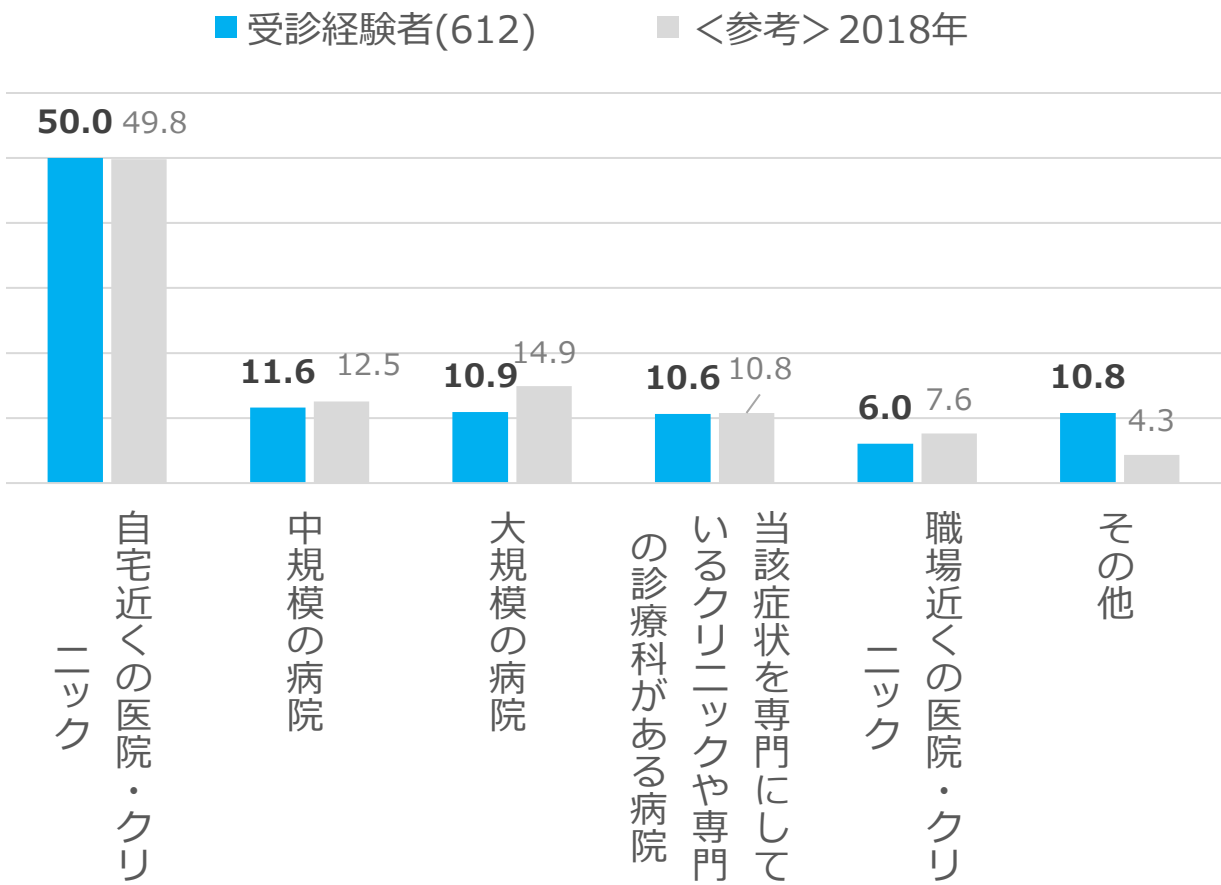
TOP3BOX
(相談・治療経験あり)

■ 最初に受診した医療機関・診療科

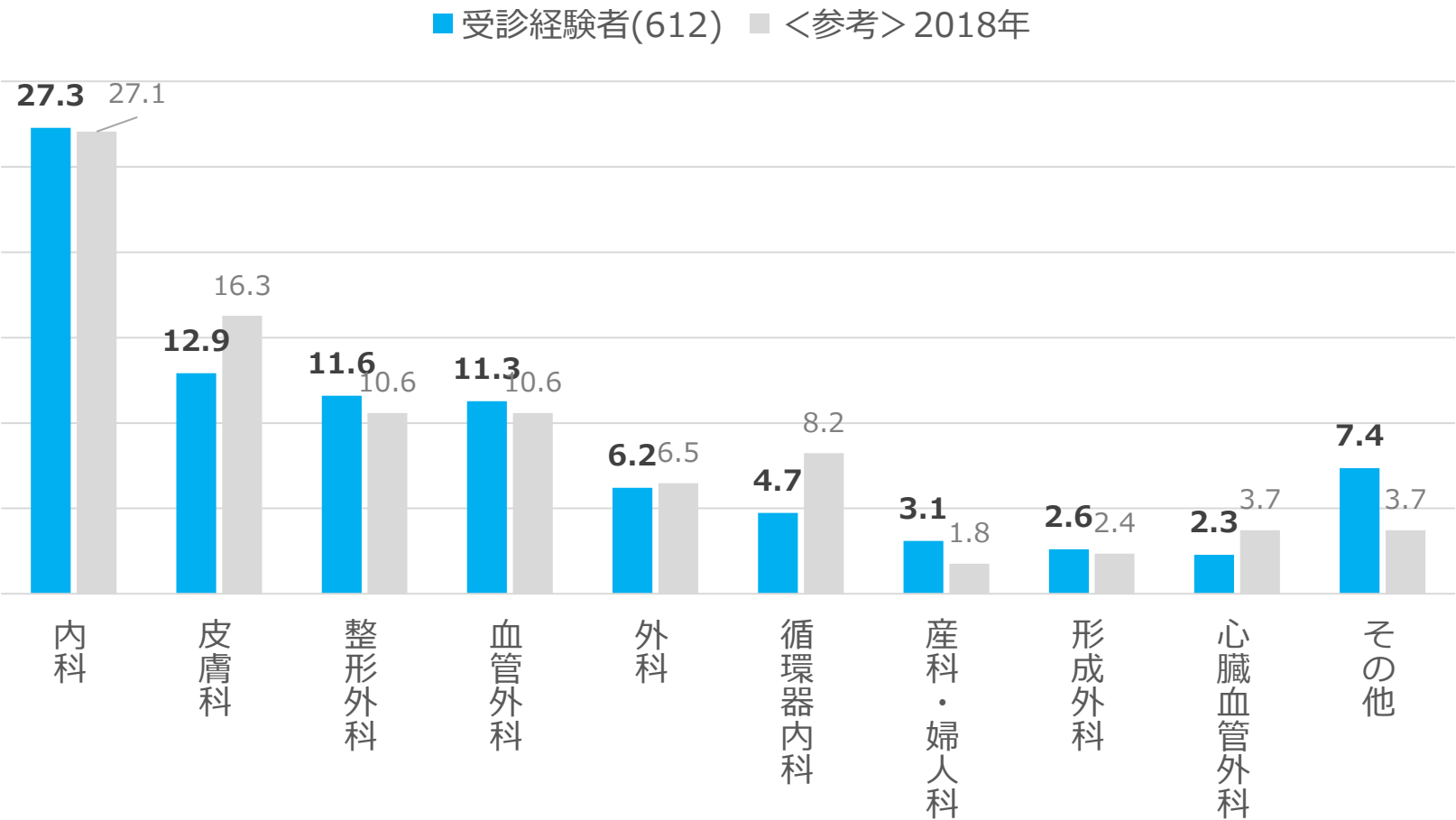
最初に受診したのは「自宅近くの病院」「内科」が最も多い

専門医のいる「血管外科」の受診率は前回同様1割程度

Q10 最初に受診した医療機関



Q11 最初に受診した診療科



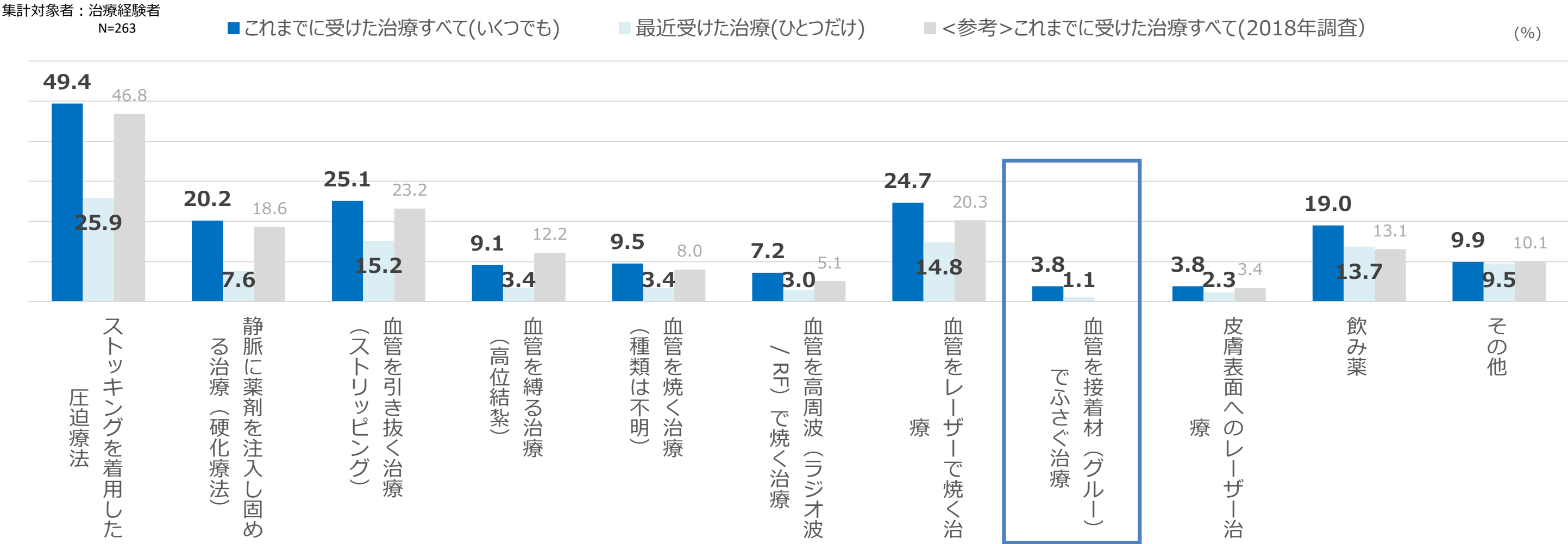
調査結果ポイント

2. 治療実態（治療方法と満足度・下肢静脈瘤診断率）

■ 治療経験者の治療方法

今回新たに追加された「グルー療法」を受けた人は3.8%

Q15 治療方法

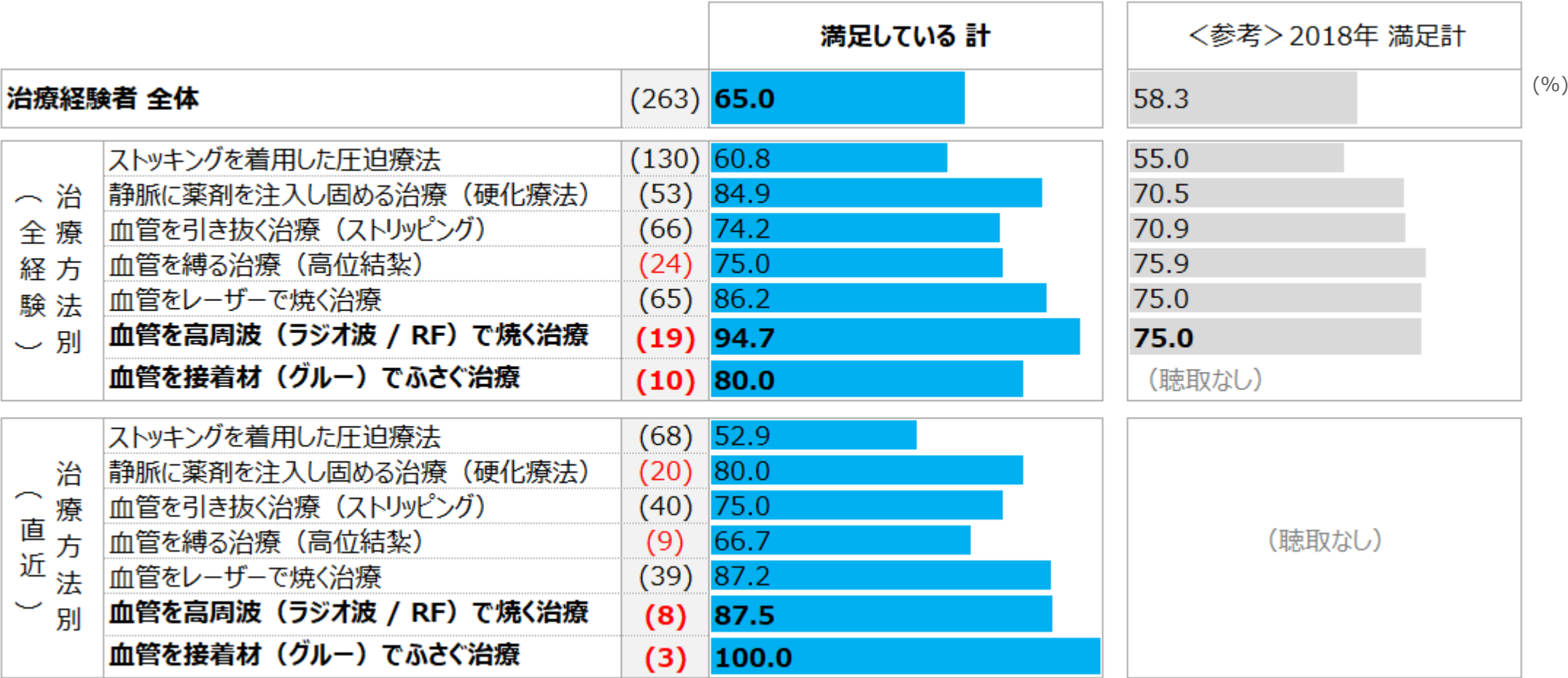


■ 治療満足度

全体の治療満足度は65%で、前回（2018年）より上昇

サンプル数が少ないため参考値だが、「高周波」の満足度は90%を超えている

Q17-1 治療総合満足度



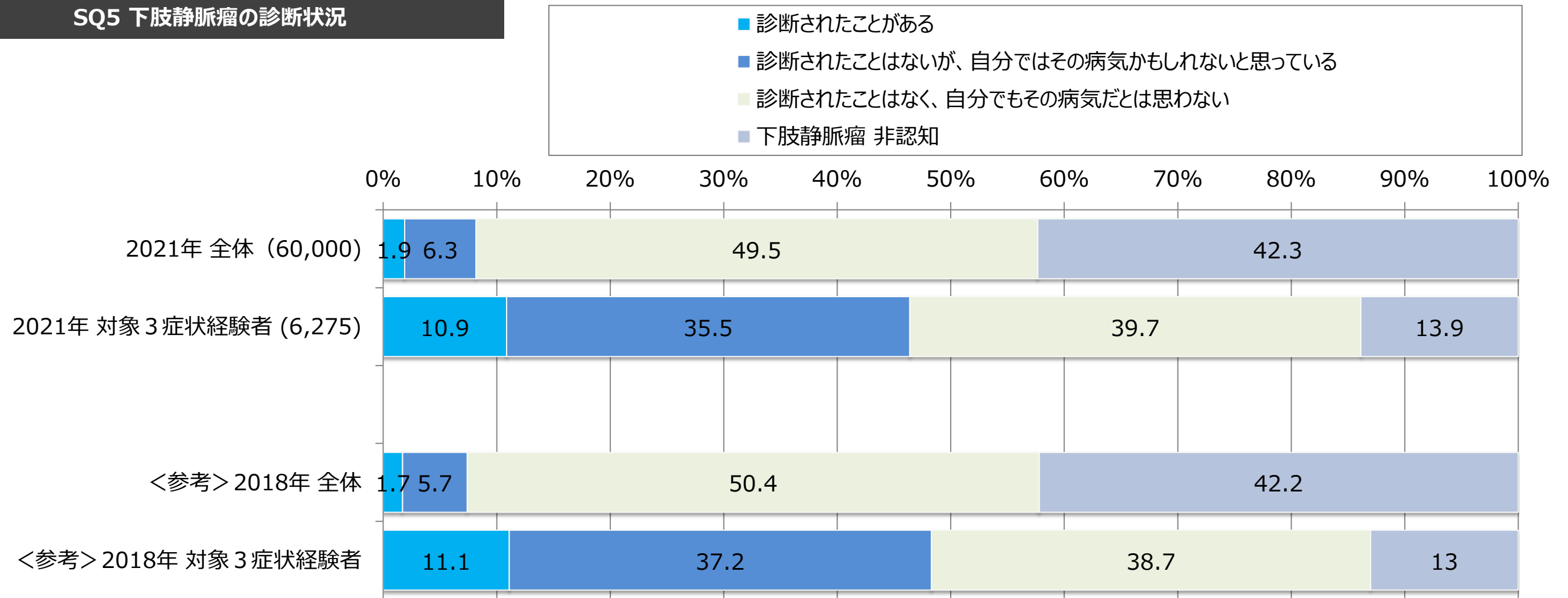
*治療方法はMAのため回答の重なりがあります

■ 下肢静脈瘤の診断率

疾患診断率は、症状経験者で10.9%

「診断はされていないが、下肢静脈瘤だと思っている」は35.5%で、確定診断者と同じく前回（2018年）と同レベル

SQ5 下肢静脈瘤の診断状況



※「対象3症状経験者」：「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」のいずれか症状経験者

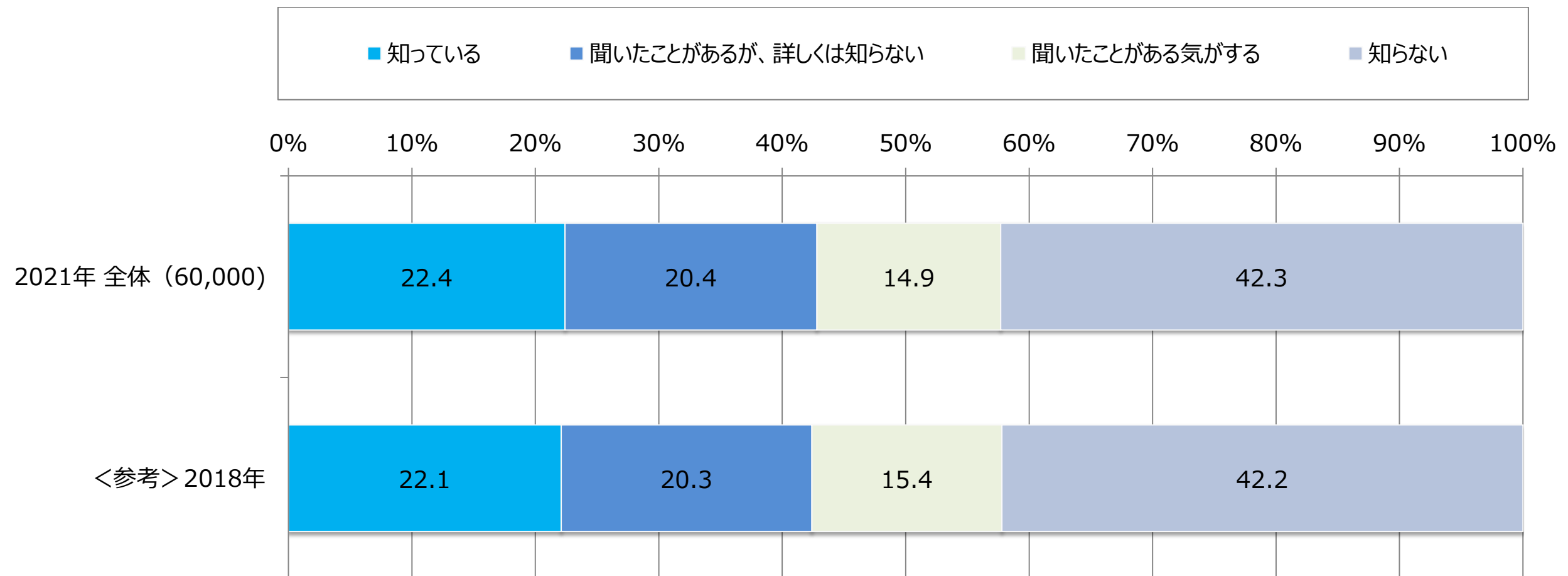
調査結果ポイント

3. 下肢静脈瘤の浸透状況（疾患認知・疾患理解）

■ 下肢静脈瘤の認知（全体）

30代以上の男女における、疾患認知は22.4%で前回（2018年）と同レベル

SQ3 下肢静脈瘤の疾患名の認知 ※生活者全体



■ 下肢静脈瘤の認知（対象 3 症状経験者）

症状経験者における、疾患認知は49.1%で前回（2018年）と同レベル

年代があがるほど認知が高まり、女性60代以上では「知っている」が約6割

SQ3 下肢静脈瘤の疾患名の認知 ※症状経験者のみ

■ 知っている ■ 聞いたことがあるが、詳しくは知らない ■ 聞いたことがある気がする ■ 知らない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

2021年 対象 3 症状経験者(6,275)

49.1 27.0 10.1 13.9

<参考> 2018年

51.0 25.5 10.5 13.0

<参考> 2014年

27.8 27.5 18.9 25.7

<参考> 2010年

25.2 23.8 16.8 34.2

0% 20% 40% 60% 80% 100%

男性
(1,626)

35.4 28.0 13.2 23.4

女性
(4,649)

53.8 26.7 9.0 10.5

女性30代
(476)

41.0 24.2 11.6 23.3

女性40代
(761)

47.2 26.1 10.6 16.0

女性50代
(816)

53.8 27.3 9.3 9.6

女性60代以上
(2,596)

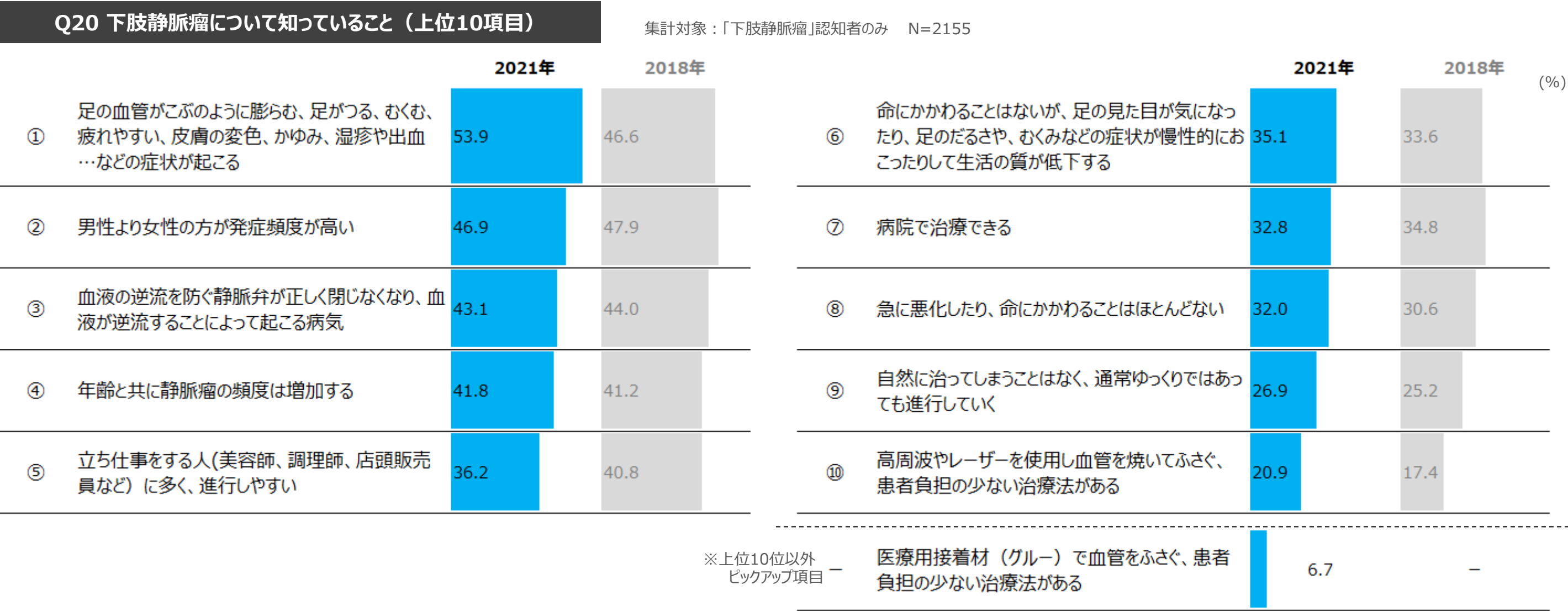
58.1 27.0 7.9 6.9

※「対象 3 症状経験者」：「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」のいずれか症状経験者

■ 症状経験者の下肢静脈瘤への理解度

疾患への理解度は前回（2018年）とほぼ同レベル

疾患の特徴である1位項目「足の血管がこぶのように・・・」は53.9%で半数を超えたが、他項目はほぼ前回（2018年）と同レベル
「グルー療法」については、6.7%の認知



調査結果ポイント

4. 症状に対する意識と行動（症状の認識・普段の生活への影響意識）

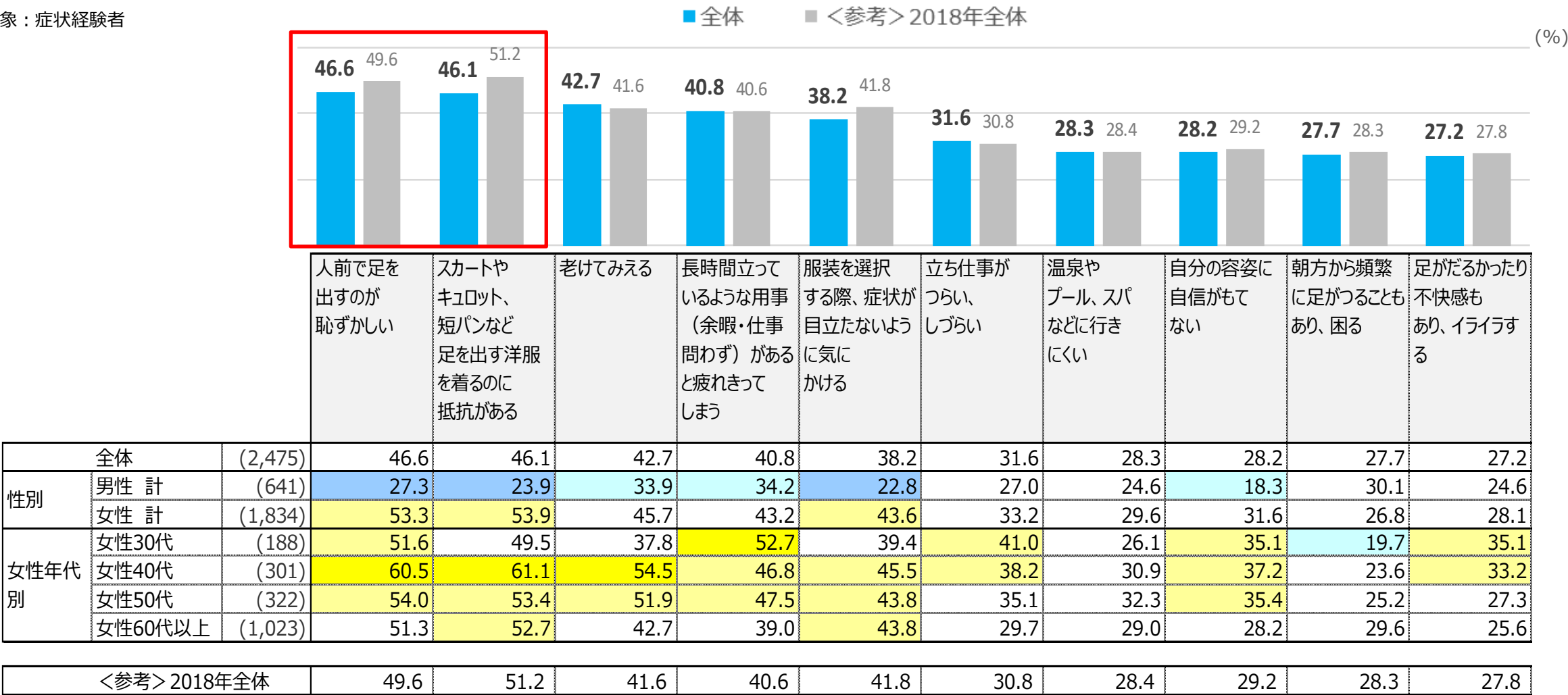
■ 普段の生活への影響意識（QOL）

半数近くが「人前で足を出すのが恥ずかしい」と感じている

女性のなかでも40代の「足がみえること」へのマイナス意識が強い

Q24 対象症状に対するQOL（上位10項目）

集計対象：症状経験者



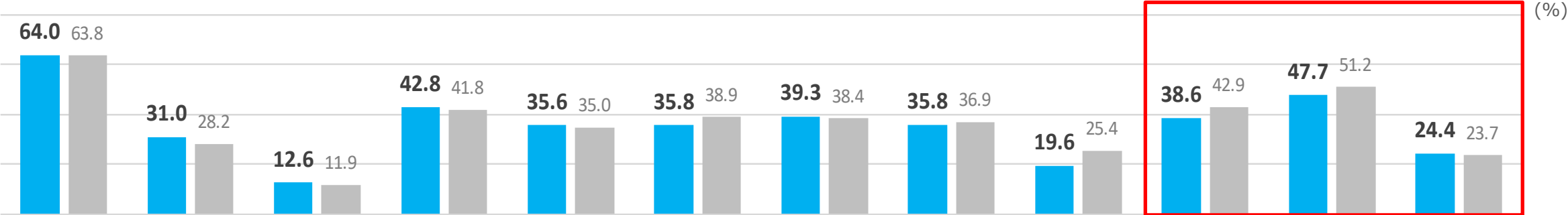
■ 症状の認識・治療意向

「症状が気になる」は6割を超えるが、
「病院に行かないで対処すればいい」も半数近くにのぼる

Q3 対象症状に対する認識（主要項目ピックアップ）

■ 全体 ■ <参考> 2018年全体

集計対象：症状経験者



n			症状が 気になる	症状について 悩んでいる	症状が重いと 感じている	症状について 人にみられ たくない	病気だと 思っている	体質だと 思っている	病院で治療し ないと治らな いと思っている	病院に行っても 完全には治ら ないと思っ ている	特に何も しなくても、 そのうち自然と 治るかも しれないと思っ ている	見た目は 気になるが、 放っておいても よいと思っ ている	病院には 行かないで できる方法で対 処すれば いいと思う	病院に行って 治療をしたい	
全体			(2,475)	64.0	31.0	12.6	42.8	35.6	35.8	39.3	35.8	19.6	38.6	47.7	24.4
性別	男性 計	(641)	60.4	29.8	17.3	32.6	39.9	30.7	40.7	29.3	27.5	40.2	43.7	28.7	
	女性 計	(1,834)	65.2	31.5	10.9	46.4	34.1	37.6	38.8	38.1	16.8	38.1	49.1	22.9	
女性年代 別	女性30代	(188)	61.2	29.3	8.5	41.5	19.7	53.7	30.9	33.0	35.1	51.1	49.5	16.5	
	女性40代	(301)	62.8	27.6	7.3	46.8	28.2	46.2	37.2	39.2	22.9	40.2	53.8	21.9	
	女性50代	(322)	64.0	28.6	8.4	42.9	32.3	35.7	33.5	33.5	15.5	35.1	49.4	19.9	
	女性60代以上	(1,023)	67.1	33.9	13.2	48.3	39.0	32.6	42.4	40.2	12.0	36.0	47.5	25.3	
＜参考＞ 2018年全体			63.8	28.2	11.9	41.8	35.0	38.9	38.4	36.9	25.4	42.9	51.2	23.7	

気になる程度・重症認識	QOL	症状（病気）の見通し	病院対処・治療意向
-------------	-----	------------	-----------

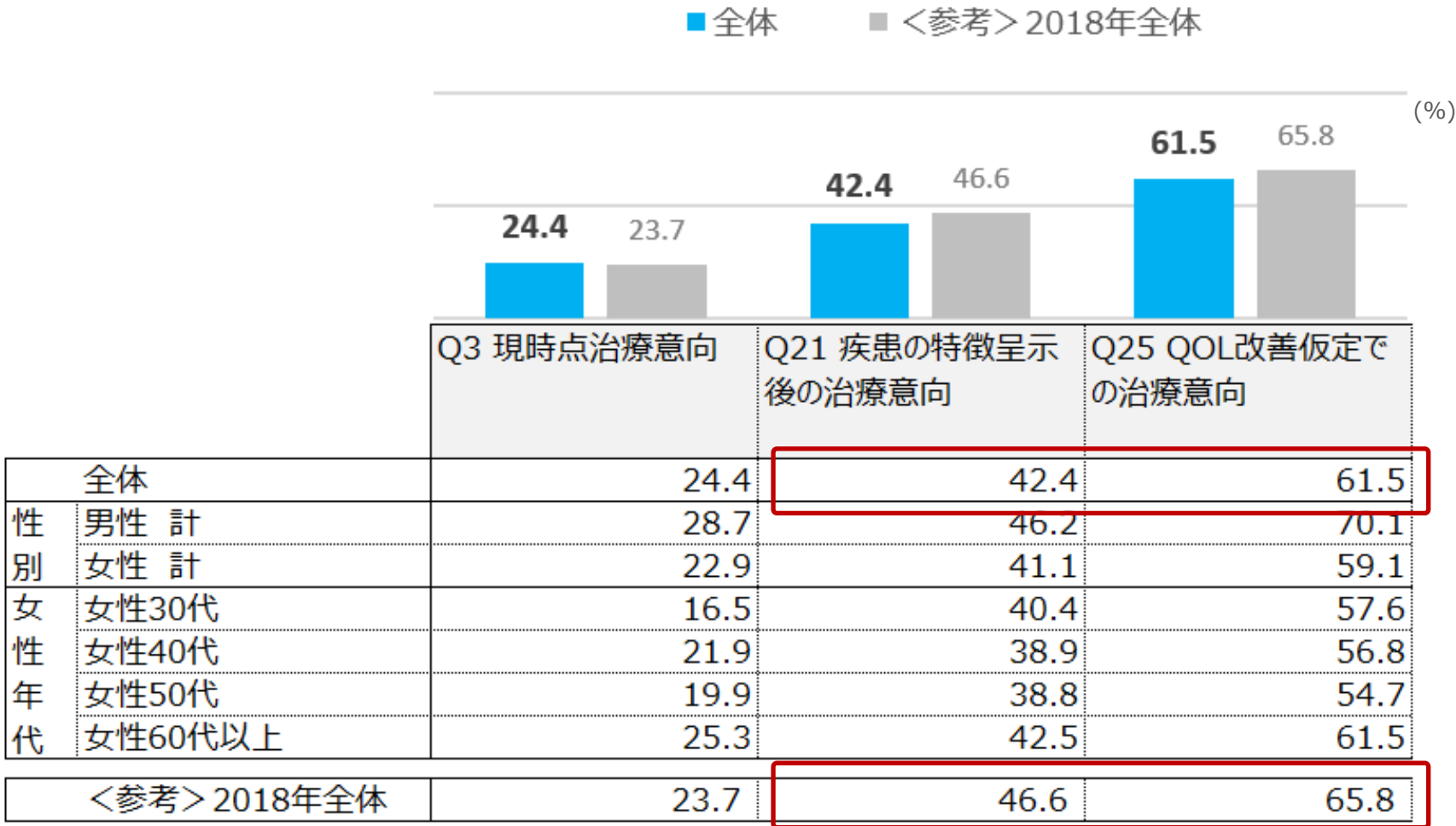
■ 病院での治療意向一覧

現時点の治療意向は全体で24.4%

疾患の特徴呈示後またはQOL改善仮定での治療意向はUPするものの、前回（2018年）に比べてやや低め

Q3 Q21 Q25 病院での治療意向

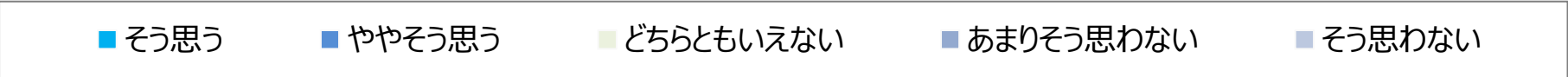
集計対象：症状経験者



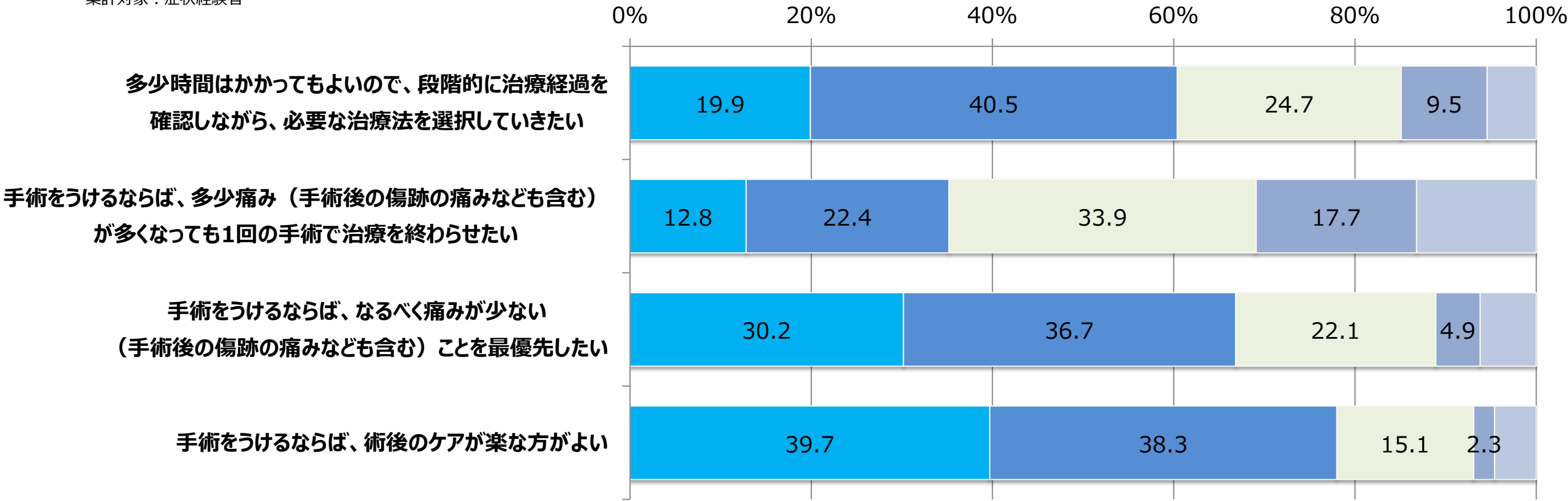
■ 求める治療・手術へのスタンス

「多少時間はかかっても段階的に必要な治療法を選択していきたい」が
6割にのぼる

Q26 治療・手術へ求めること



集計対象：症状経験者



■ コロナによるライフスタイルの変化と症状の認識（女性）

「症状が重い」と感じている人は、コロナ禍において運動不足になっているケースが高く、身体やQOLへの影響も高めの傾向

Q31 コロナによるライフスタイルへの影響

集計対象：女性の症状経験者

集計対象：女性の症状経験者		運動不足に繋がる環境				身体への影響		対策				QOL		
		外出する機会が少なくなった	自宅で過ごす時間が増えた	立っている時間が短くなった	不規則な生活になった（食事、睡眠など）	体重が増えた	便秘になることが多くなった	適度な運動（ウォーキング、ランニングなど）をするようになった	よりバランスのある食事をとれるようになった	血行をよくするため、飲み物や健康食品などを活用するようになった	弾性ストッキングを利用するようになった（頻度が高くなった）	スカートで過ごす時間が少なくなった	足の状態を含め、鏡で自分のチェックをすることが少なくなった	
女性全体		(1,834)	56.4	57.0	29.2	10.8	35.6	15.4	20.1	11.1	7.2	6.5	17.0	10.7
症状が気になる		(1,196)	57.4	58.9	31.5	11.6	37.8	16.8	20.9	11.8	8.0	8.0	18.4	12.0
症状が気にならない		(638)	54.4	53.4	24.9	9.2	31.5	12.9	18.5	9.9	5.6	3.8	14.4	8.2
症状が段々悪くなっている気がする		(401)	58.4	60.1	33.2	13.7	40.6	18.7	23.7	13.2	9.5	10.5	19.7	15.2
症状が段々悪くなっている気はしない		(1,433)	55.8	56.1	28.1	10.0	34.2	14.5	19.1	10.5	6.6	5.4	16.3	9.4
症状が重いと感じている		(200)	60.5	58.0	34.5	17.0	42.0	23.0	25.5	17.5	15.5	12.5	26.0	17.5
症状が重いとは思っていない		(1,634)	55.9	56.9	28.6	10.0	34.8	14.5	19.4	10.3	6.2	5.8	15.9	9.9

(%)

調査結果ポイント

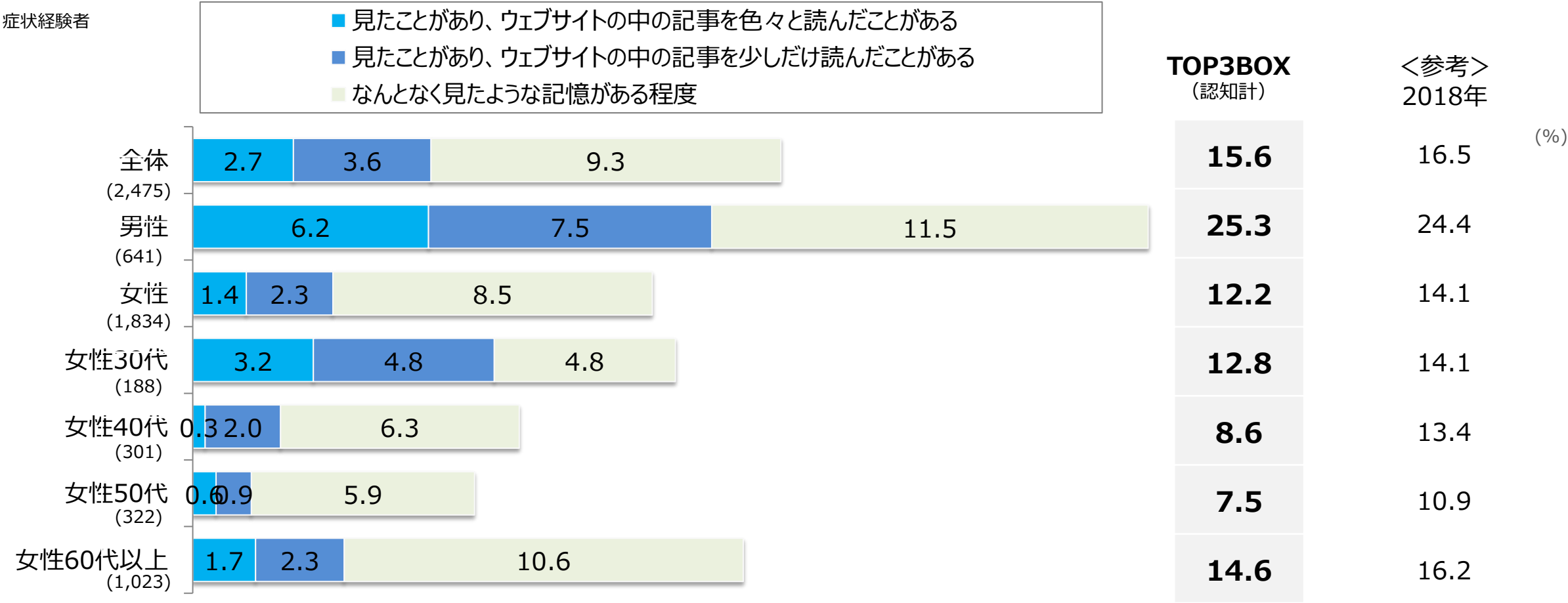
5. 啓発サイトの認知と評価

■ウェブサイト「知ってください下肢静脈瘤のこと」閲覧状況

サイト訪問率は15.6%で前回（2018年）とほぼ同レベル

Q27 啓発サイト閲覧状況

集計対象：症状経験者

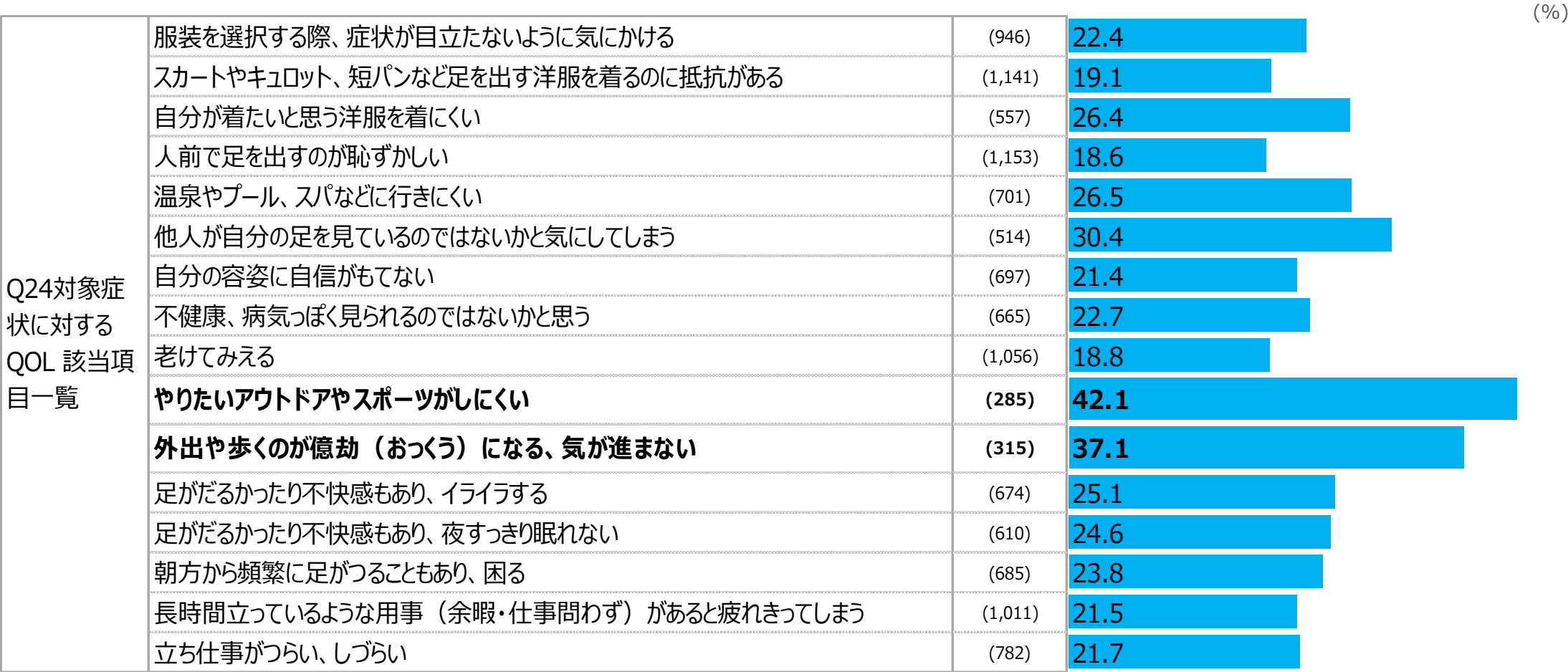


■ ウェブサイト「知ってください下肢静脈瘤のこと」閲覧状況（QOL状況別）

「やりたいアウトドアやスポーツがしにくい」や「外出や歩くのが億劫になる」
など生活に制限が出ている人のサイト訪問率が高い

Q27 啓発サイト閲覧状況

集計対象：症状経験者

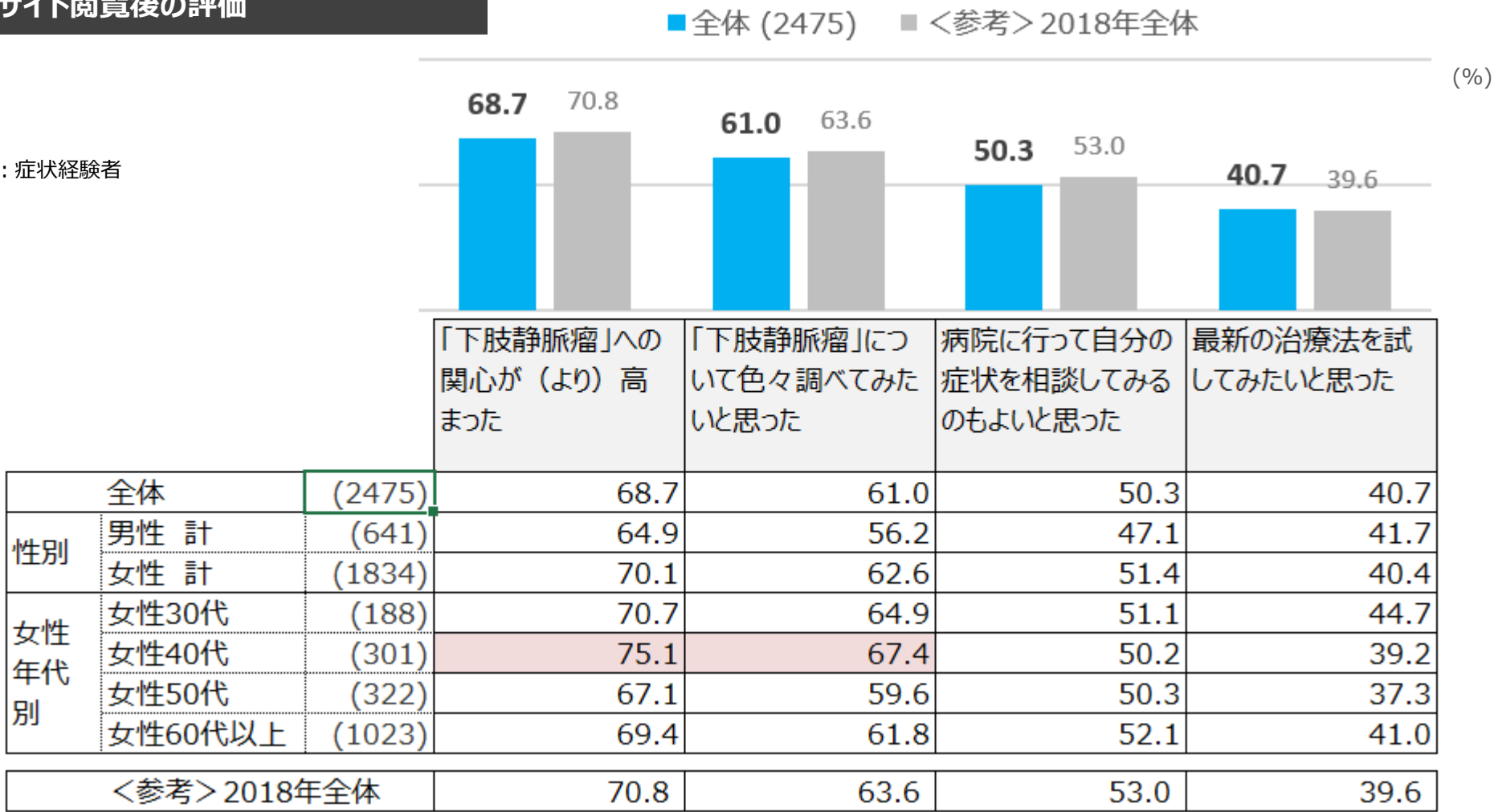


■ウェブサイト「知ってください下肢静脈瘤のこと」閲覧後の評価

閲覧後、約7割の人が「疾患への関心が高まった」としている

Q28 啓発サイト閲覧後の評価

集計対象：症状経験者

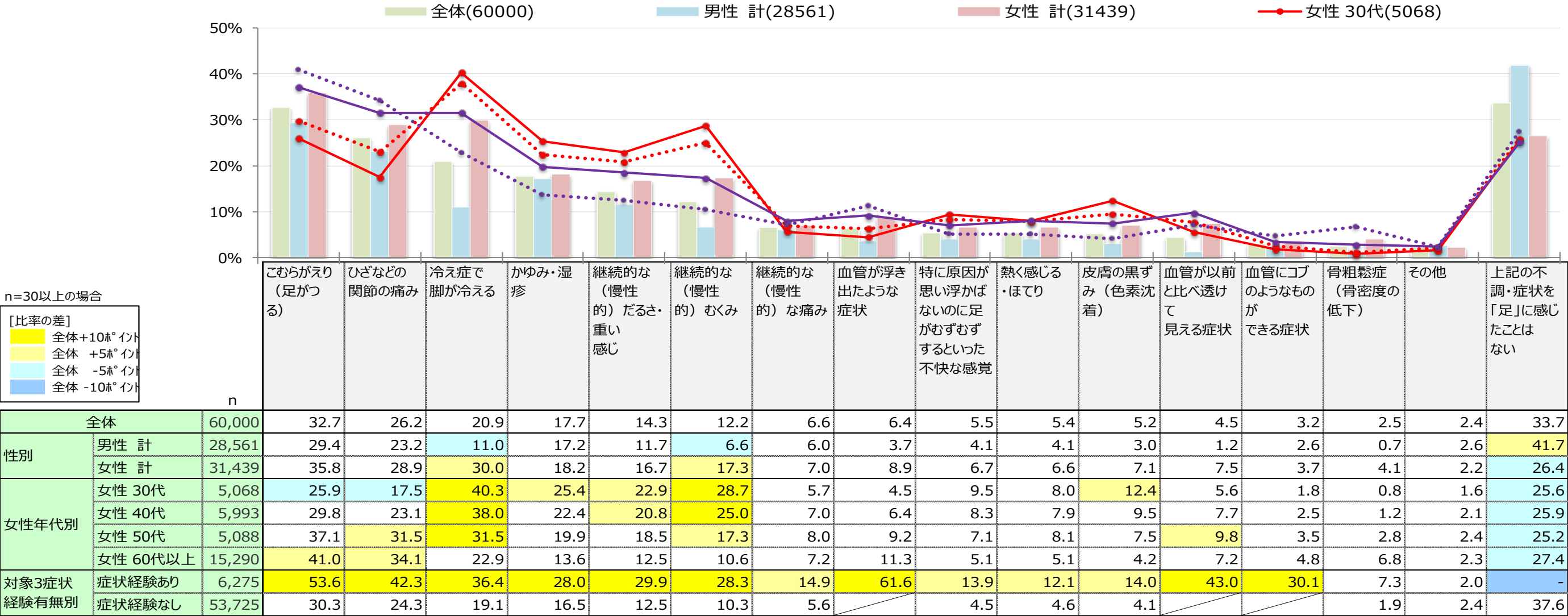


詳細データ：事前調査結果

1. 感じたことのある足の不調・症状

Q. あなたはこれまでに、下記のような「足」の不調・症状を感じたことがありますか？あてはまるものを全てお選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

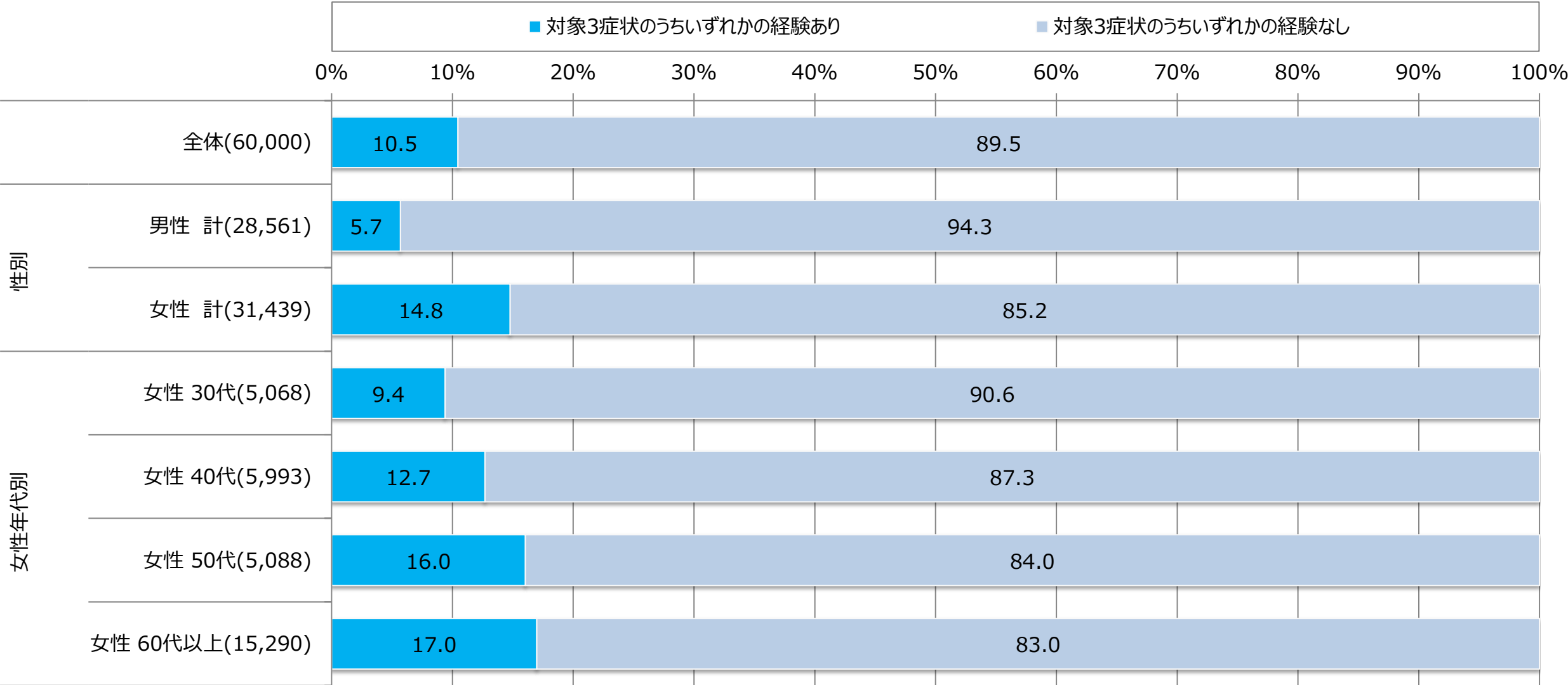


※分析軸にある「対象3症状経験有無」とは、同設問における、足の不調「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にこぶのようなものができる症状」のいずれかを感じた経験の有無

2. 感じたことのある足の不調・症状 【下肢静脈瘤が疑われる症状まとめ*】

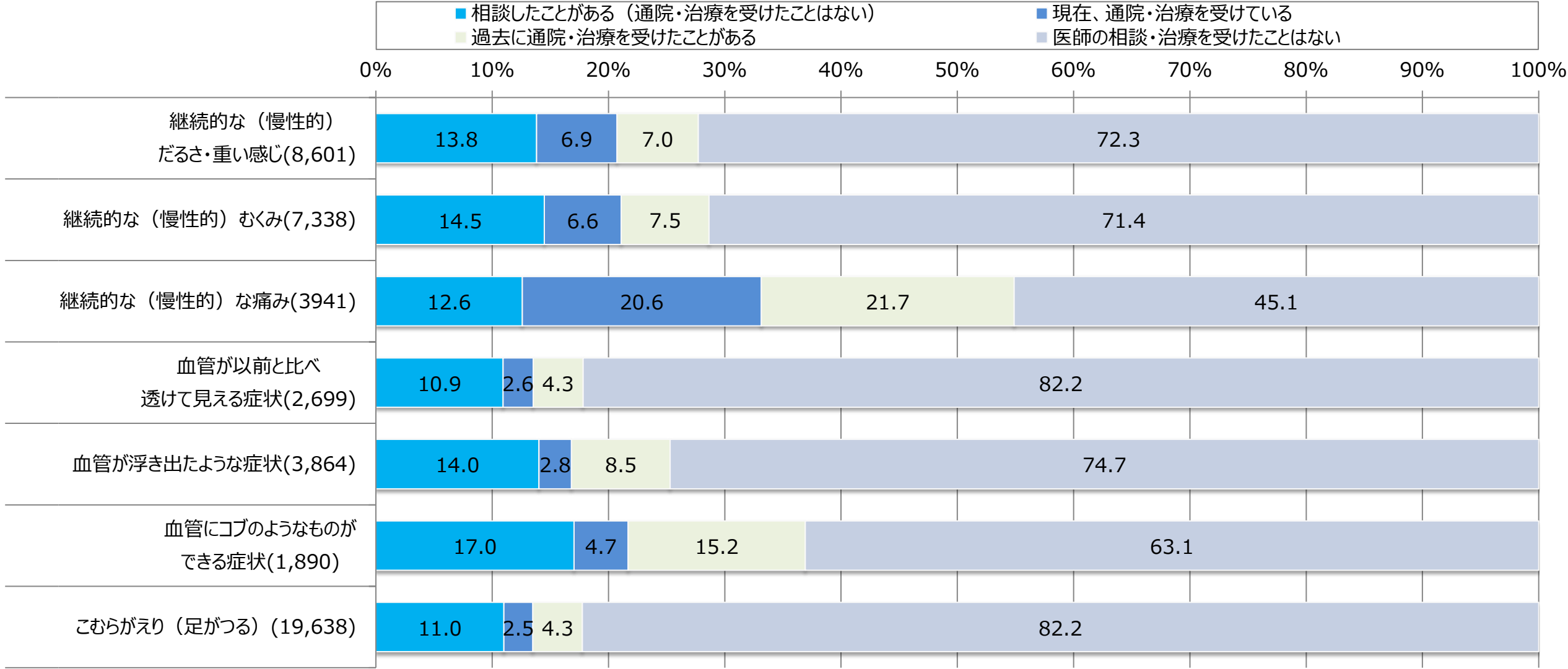
*対象3症状のうちいずれかの経験あり：「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にコブのようなものができる症状」

Q. あなたはこれまでに、下記のような「足」の不調・症状を感じたことがありますか？あてはまるものを全てお選びください。



3. 足の不調の医師への受診状況 <全体> ①

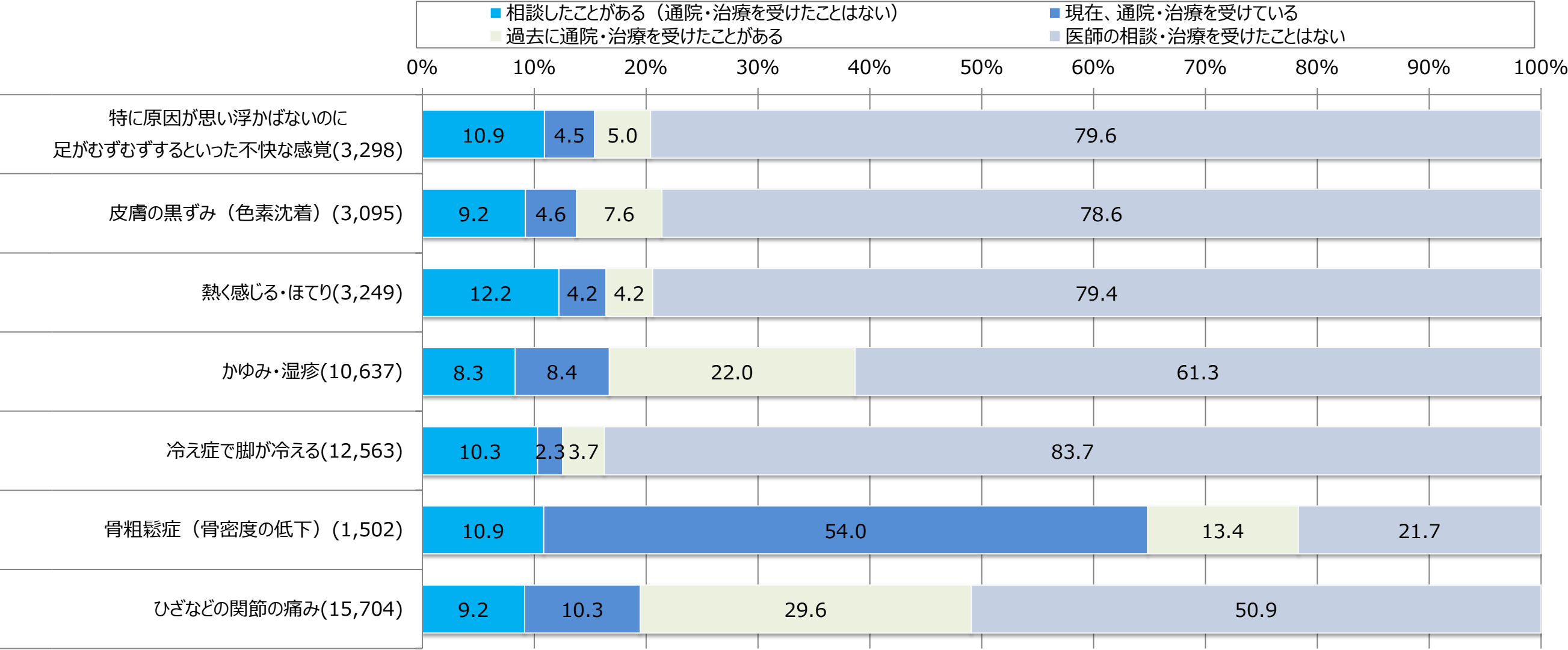
Q. あなたが前問で感じたことがあると回答した「足」の症状や疾患について、医師に相談したり・治療を受けたことはありますか？（それぞれひとつずつ）



集計対象：当該症状がある人のみ

3. 足の不調の医師への受診状況 <全体> ②

Q. あなたが前問で感じたことがあると回答した「足」の症状や疾患について、医師に相談したり・治療を受けたことはありますか？（それぞれひとつずつ）

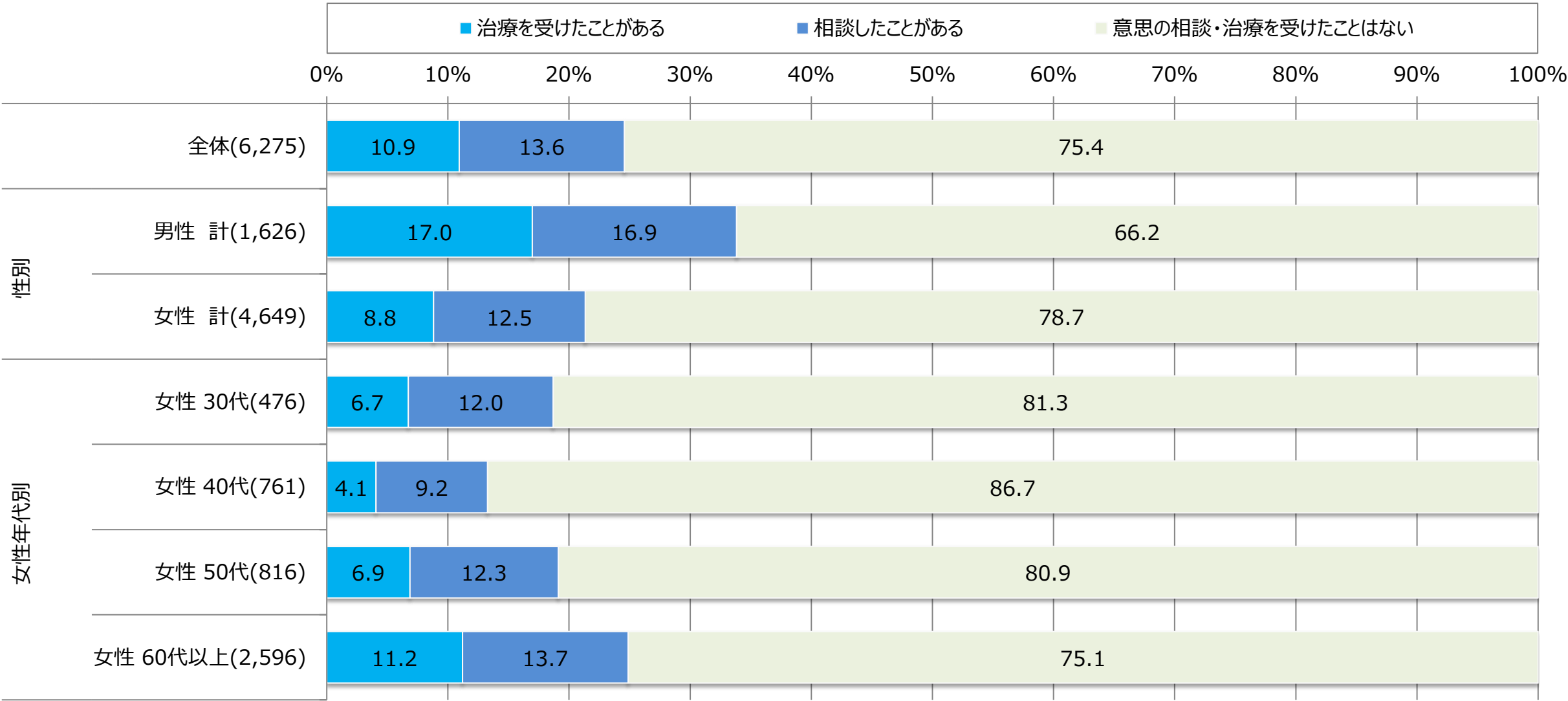


集計対象：当該症状がある人のみ

4. 下肢静脈瘤が疑われる症状*の受診状況まとめ

*足の「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にコブのようなものができる症状」

Q. あなたが前問で感じたことがあると回答した「足」の症状や疾患について、医師に相談したり・治療を受けたことはありますか？（それぞれひとつずつ）

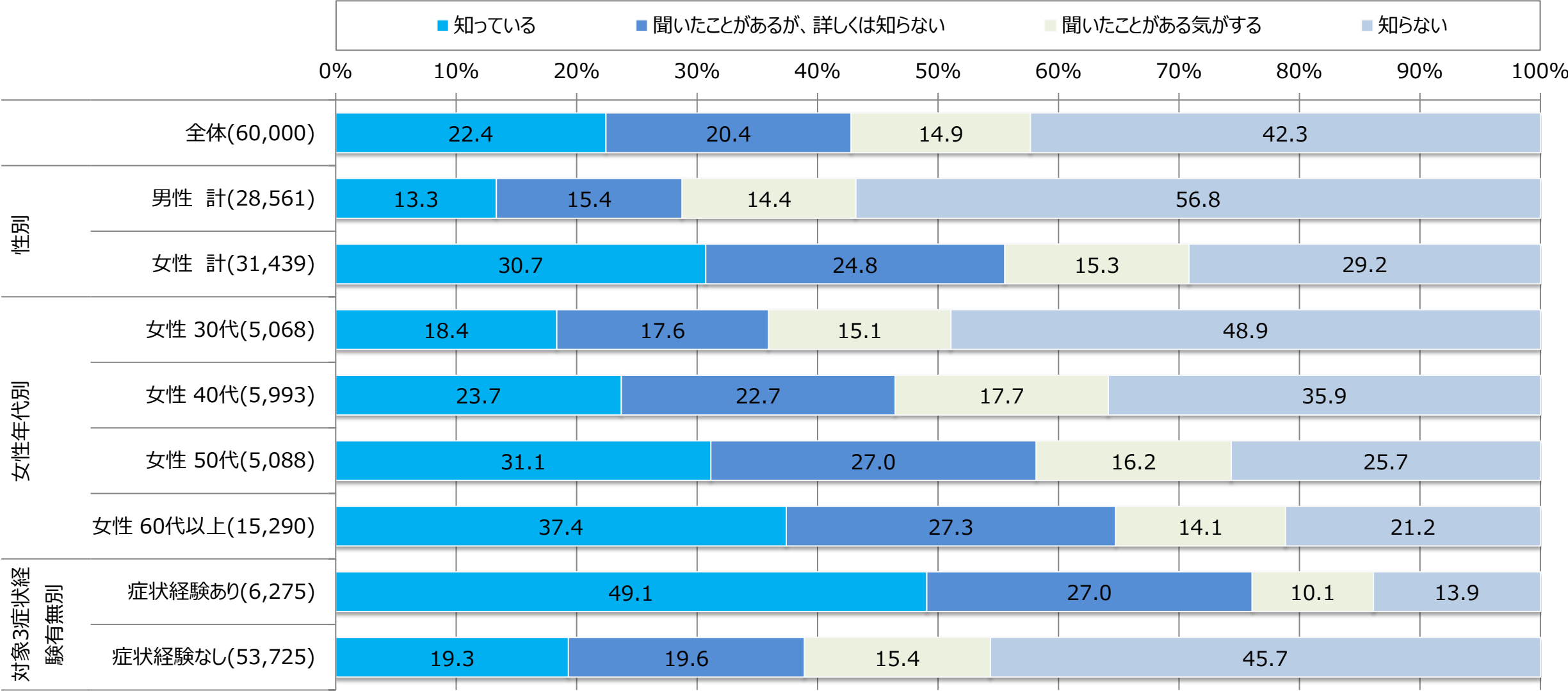


※対象 3 症状のいずれか該当率で集計
※“治療経験あり”には、現在、過去の治療の両方を含みます

集計対象：当該 3 症状のいずれかがある人のみ

5. 下肢静脈瘤の認知状況

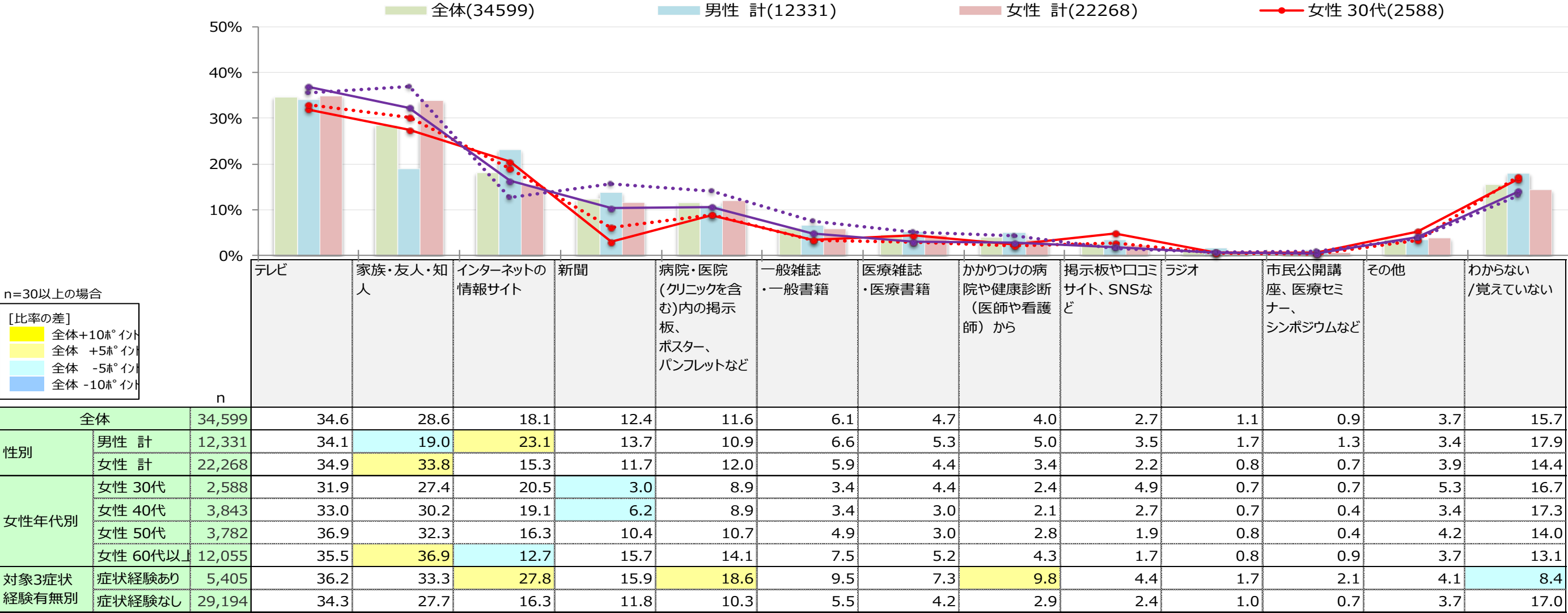
Q. あなたは、「下肢静脈瘤」という病気を知っていますか？



6. 下肢静脈瘤の認知経路

Q. あなたは、「下肢静脈瘤」という病気を何から知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。

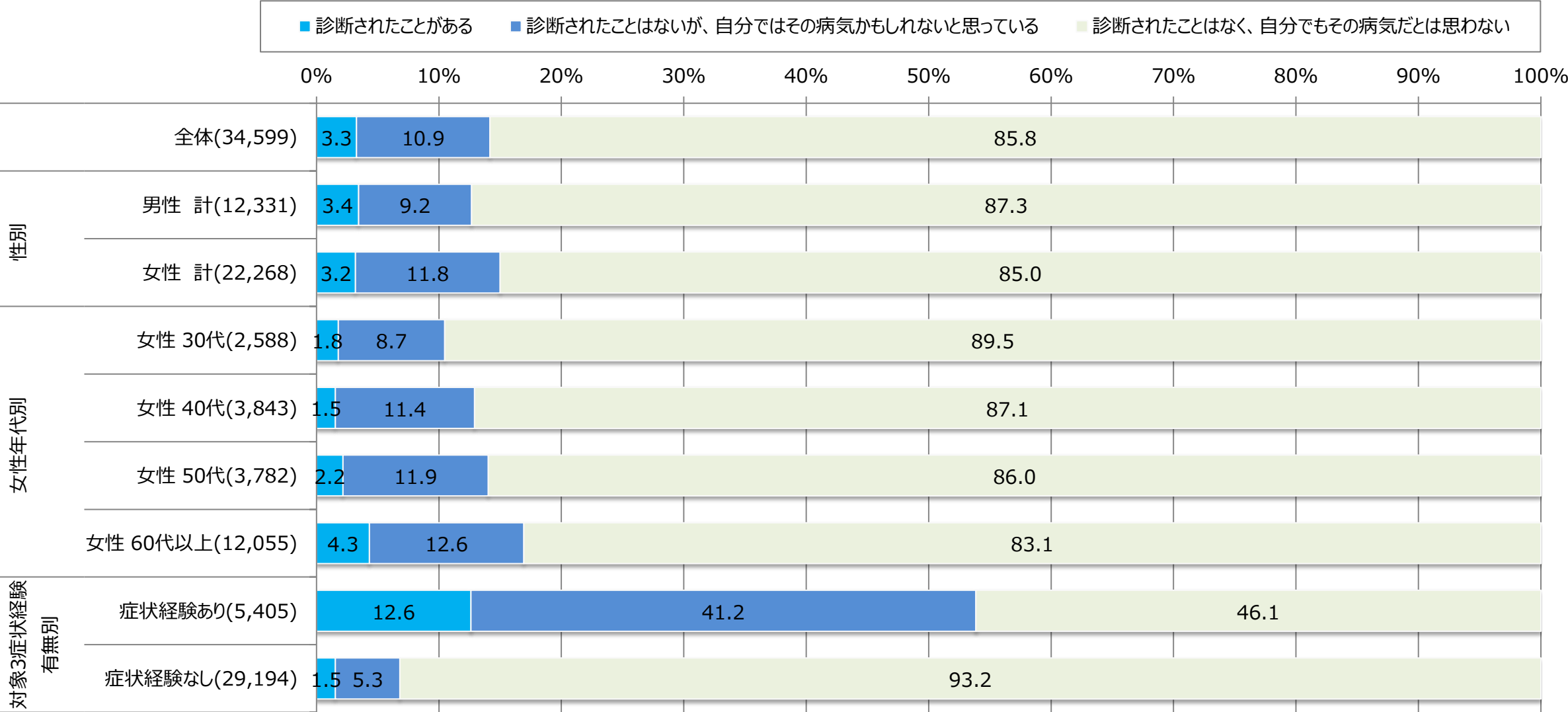
※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：「下肢静脈瘤」認知者(SQ3で「知っている」「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」「聞いたことがある気がする」のいずれか該当 以下、認知者と略記) のみ

7. 下肢静脈瘤の診断状況

Q. あなたはこれまでに、病院で医師から「下肢静脈瘤」と診断されたことはありますか？

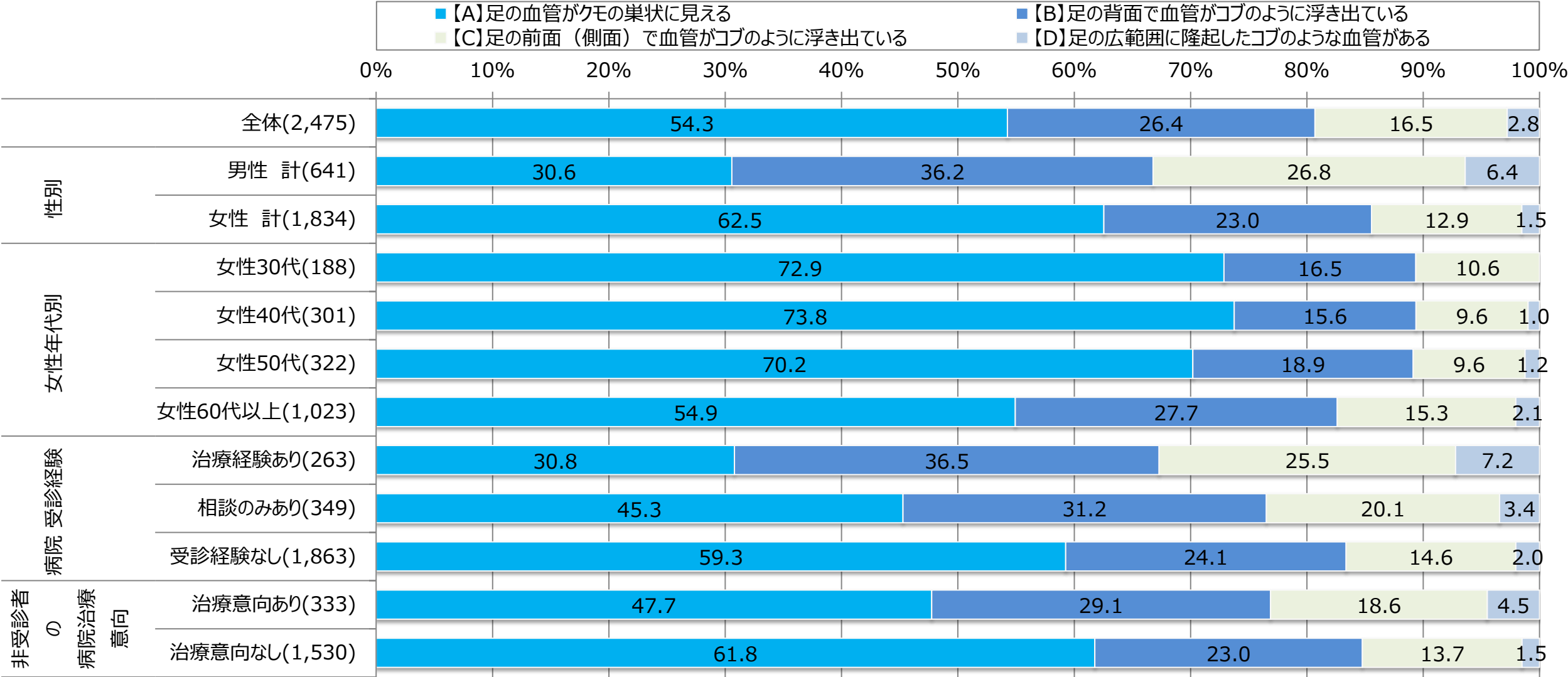


集計対象：「下肢静脈瘤」認知者のみ

詳細データ：本調査結果

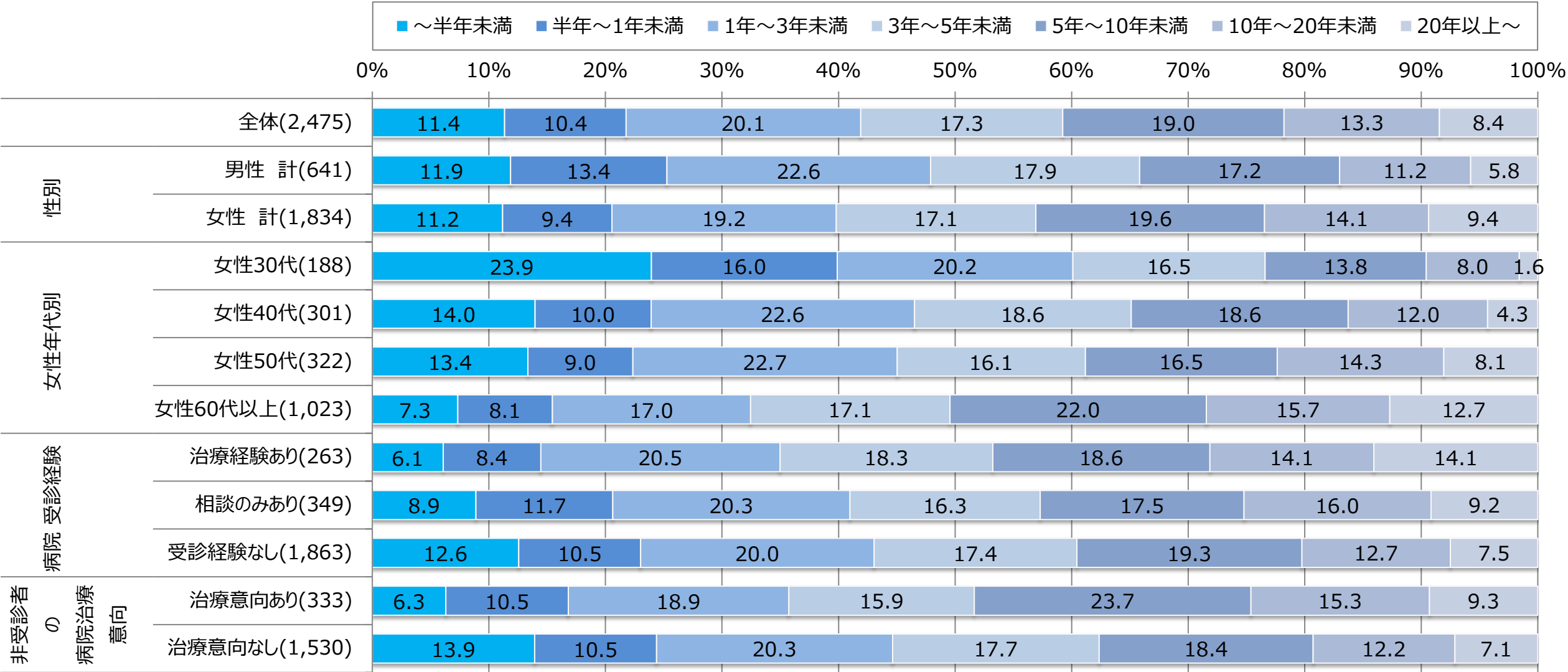
8. 症状分類

<<ここからは、あなたが感じたことのある「血管が以前と比べ透けて見える症状」「血管が浮き出たような症状」「血管にコブのようなものができる症状」についておかがいします。※以降の質問では「これらの症状」として表記しています。>>
Q. あなたが感じたことのある「これらの症状」は、どのような症状ですか？ 以下に挙げた写真の中から同じ症状と思うものを選んでください。※症状の程度には個人差がありますので、下記写真の中から最も近いものをお選びください。



9. 症状が続いている期間

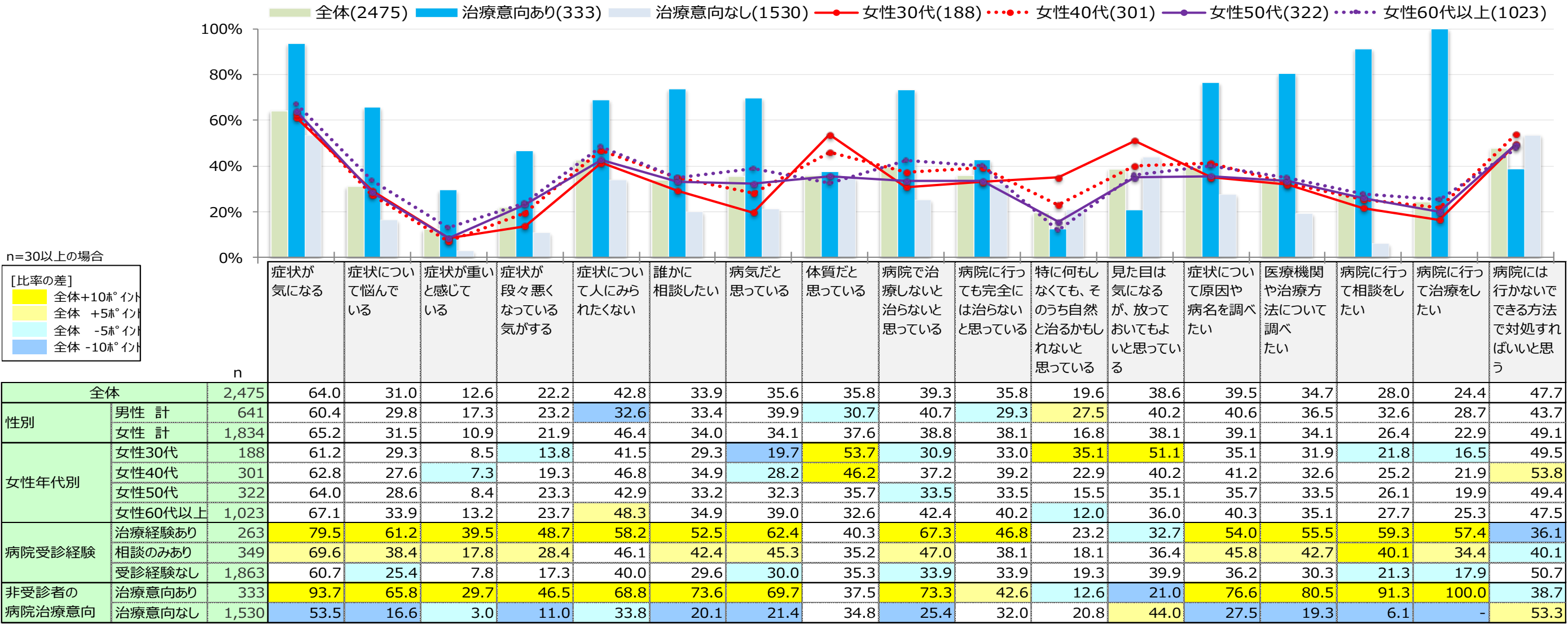
Q. あなたは、どのくらいの期間、「これらの症状」が続いていますか（いましたか）？ ※病気が再発した場合は、症状が続いた合計の期間をお答えください。



10. 症状に対する意識 <TOP2一覧>

Q. あなたは、現在の「これらの症状」について、どのように思われますか？

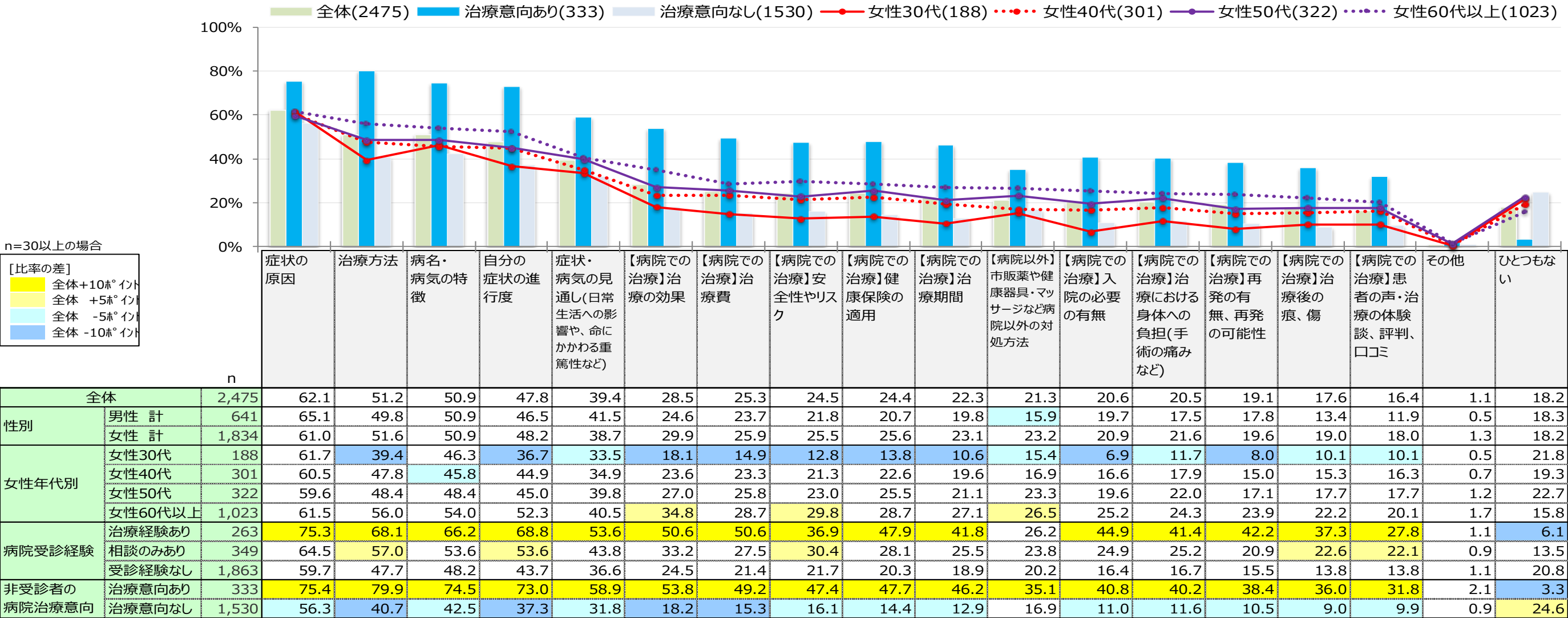
※掲載スコアは、「そう思う」+「ややそう思う」の合計値（TOP2BOX）



11. 症状について気になっていること

Q. あなたは、「これらの症状」に関して、以下のようなことについて気になったことはありますか？また、その中で実際に情報収集をしたことがありますか？それぞれあてはまるものを全てお選びください。

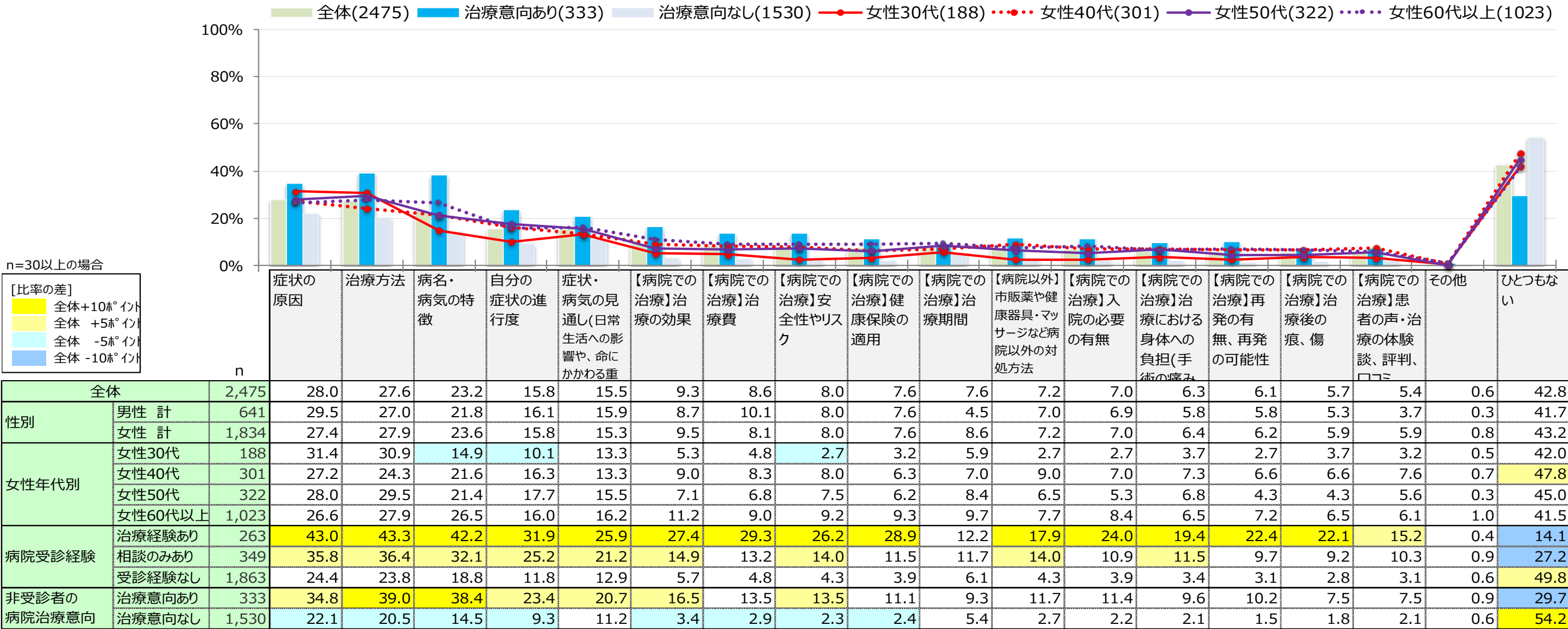
※「全体」のスコアで降順にソート



12. 症状について調べたこと

Q. あなたは、「これらの症状」に関して、以下のようなことについて気になったことはありますか？また、その中で実際に情報収集をしたことがありますか？それぞれあてはまるものを全てお選びください。

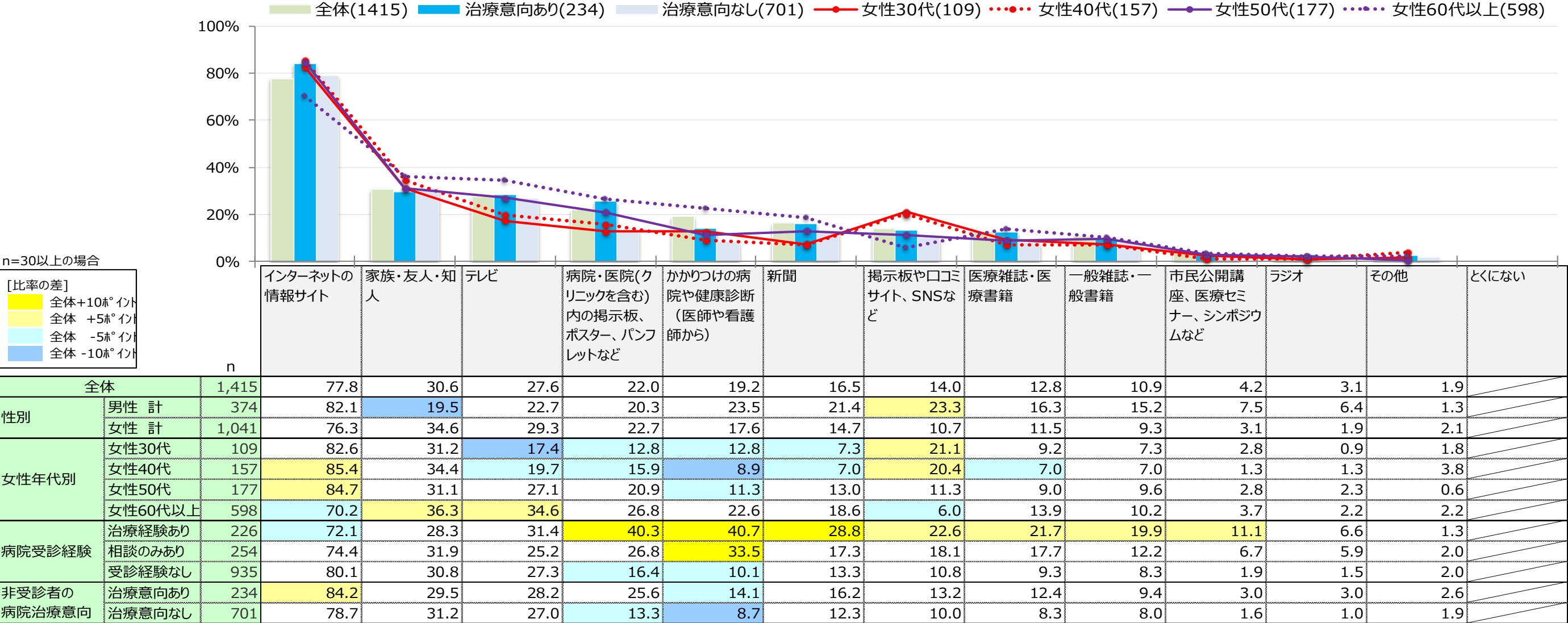
※「全体」のスコアで降順にソート



13. 症状についての情報収集源

Q. あなたは、「これらの症状」について情報収集を行ったことがあるとのことですが、どのような手段で情報収集をしましたか？あてはまるものを全てお選びください。
また、その中で、情報の信頼性が高いと思った情報源や、病院に相談に行ったことのある人は、病院に行くきっかけになった情報源をそれぞれ3つまでお選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

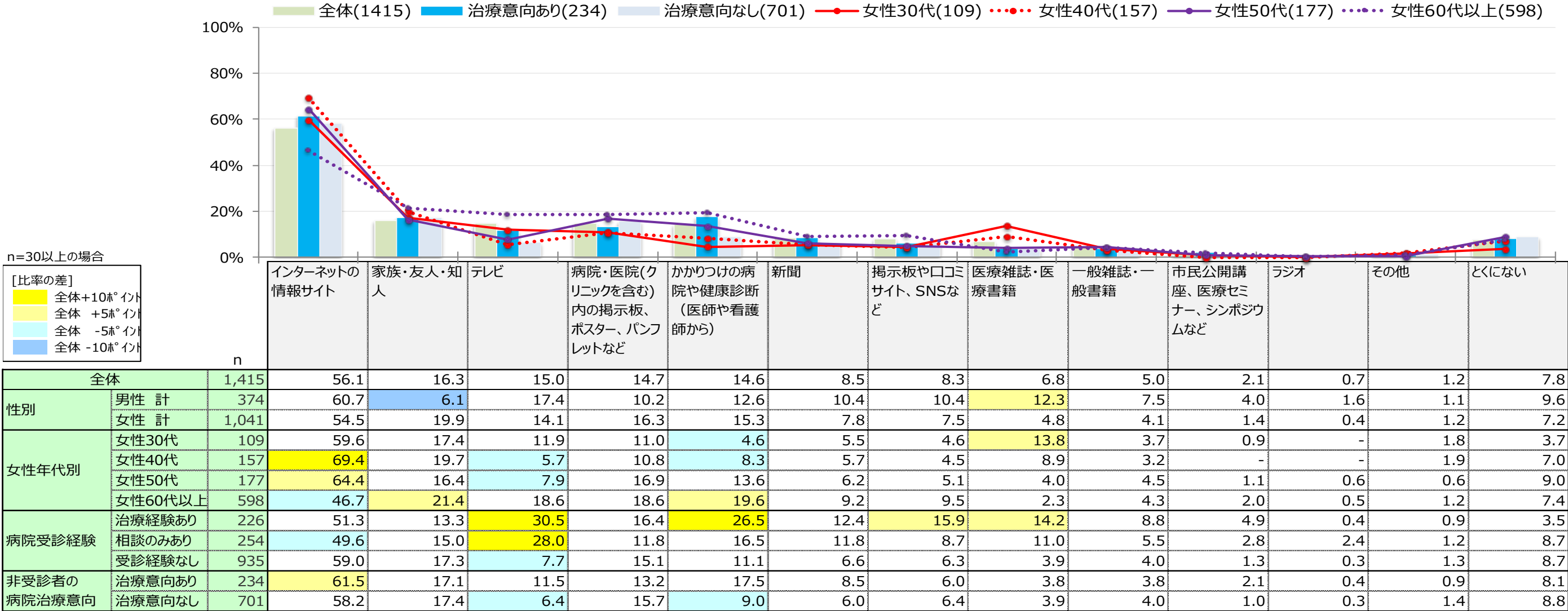


集計対象：情報収集を行った人のみ

14. 信頼性が高いと思った情報源

Q. あなたは、「これらの症状」について情報収集を行ったことがあるとのことですが、どのような手段で情報収集をしましたか？あてはまるものを全てお選びください。
また、その中で、情報の信頼性が高いと思った情報源や、病院に相談に行ったことのある人は、病院に行くきっかけになった情報源をそれぞれ3つまでお選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

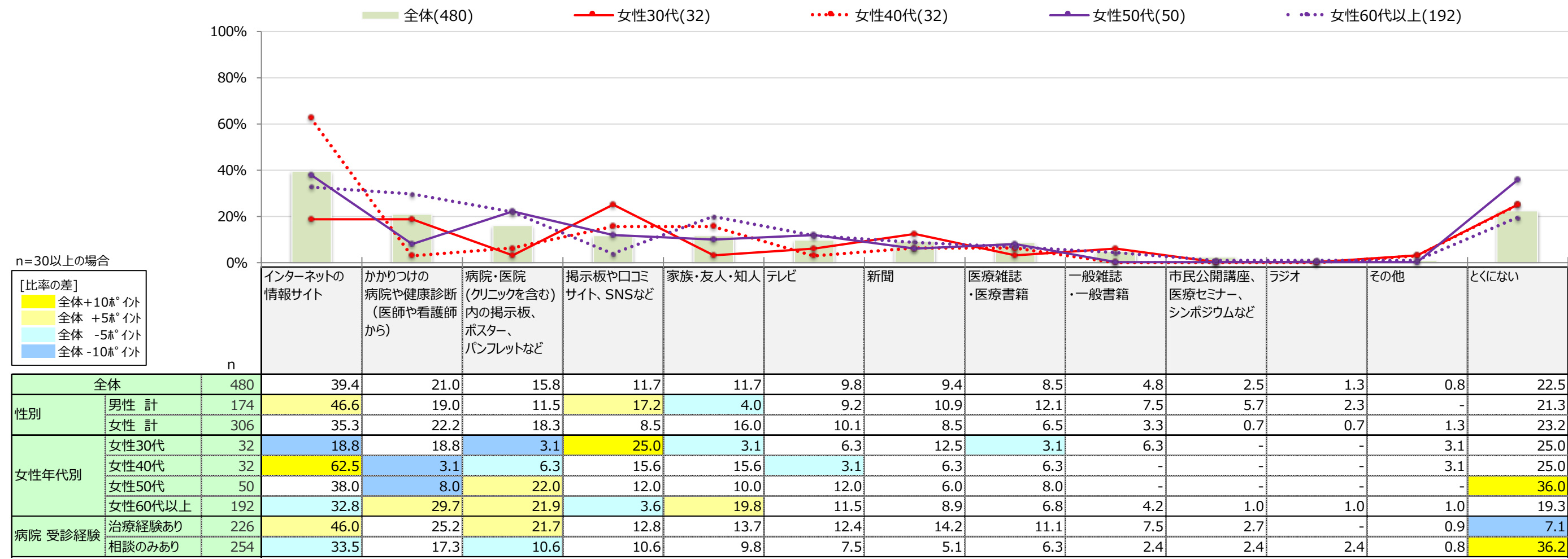


集計対象：情報収集を行った人のみ

15. 通院のきっかけとなった情報源

Q. あなたは、「これらの症状」について情報収集を行ったことがあるとのことですが、どのような手段で情報収集をしましたか？あてはまるものを全てお選びください。
また、その中で、情報の信頼性が高いと思った情報源や、病院に相談に行ったことのある人は、病院に行くきっかけになった情報源をそれぞれ3つまでお選びください。

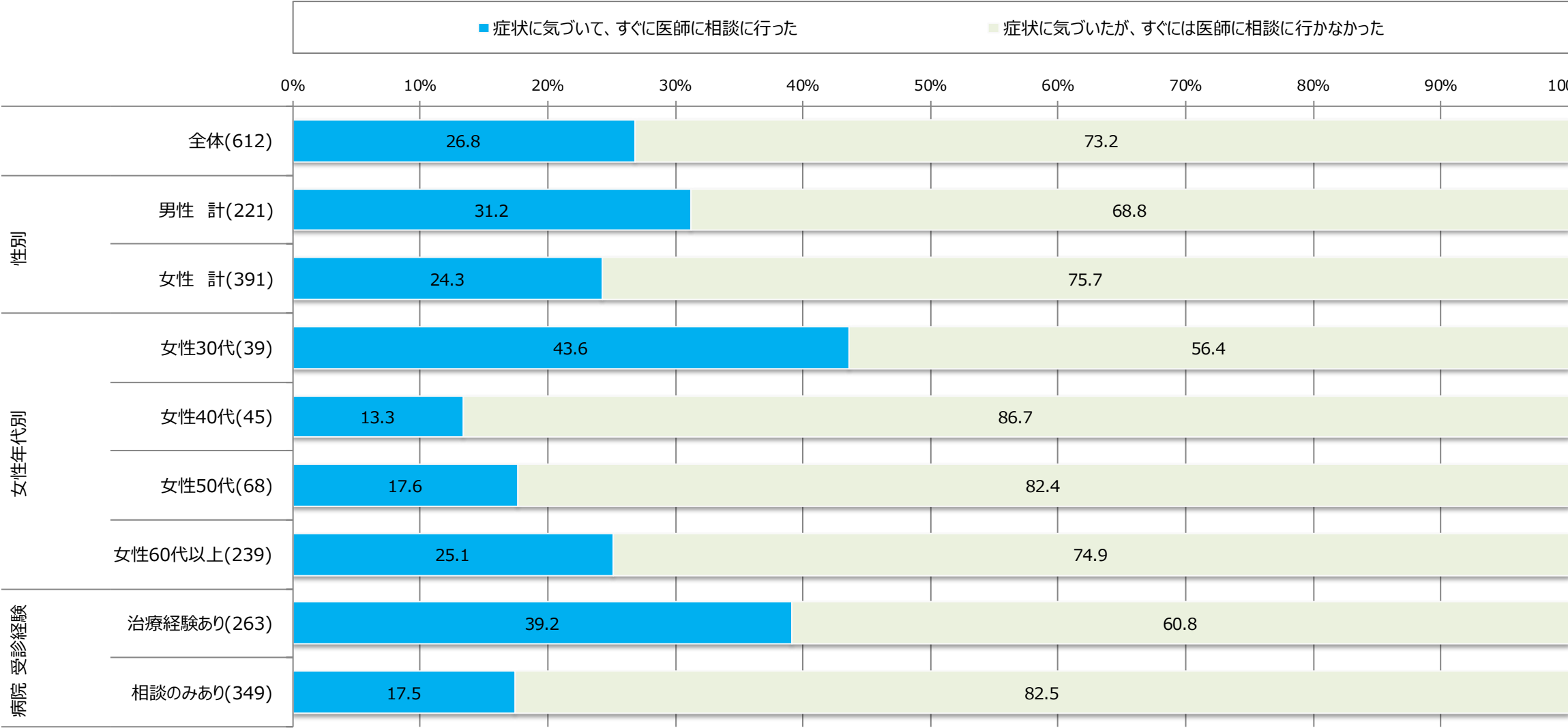
※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：情報収集行い、医師相談経験のある人のみ

16. 症状に気づいた時の行動

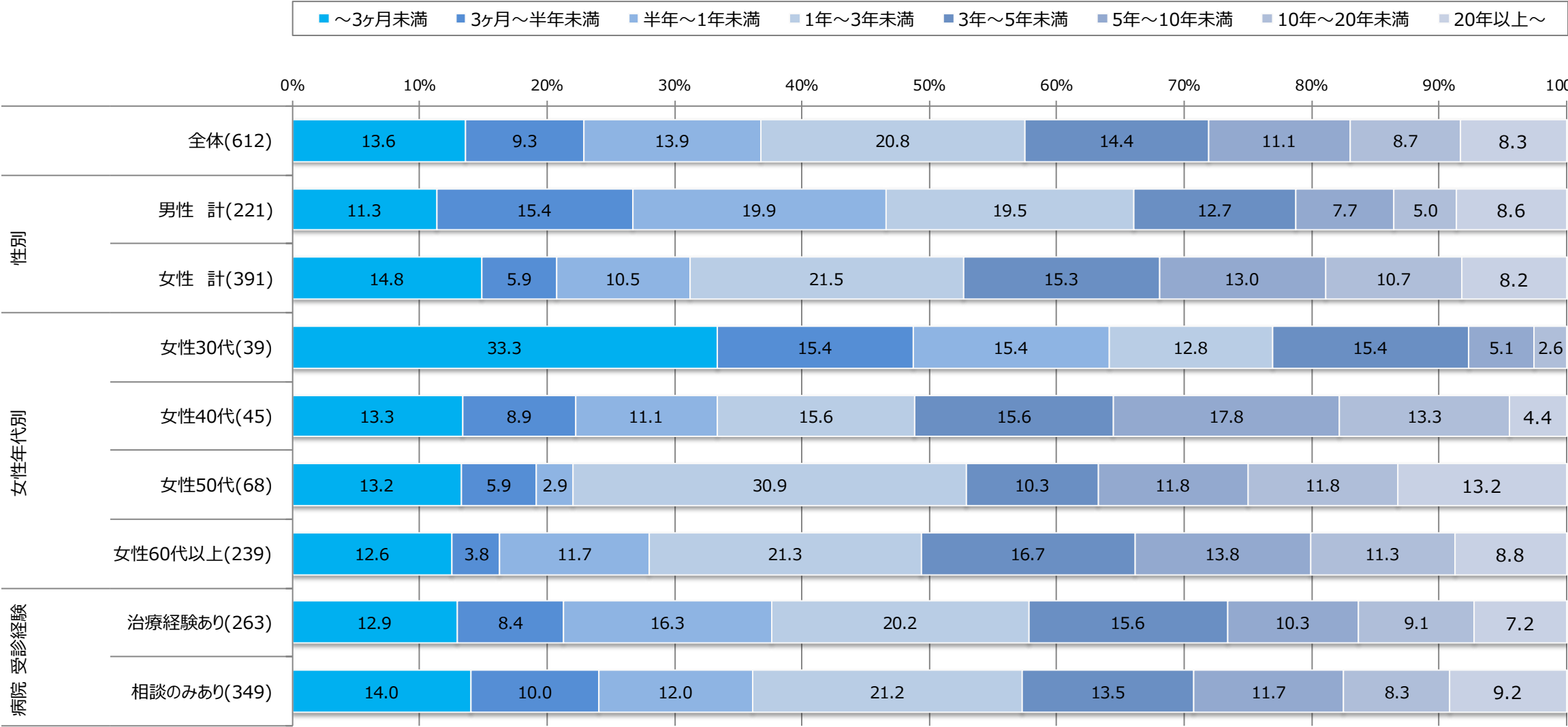
Q. あなたは、「これらの症状」があることに初めて気づいた際、すぐに医師に相談に行きましたか？



集計対象：医師受診経験のある人のみ

17. 症状に気づいてから受診までの期間

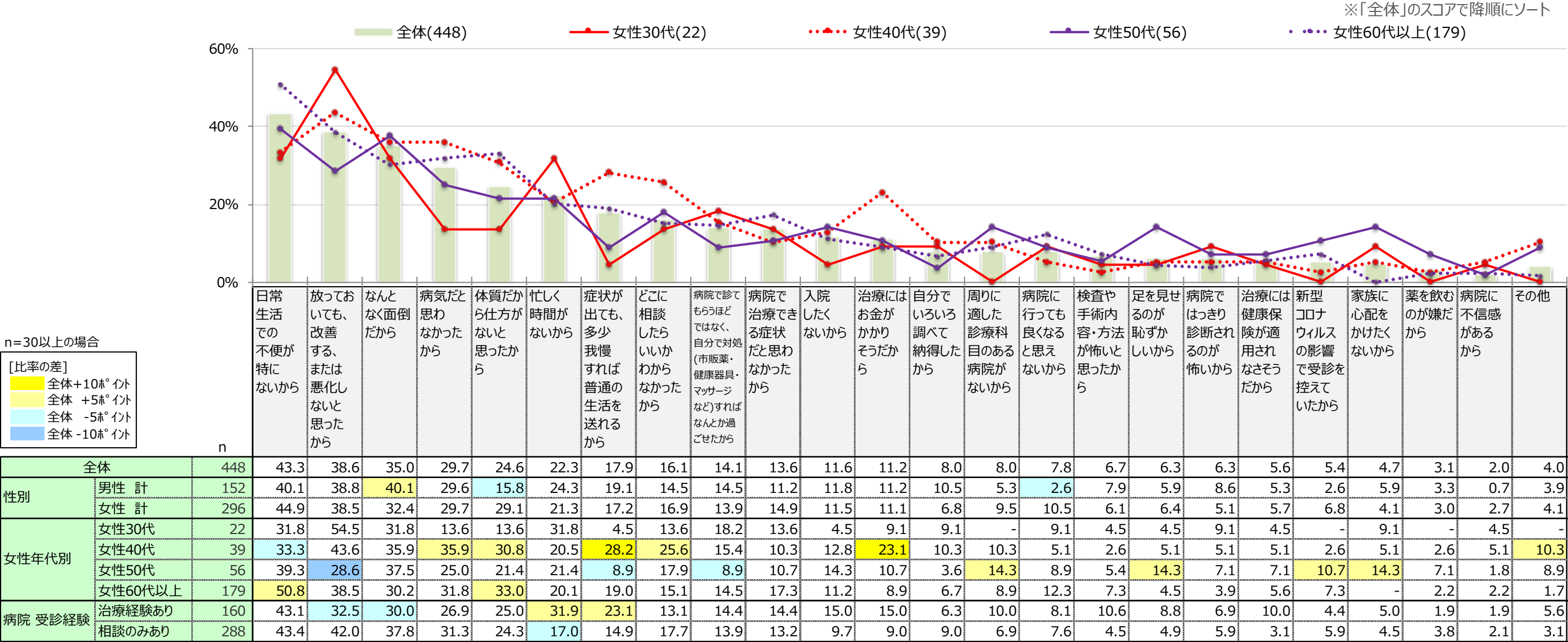
Q. あなたは、「これらの症状」に初めて気づいてから、医師に相談に行くまで、どれくらいの期間がありましたか？



集計対象：医師受診経験のある人のみ

18. すぐに受診しなかった理由

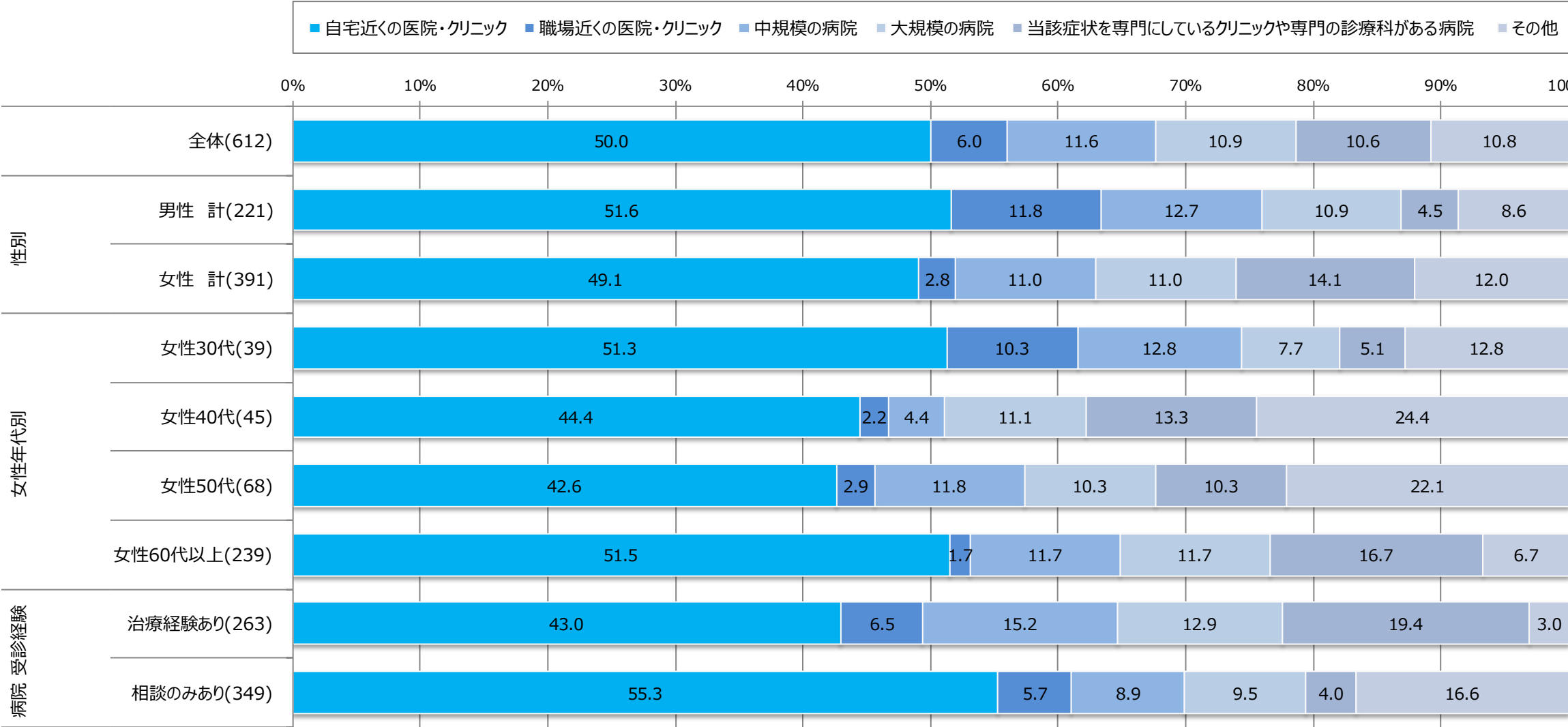
Q. あなたは、「これらの症状」に初めて気づいた際、すぐには医師に相談に行かなかった理由について、あてはまるものを全てお選びください。



集計対象：すぐに医師へ相談に行かなかった人のみ

19. 最初に相談した医療機関

Q. あなたが、「これらの症状」について、最初に相談をした医療機関は、以下のどの医療機関ですか？

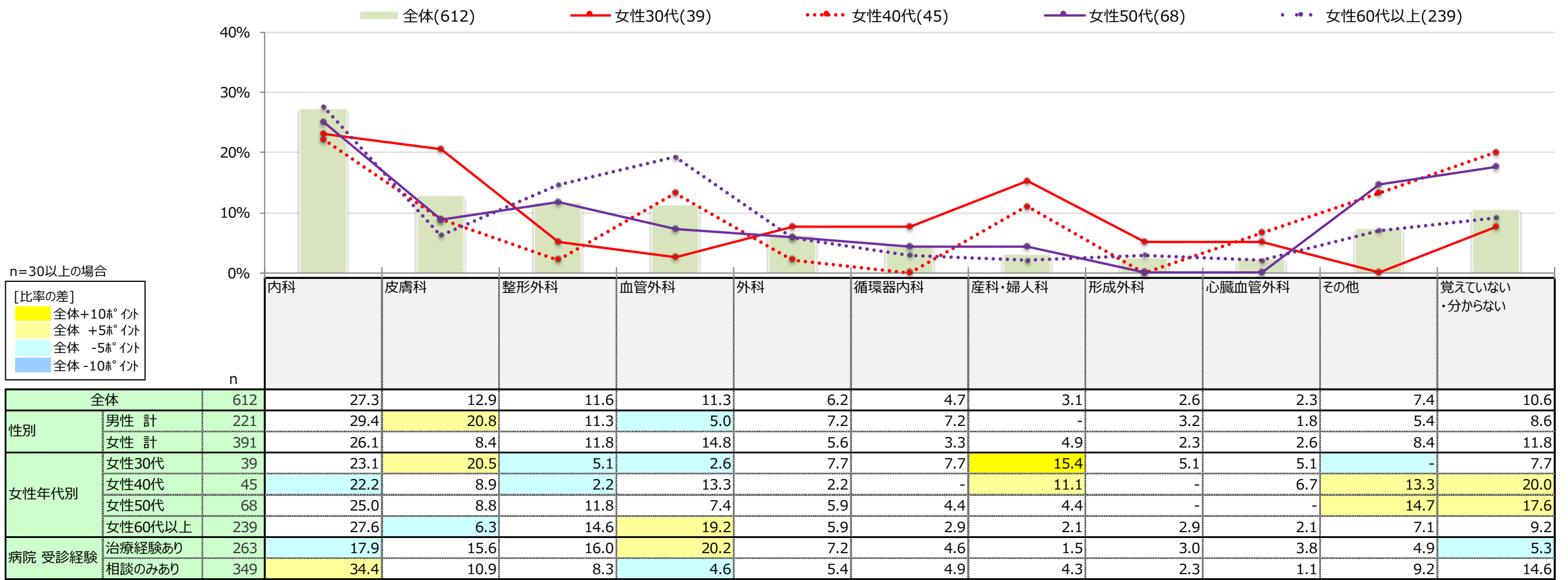


集計対象：医師受診経験のある人のみ

20. 最初に相談した診療科

Q. その最初に相談をした医療機関は、以下のどの診療科ですか？

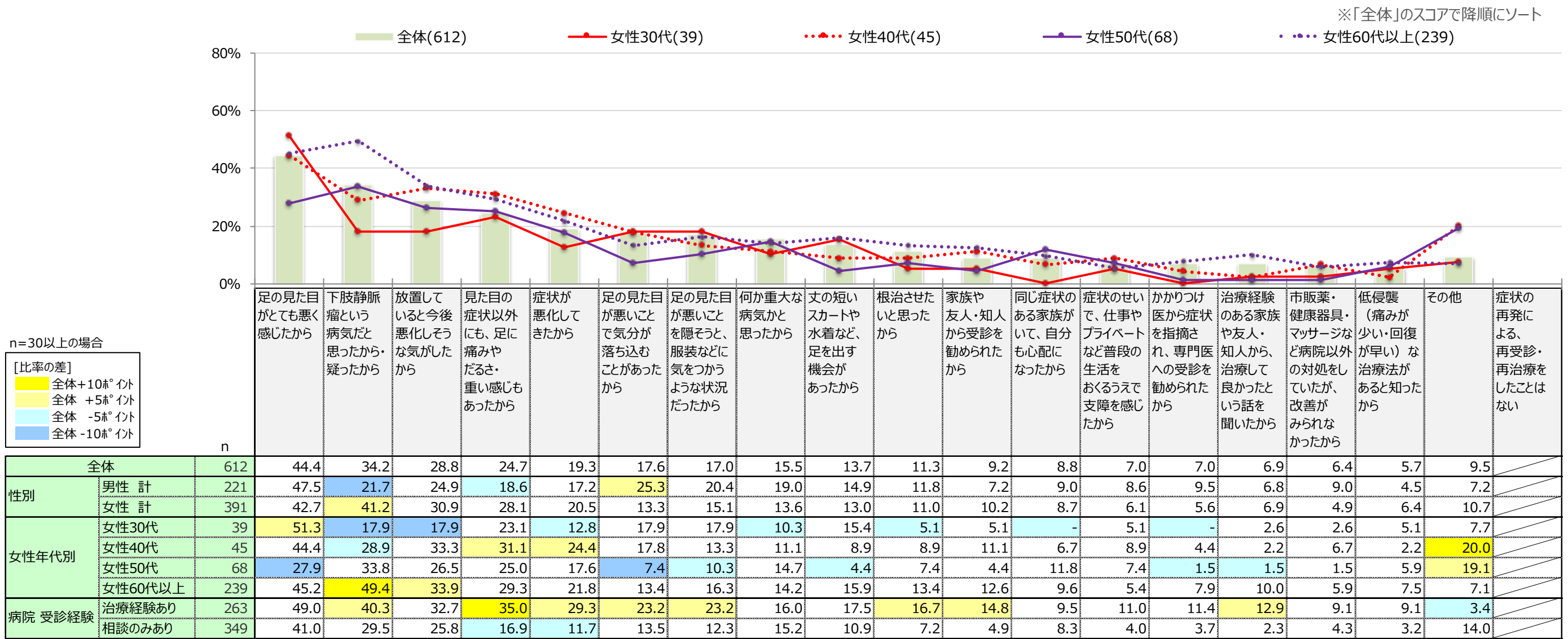
※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：医師受診経験のある人のみ

21. 受診のきっかけ - 初診

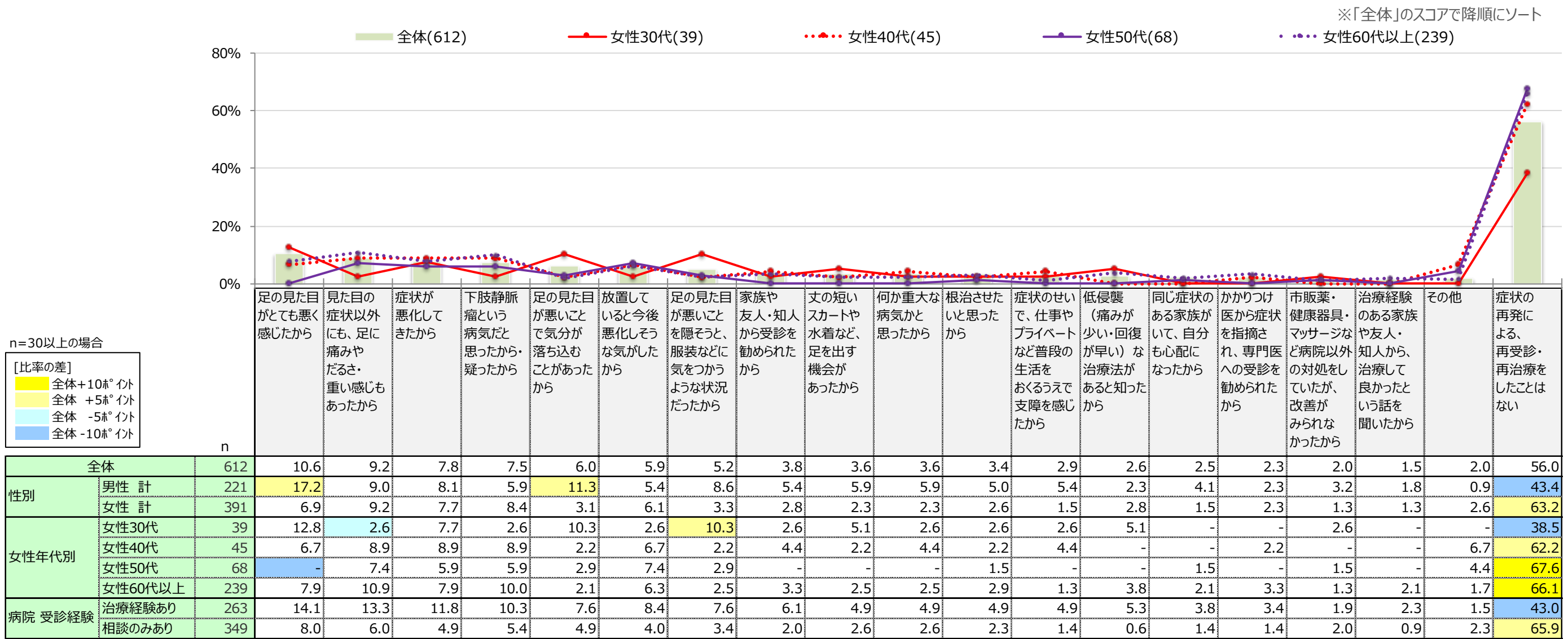
Q. あなたが「これらの症状」について、最初に医療機関に相談・治療した時の状況やきっかけと、症状再発により再受診・再治療した時の状況やきっかけについて、それぞれあてはまるものを全てお選びください。



集計対象：医師受診経験のある人のみ

22. 受診のきっかけ - 再受診・再治療時

Q. あなたが「これらの症状」について、最初に医療機関に相談・治療した時の状況やきっかけと、症状再発により再受診・再治療した時の状況やきっかけについて、それぞれあてはまるものを全てお選びください。

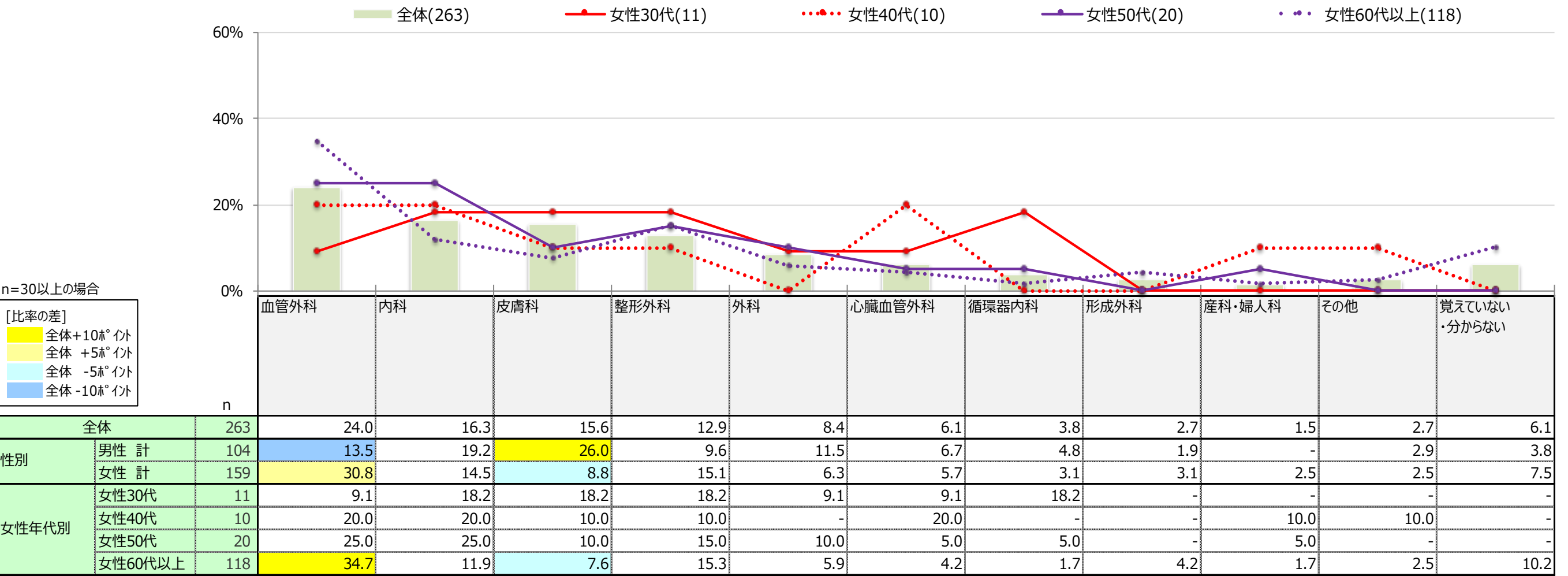


集計対象：医師受診経験のある人のみ

23. 治療を行った診療科 - 最初の医療機関

Q. 「これらの症状」について、治療を行った医療機関は、以下のどの診療科ですか?初めて治療を行った診療科と、症状再発により再受診・再治療した診療科について、お選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

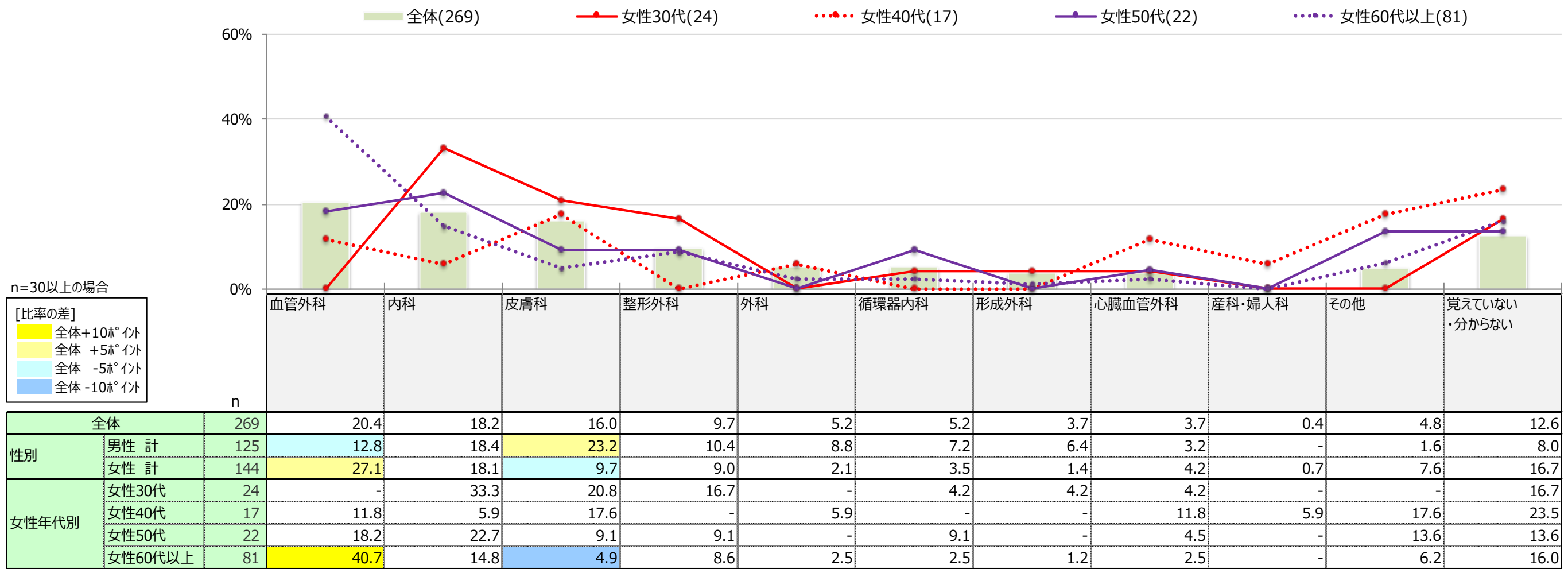


集計対象：医師治療経験のある人のみ

24. 治療を行った診療科 - 再治療時

Q. 「これらの症状」について、治療を行った医療機関は、以下のどの診療科ですか?初めて治療を行った診療科と、症状再発により再受診・再治療した診療科について、お選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

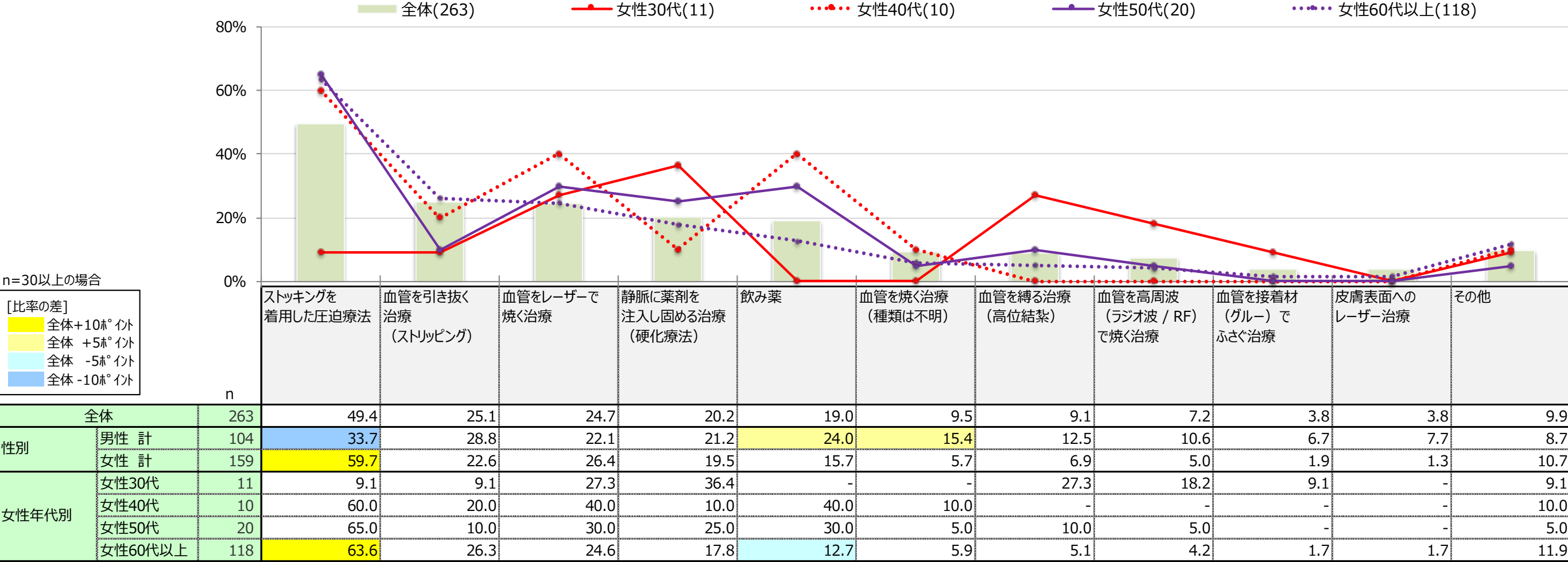


集計対象：医師受診経験があり、かつ再受診・再治療経験のある人のみ

25. 実際に受けた治療方法

Q. あなたは、「これらの症状」について医師からどのような治療を受けましたか?あてはまるものを全てお選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

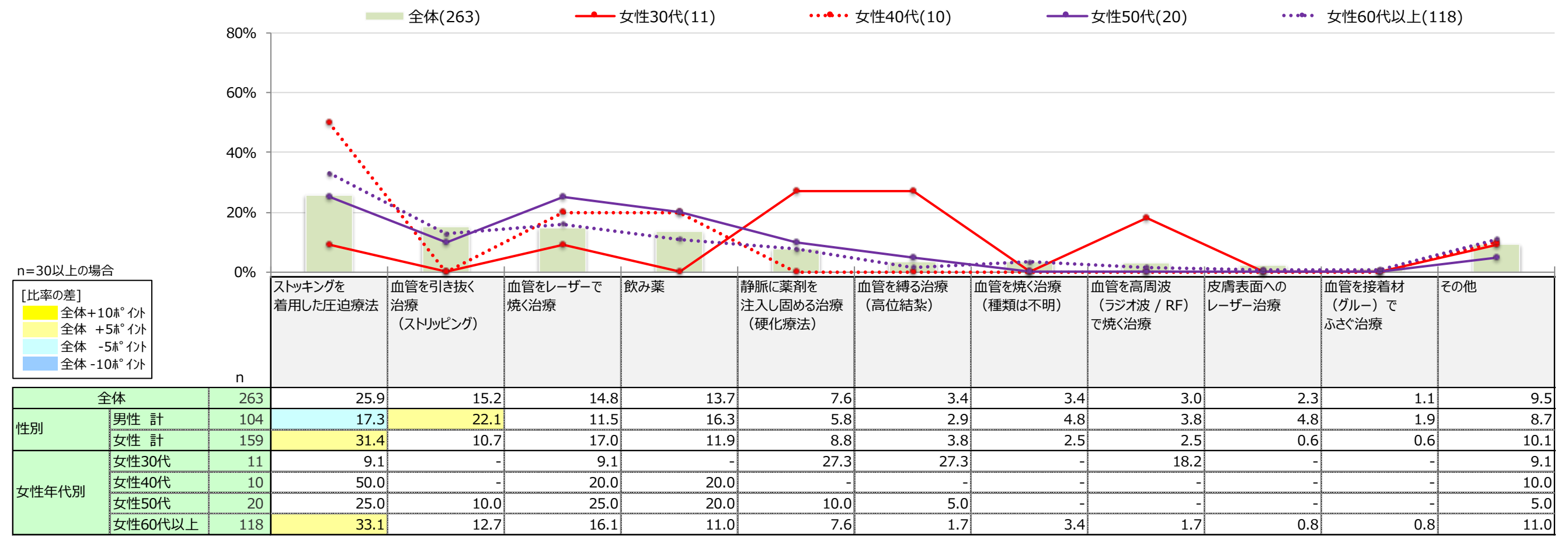


集計対象：医師治療経験のある人のみ

26. 最近受けた治療方法

Q. あなたは、「これらの症状」について医師からどのような治療を受けましたか?あてはまるものを全てお選びください。

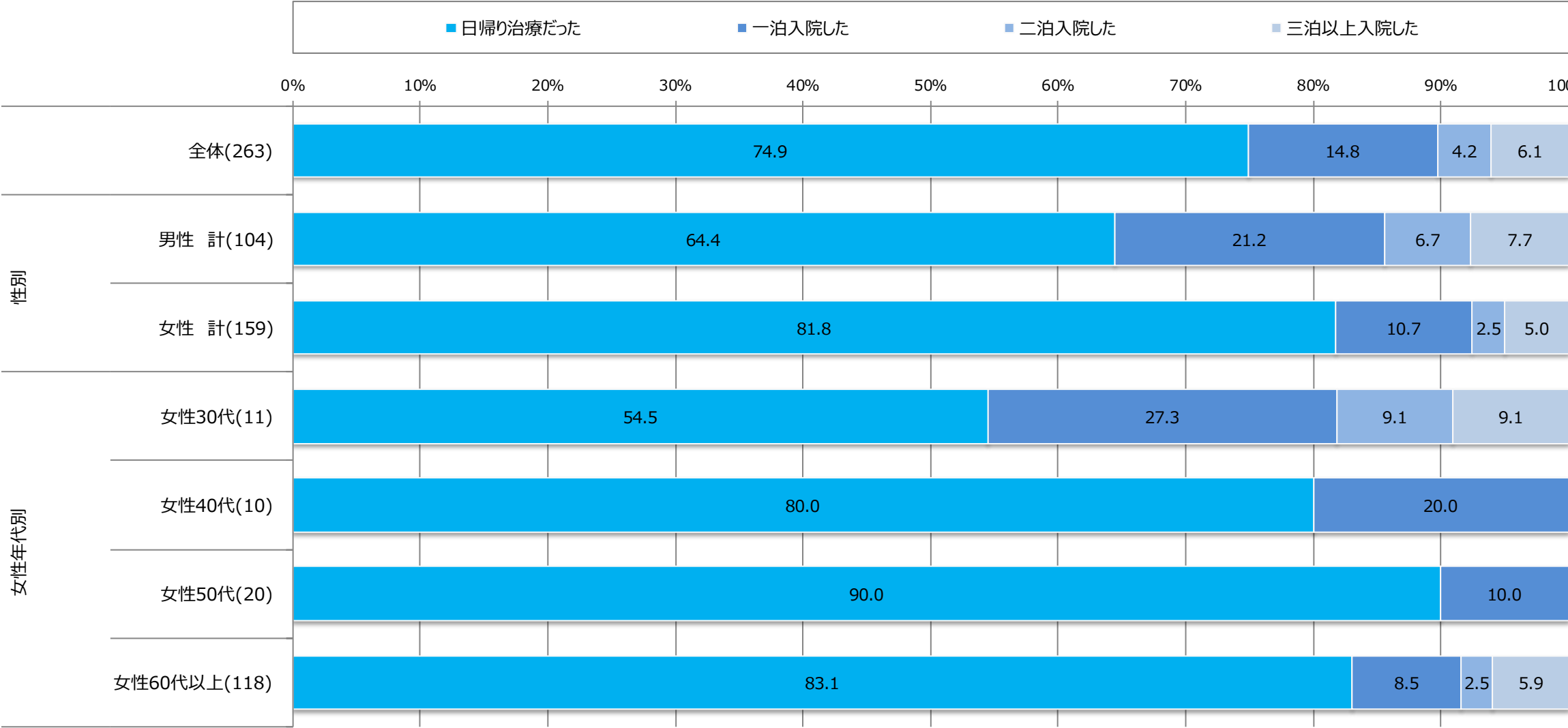
※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：医師治療経験のある人のみ

27. 治療に際しての入院の有無

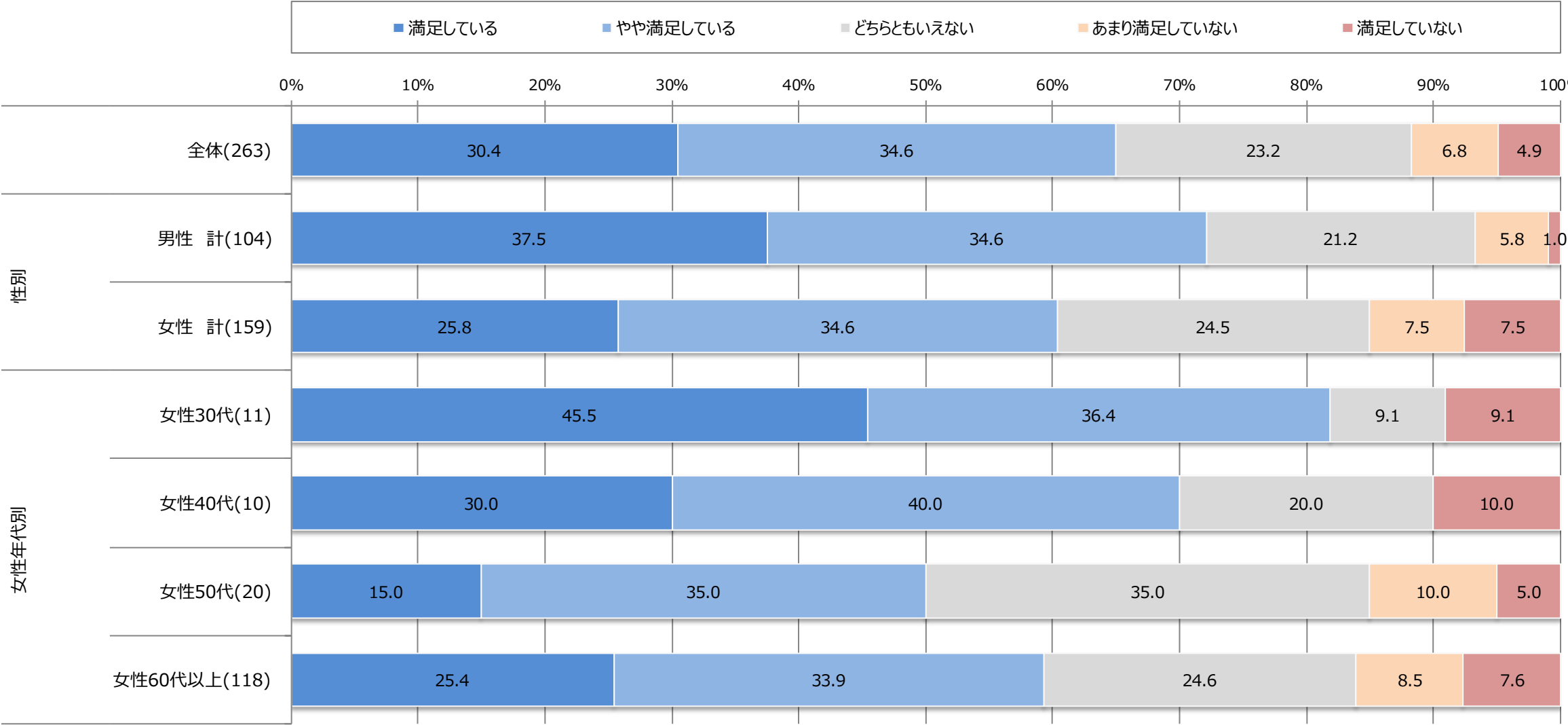
Q. 最も最近に受けた治療についてお答えください。その治療は、日帰りでできましたか？または宿泊を伴う入院でしたか？



集計対象：医師治療経験のある人のみ

28. 病院治療の満足度 - 総合的に

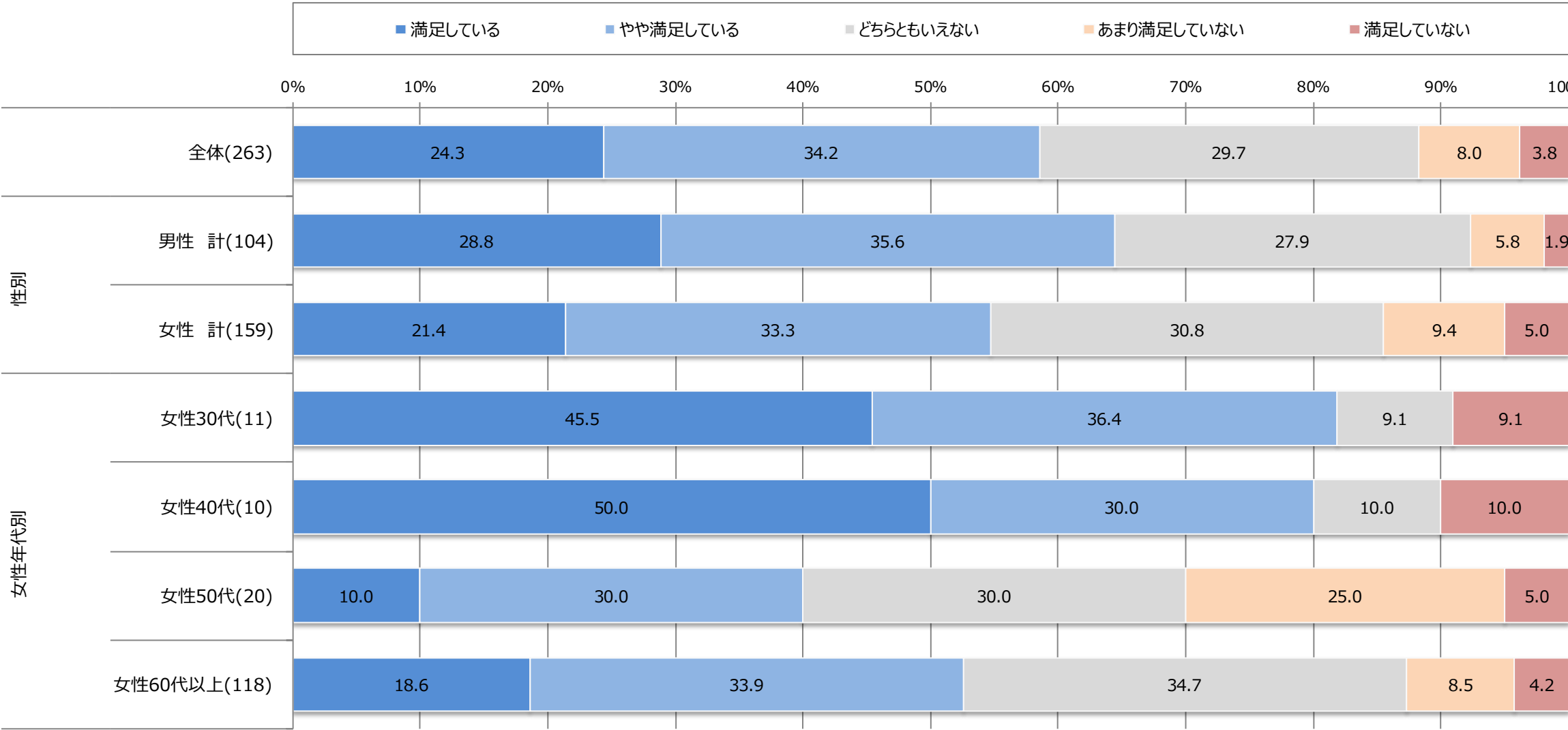
Q. あなたは、医師から受けた治療について、どの程度満足していますか？



集計対象：医師治療経験のある人のみ

29. 病院治療の満足度 - 費用について

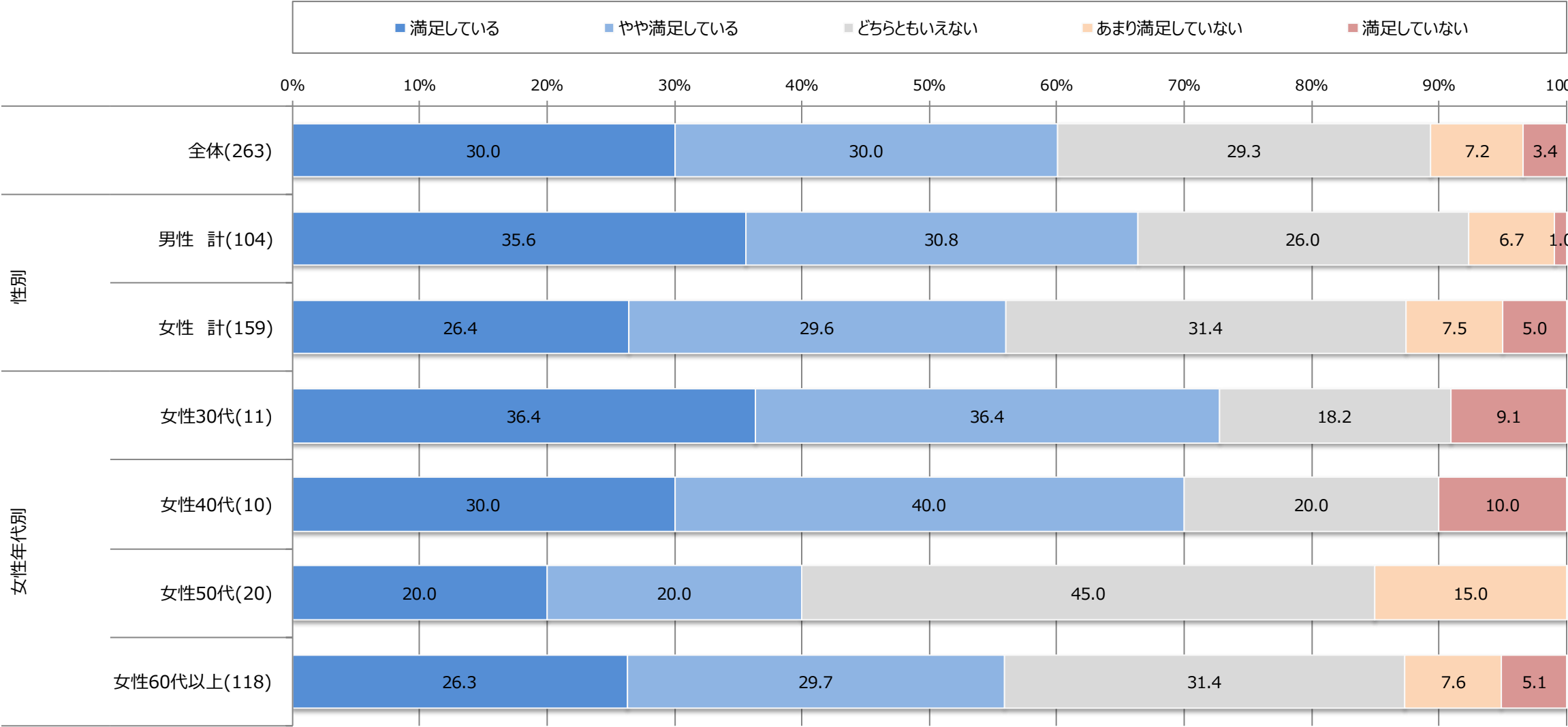
Q. あなたは、医師から受けた治療について、どの程度満足していますか？



集計対象：医師治療経験のある人のみ

30. 病院治療の満足度 - 身体への負担について

Q. あなたは、医師から受けた治療について、どの程度満足していますか？

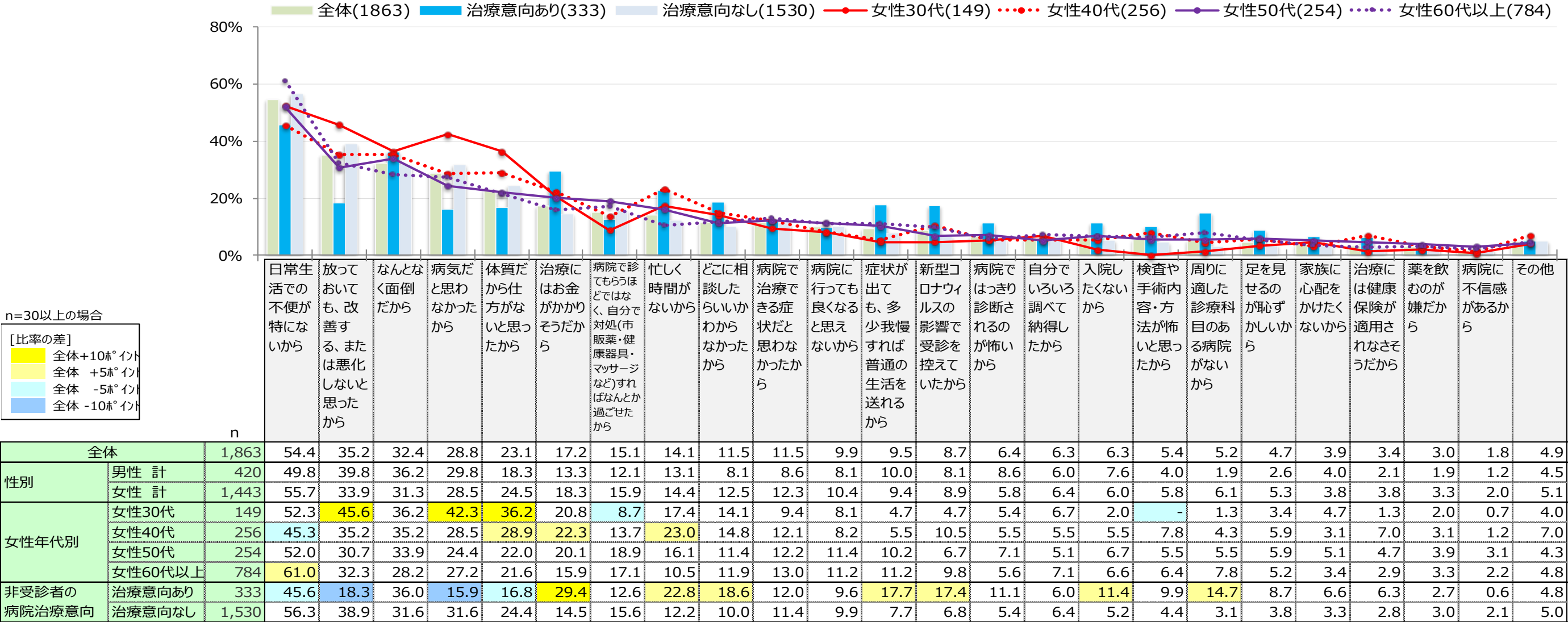


集計対象：医師治療経験のある人のみ

31. 受診していない理由

Q. これまでに「これらの症状」があったにもかかわらず、医師の相談や治療を受けたことがない理由について、あてはまるものを全てお選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

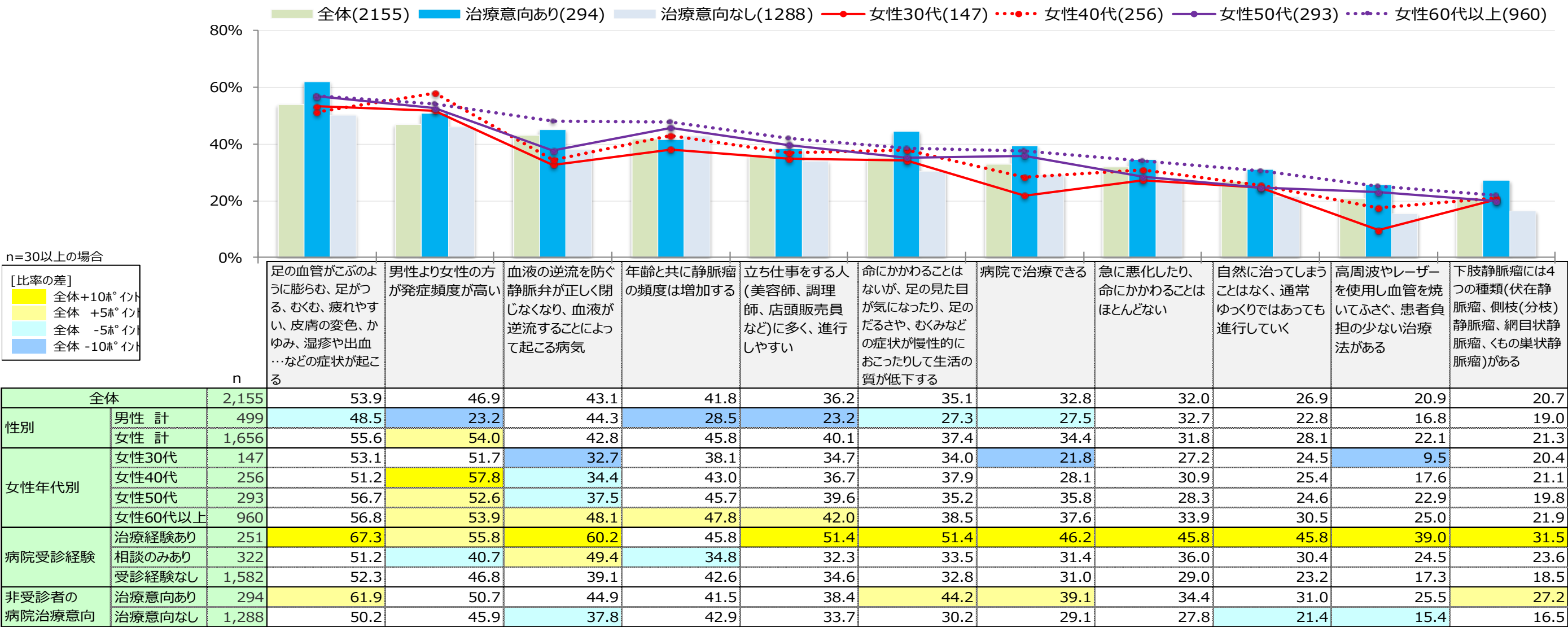


集計対象：医師相談経験のない人のみ

32. 下肢静脈瘤の特徴についての理解①

Q. あなたは下肢静脈瘤について知っている、または聞いたことがあるとのことでしたが、その下肢静脈瘤という病気の特徴について知っていることとして、あてはまるものを全てお選びください。

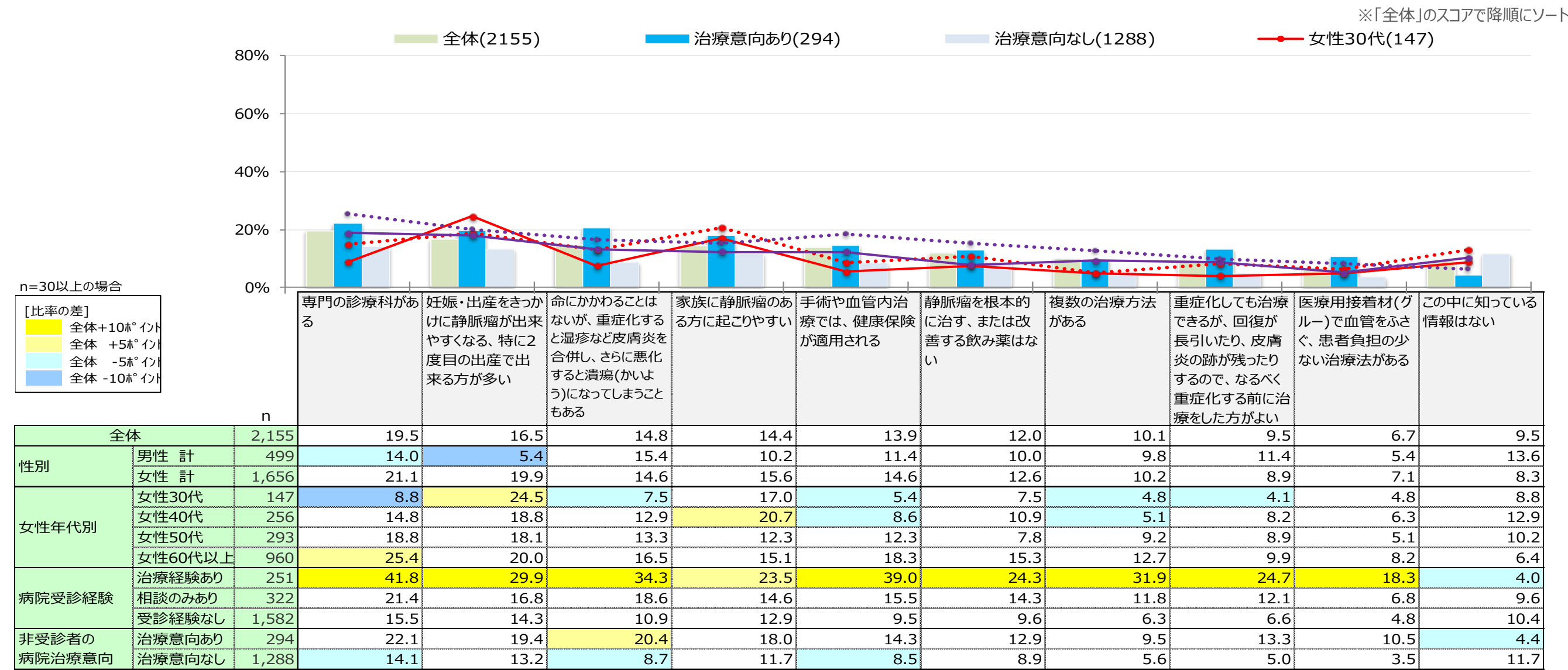
※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：「下肢静脈瘤」認知者のみ

32. 下肢静脈瘤の特徴についての理解②

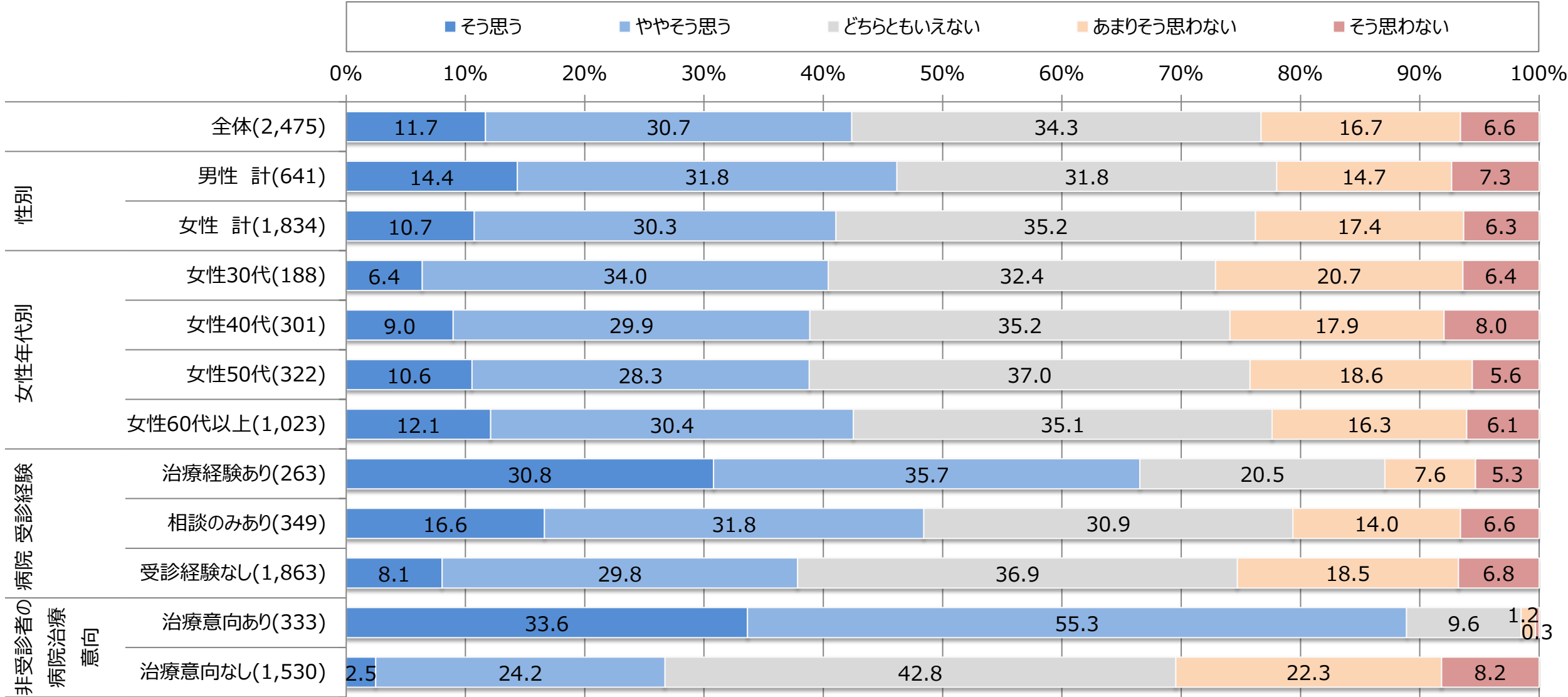
Q. あなたは下肢静脈瘤について知っている、または聞いたことがあるとのことでしたが、その下肢静脈瘤という病気の特徴について知っていることとして、あてはまるものを全てお選びください。



集計対象：「下肢静脈瘤」認知者のみ

33. 下肢静脈瘤の特徴を呈示した上での治療意向

Q. あなたが感じたことのある、「これらの症状」は、「下肢静脈瘤」という病気の症状としてもあげられます。以下の下肢静脈瘤の特徴をお読みになった上で、あなたは今後（も）、「これらの症状」について病院で治療を受けることについてどのように思われますか？



下肢静脈瘤の特徴を呈示した上での治療意向

呈示素材

▼ 以下の特徴をご覧ください。 ▼

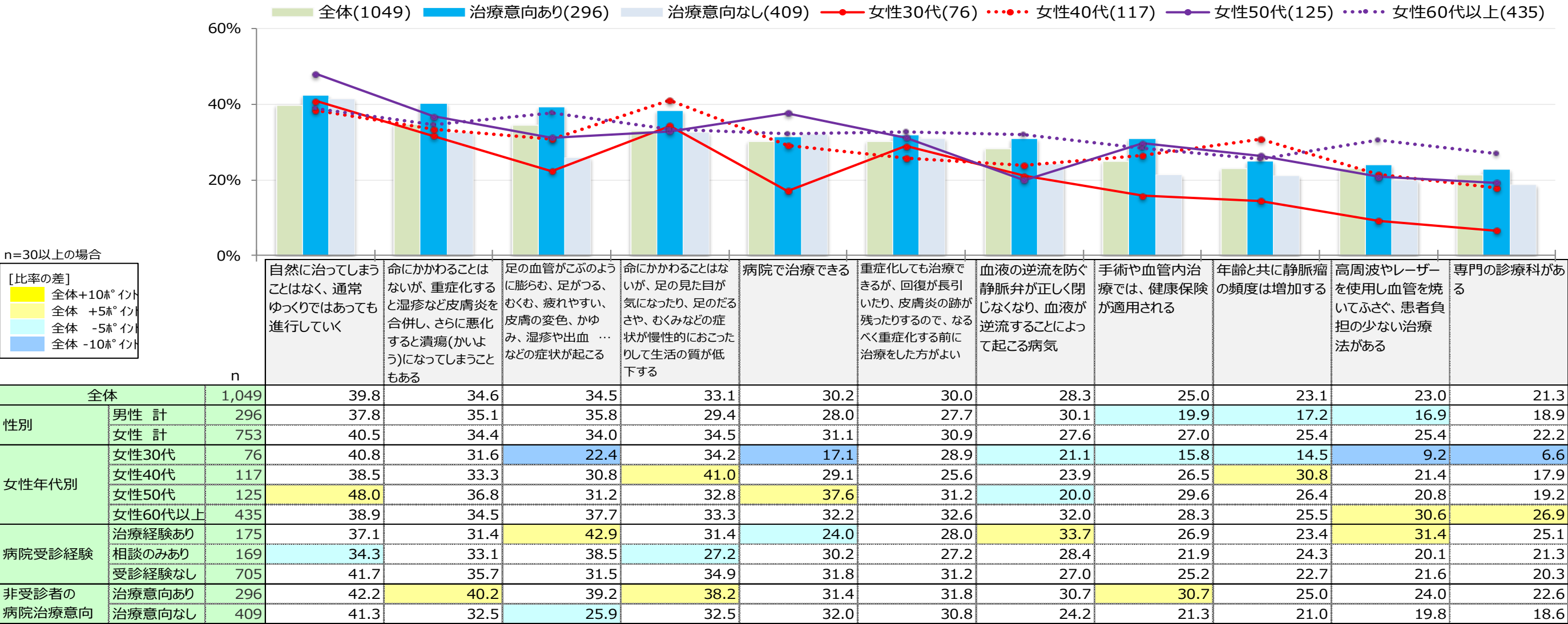
■「下肢静脈瘤」の特徴

- ・血液の逆流を防ぐ静脈弁が正しく閉じなくなり、血液が逆流することによって起こる病気
- ・下肢静脈瘤には4つの種類(伏在静脈瘤、側枝(分枝)静脈瘤、網目状静脈瘤、くもの巣状静脈瘤)がある
- ・足の血管がこぶのように膨らむ、足がつる、むくむ、疲れやすい、皮膚の変色、かゆみ、湿疹や出血 …などの症状が起こる
- ・急に悪化したり、命にかかわることはほとんどない
- ・自然に治ってしまうことはなく、通常ゆっくりではあっても進行していく
- ・命にかかわることはないが、足の見た目が気になったり、足のだるさや、むくみなどの症状が慢性的におこったりして生活の質が低下する
- ・命にかかわることはないが、重症化すると湿疹など皮膚炎を合併し、さらに悪化すると潰瘍(かいよう)になってしまうこともある
- ・重症化しても治療できるが、回復が長引いたり、皮膚炎の跡が残ったりするので、なるべく重症化する前に治療をした方がよい
- ・男性より女性の方が発症頻度が高い
- ・年齢と共に静脈瘤の頻度は増加する
- ・家族に静脈瘤のある方に起こりやすい
- ・立ち仕事をする人(美容師、調理師、店頭販売員など)に多く、進行しやすい
- ・妊娠・出産をきっかけに静脈瘤が出来やすくなる、特に2度目の出産で出来る方が多い
- ・病院で治療できる
- ・専門の診療科がある
- ・複数の治療方法がある
- ・高周波やレーザーを使用し血管を焼いてふさぐ、患者負担の少ない治療法がある
- ・医療用接着材(グルー)で血管をふさぐ、患者負担の少ない治療法がある
- ・手術や血管内治療では、健康保険が適用される
- ・静脈瘤を根本的に治す、または改善する飲み薬はない

34. 疾病特徴呈示後 治療意向ありの理由①

Q. あなたは、「これらの症状」について、今後、病院で治療を受けたいとのことですが、そのように思われた理由やきっかけとなった事柄としてあてはまるものを全てお選びください。

※「全体」のスコアで降順にソート

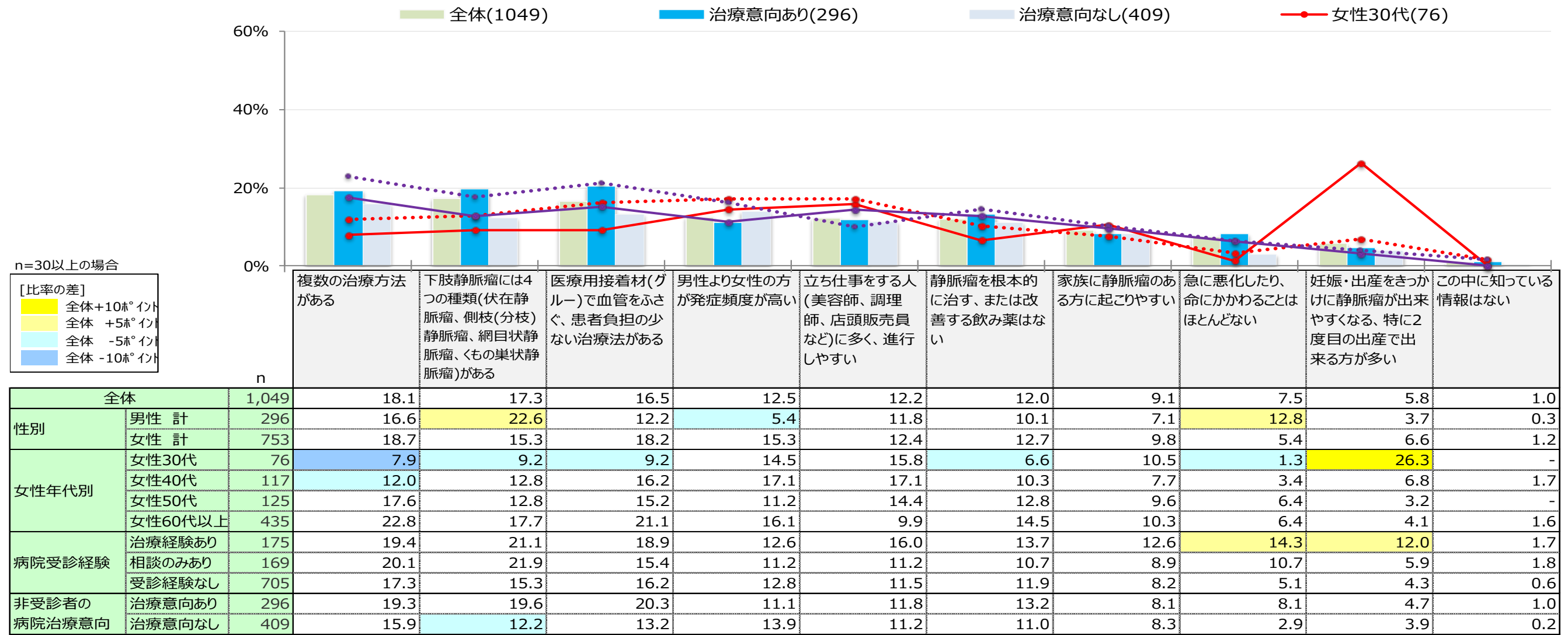


集計対象：（特徴呈示後）受診意向のある人のみ

34. 疾病特徴呈示後 治療意向ありの理由②

Q. あなたは、「これらの症状」について、今後、病院で治療を受けたいとのことですが、そのように思われた理由やきっかけとなった事柄としてあてはまるものを全てお選びください。

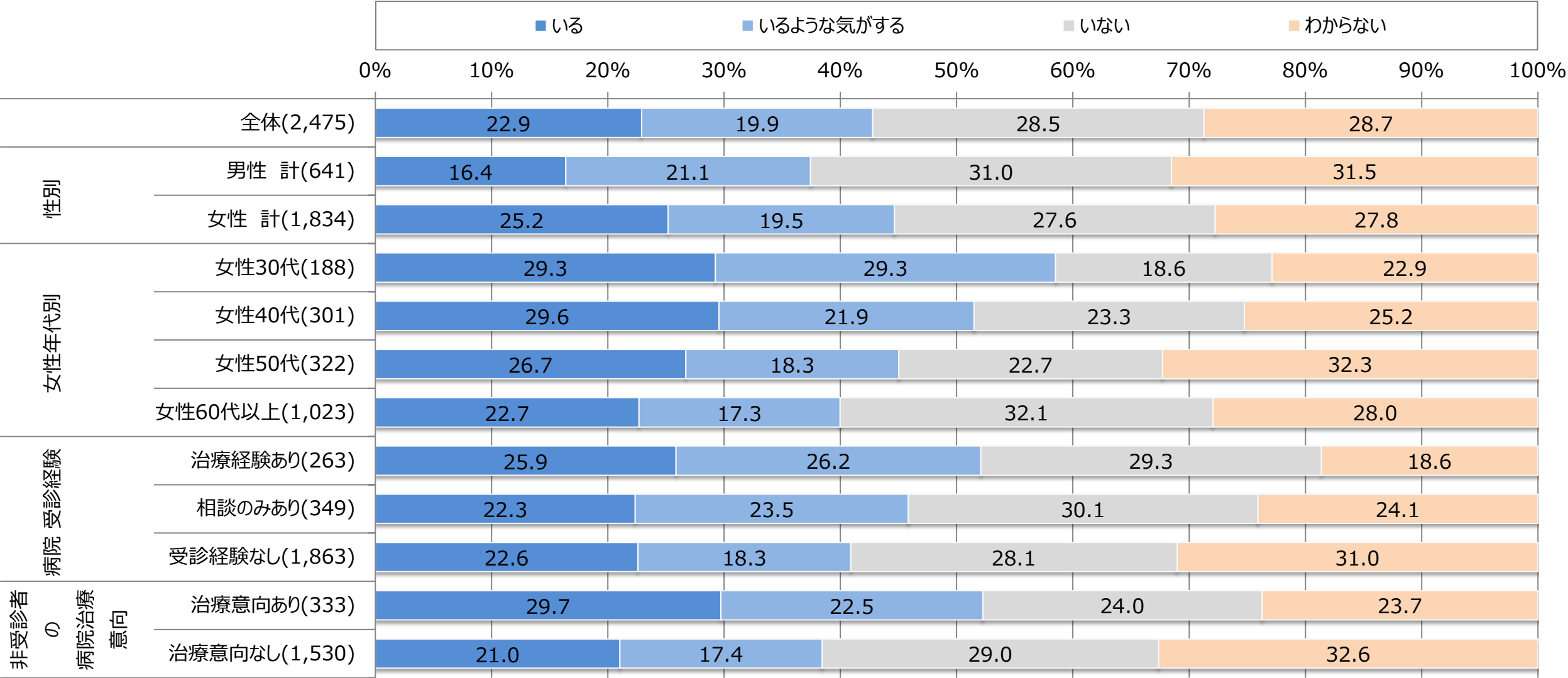
※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：（特徴呈示後）受診意向のある人のみ

35. 下肢静脈瘤の家族の有無

Q. 「下肢静脈瘤」の特徴をご覧になって、あなたのご家族（親や祖父母）に「下肢静脈瘤」の傾向がある人はいますか？

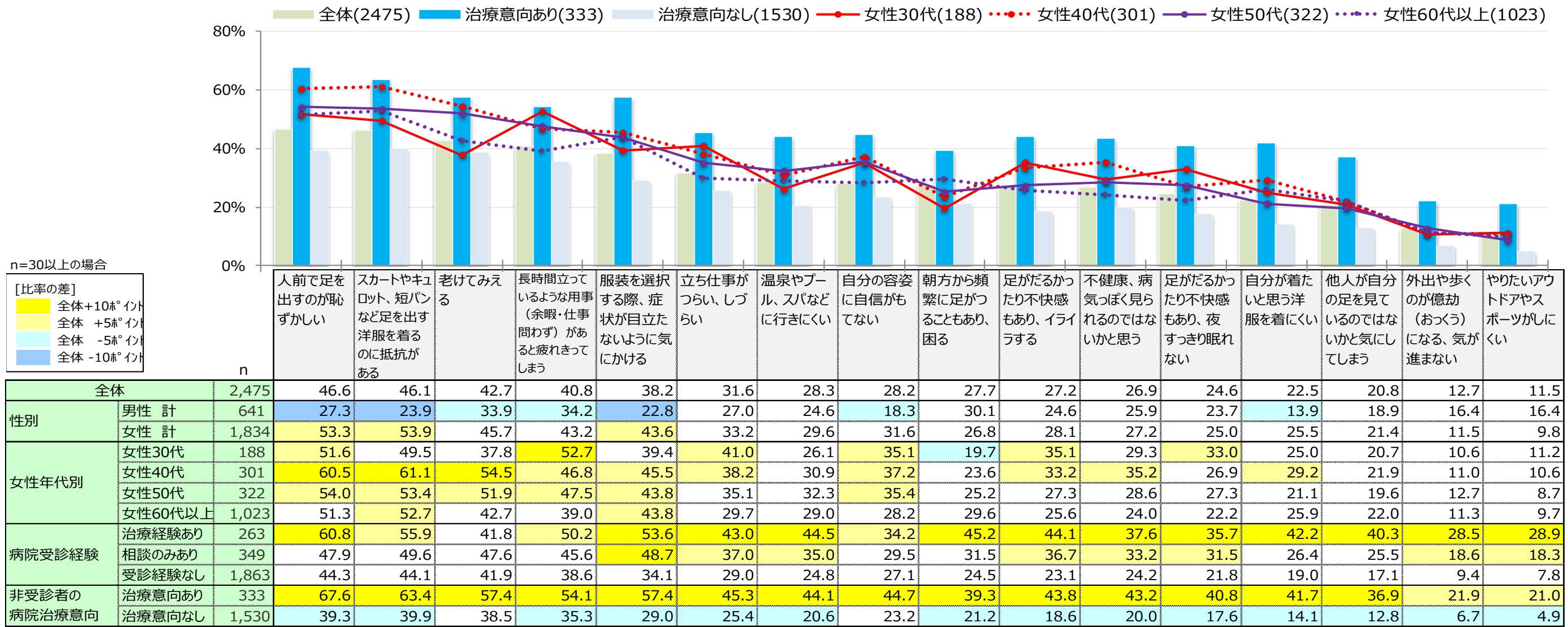


36. 症状に関連して日常生活で困っていること<TOP2一覧>

Q. あなたが感じたことのある「これらの症状」に関連して、日常生活で困っている（困っていた）ことや不満に思っている（思っていた）こととして、以下の項目はどの程度あてはまりますか？

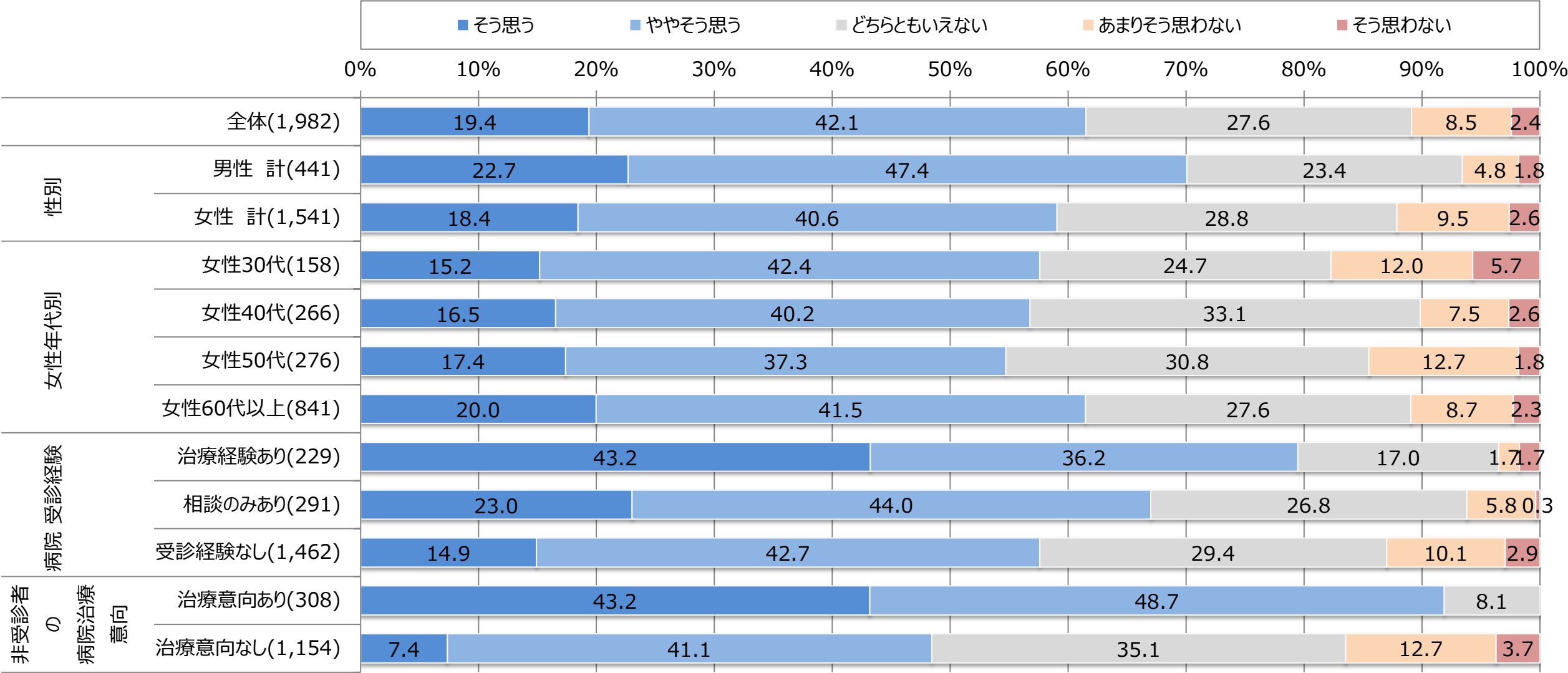
※掲載スコアは、「あてはまる」+「ややあてはまる」の合計値（TOP2BOX）

※「全体」のスコアで降順にソート



37. 治療による日常生活の質(QOL)改善期待を受けての治療意向

Q. 前問で回答された、あなたが日常生活で困っている（困っていた）ことや不満に思っている（思っていた）ことが、「これらの症状」を病院で治療することによって解決するとしたら、あなたは「これらの症状」について今後病院で治療を受けたいと思いますか。

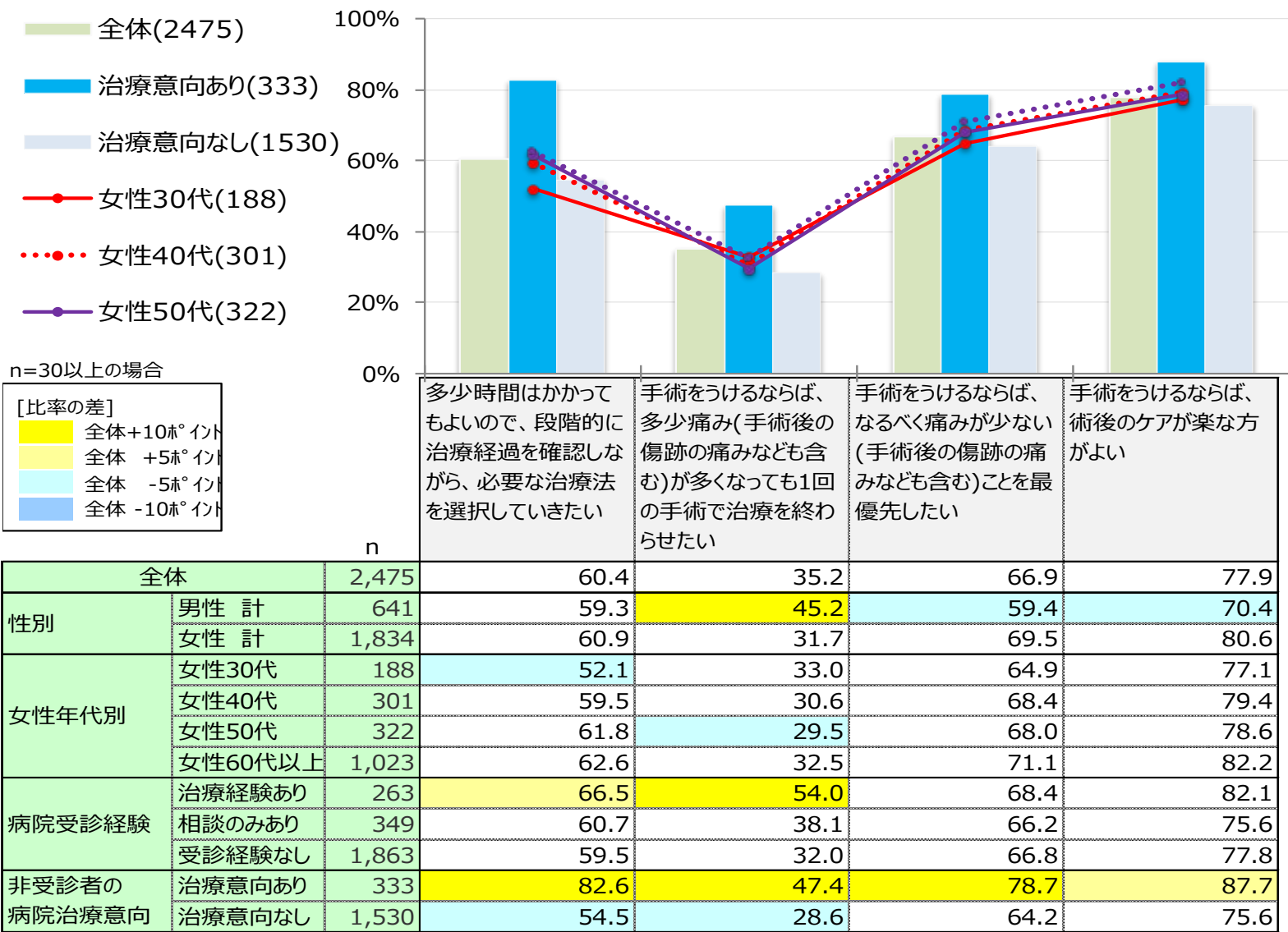


集計対象：困っていること、不満に思っていることがある人のみ

38. 治療や手術を受ける際の意向 <TOP2一覧>

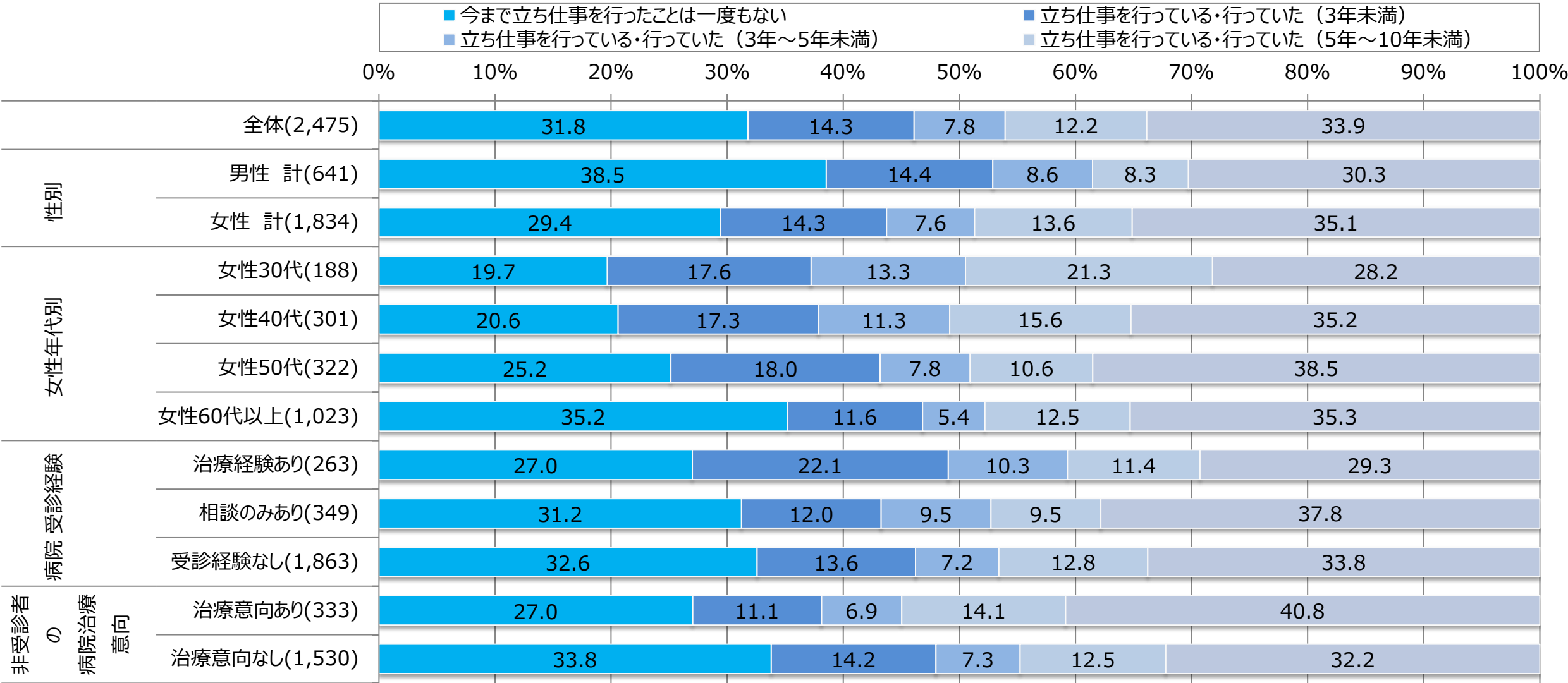
Q. では、「これらの症状」について病院で治療や手術を受けるとした場合、以下のような項目についてどのように思われますか？

※掲載スコアは、「そう思う」+「ややそう思う」の合計値（TOP2BOX）



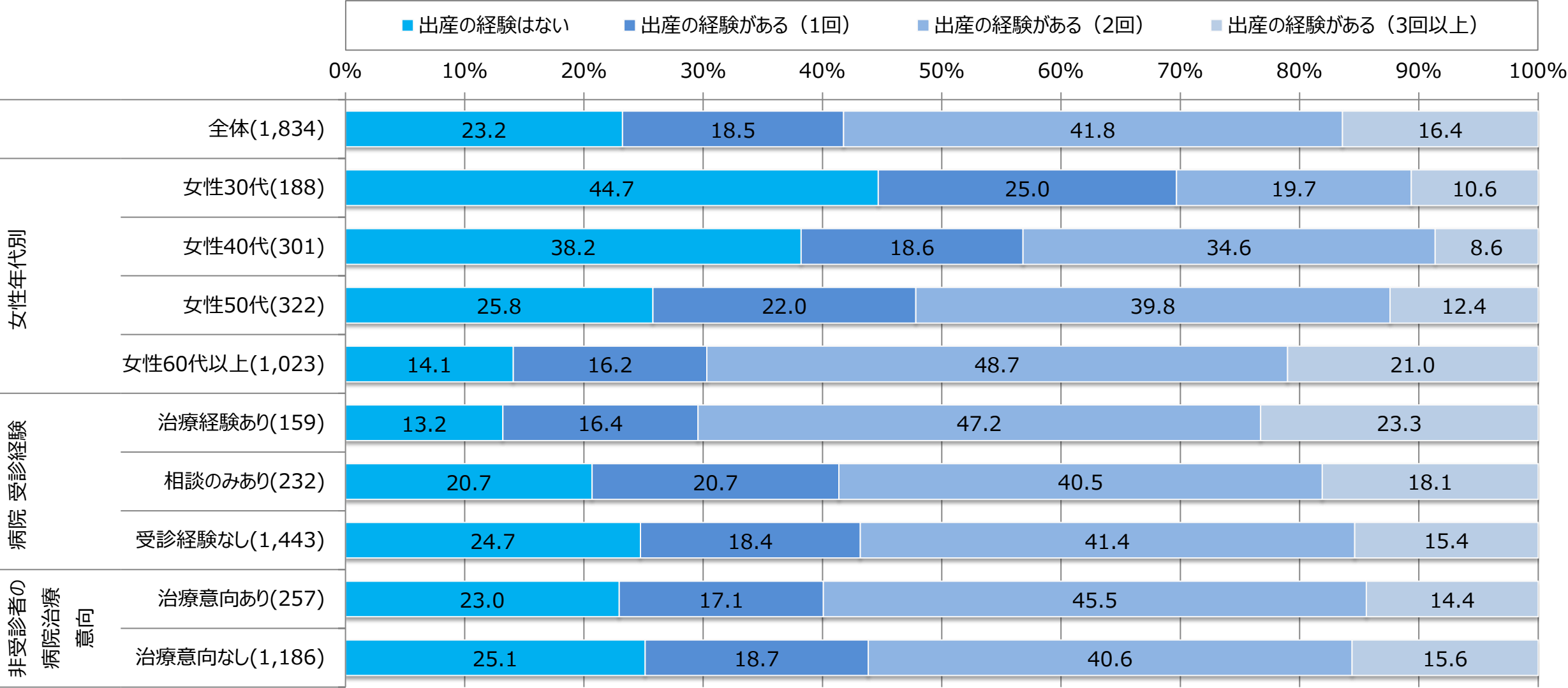
39. 立ち仕事の経験

Q. あなたは、立ち仕事(美容師、調理師、店頭販売員など)をされていますか(または、過去にされていましたか)?※複数立ち仕事を体験している方は、合計の期間でお答えください。



40. 出産経験

Q. あなたは、これまでに出産の経験はありますか？

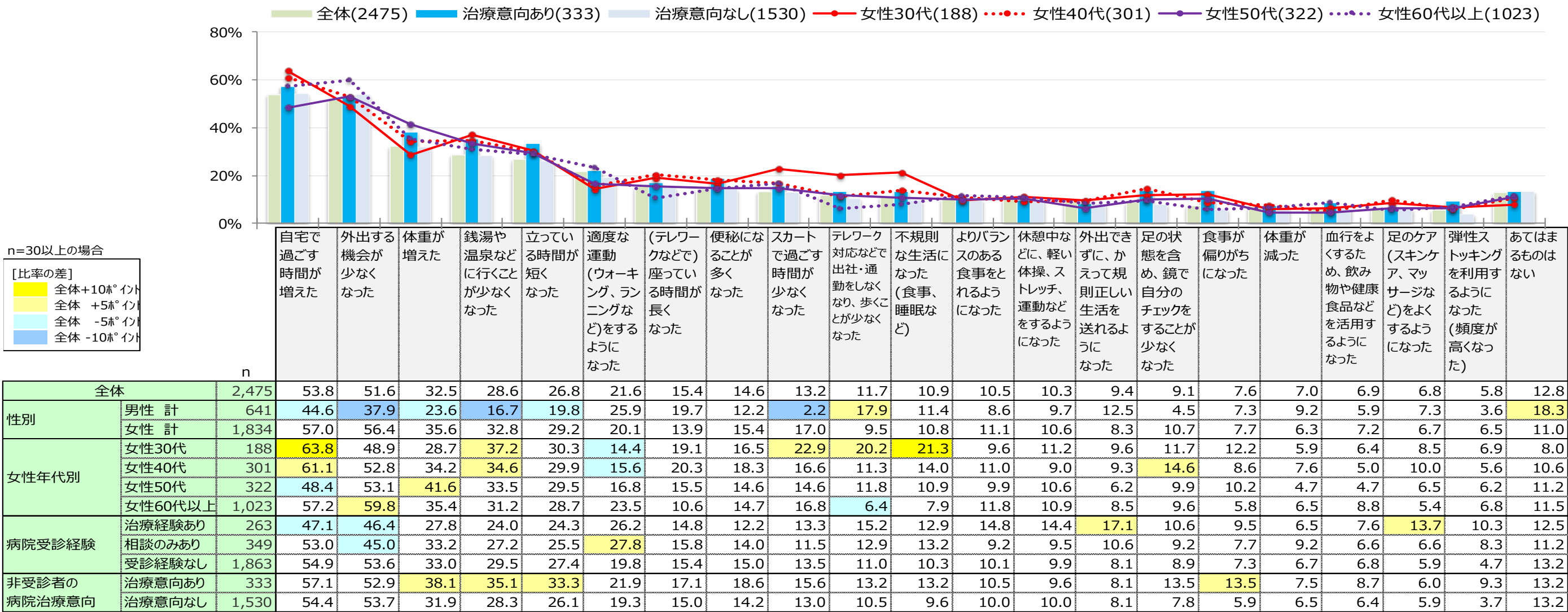


集計対象：女性のみ

41. コロナ禍で経験したこと

Q. 最後に、昨年からの新型コロナウイルスの流行に伴い、以下のようなことを経験しましたか？あてはまるものをすべてお答えください。

※「全体」のスコアで降順にソート



集計対象：医師治療経験のある人のみ